カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) エキュメニズムの促進
(布教) 諸国民の世界的視野

年頭の願い

福岡教区長 平田三郎

新しい恵みの年の始めに当たり、お生まれになった救主キリストの祝福が、教区の司祭・修道者・信徒一同の上に豊かに注がれ、平和で実り多い聖年となりますよう祈ります。

贖いの一九五〇周年を記念して祝う特別聖年は、もう半ば過ぎ、皆様はすでに個人で、小教区、地区で巡礼の務めを果たし、回心による神との和解、隣人との和睦を成しとげられた方も多いと思います。

ところで、来たる三月四日には、教区挙げての聖年大会が待っています。すべての教区民が、この挙式に向かって霊的準備をし、できるだけ多くの方がこの大会に積極的に参加して、普遍教会の部分としての教区大家族の意識を高めるとともに、救いのありがたさを悟って感謝し、聖年の恵みが、教区内の七百五十万の兄弟たちにも及ぶよう、宣教の熱意を新たにしたいものです。

贖い、救いとは

人類は洋の東西を問わず、昔も今も、心身の危機にさらされて悩み、救いを求めてきました。救いは人間の根元的な関心事だからです。そして種々の宗教はおのおの救いの道を世に示してきました。

旧約

ところで、イスラエルの民は、あらゆる危機に瀕したとき、神により頼み、祈り、そこから脱出して、神の救いを体験しました。イスラエルの歴史での最大の救いの体験であるエジプトからの救いを中心に、ノアの洪水からの救い、バビロンでの捕われからの救いなどがそれであり、旧約聖書はこの救いの体験の書とでも言うことができましょう。イスラエルは試練に会うとき、過去の体験を思い出し、「救いの楯」「救いの巌」「救いのかぶと」である主により頼み、危機からの解放と、平和、幸福を祈り求めました。イスラエルの祈りの主題は神による救いでした。自分に代わって、動物のいけにえを捧げてのけんそんな祈りにもかかわらず、人間の心の奥に巣くう罪からの救い、永遠の死からの救いは得られず、神から送られる力ある「救い主(メシア)」を待ったのでした。

新約

約束の「救い主」は、ベツレヘムの動物小屋で貧しくお生まれになりました。「神の身分でありながら、神と等しいことを固執しようとはせず、かえって自分自身を無にして、僕の身分となり、人間と同じ者になられ」「私たちのうちに住まわれました。」そして宣教中には、いろいろの病気をいやして病人を救い、嵐を静めては弟子たちを救われました。これらの体の救いは、それに勝る心の病気や、人生の旅路で出会う魂の嵐からの救いのシンボルでもありました。キリストは罪女の罪を赦して彼女を救います。主の全生涯の唯一の目的は、人類を救うことでした、失われている者を見付けて救い、自分の者とするためでした。

キリストによる救いを得るためには、人間を滅びに導く罪を避け、犯した罪を悔い改め、狭い門をくぐって離脱の生活をしなければならないのです。キリストのために命を失うものは救われて永遠の生命に至る、これが救いの法則であり、キリストご自身も、十字架の上で命を捨ててこの法則に従われました。しかし、キリストの十字架上でのこの死は、私たちを救うための従順の死でした。人間がその罪と死から解放されて神と和解し、平和を得て「新しい人」となるためには、動物の血によってではなく、人となられた神キリストの死と、死から栄光の生命への過越が必要だったのです。この過越によって神の人類救済の計画は実現し、完成しました。これは人間に対する神の無償の愛から出たものです。「自分の子すら惜しまず、私たちのために死に渡した」父の愛の奥義であり、父から受けた愛を、私たちの救いのために、非凡な方法で、最高度に表明したキリストの愛の神秘であります。

むすび

キリストは、自分を信じる者とともに、死から永遠の生命に過越すことによって「永遠の生命の源」となられました。このことを知らせる福音は「救いの言葉」と言われます。また、この救いは、救い主キリストへの信仰によって与えられるところから「救いの

(二面につづく)

一月の聖体礼拝当番教会

一月一日 唐津
一月八日 鹿島
一月十五日 佐賀
一月二十二日 武雄
一月二十九日 司教館

寄附

十一月十三日
福岡地区婦人会からバザーの益金一、三七七、四七三円がカテドラルの建設資金として寄贈された
神に感謝

微光

元旦のテレビは、初詣風景の紹介を抜きにしては考えられない。着飾った数百・数千万人の日本人が、思い思いに心のふるさとである神社仏閣に足を運んでいる。年に一度の神との出会いの場、神再発見の機会となるのだろうか。参道を往来する善男善女の顔はどれも美しく、平和的に見えてほほえましい。今日は、八百よろずの神もご多忙だ。各家庭でも、山の神とのひとときの平和休戦に、世の殿方の顔が緩むらしい▼時として神社の賽銭ドロボーの話しを聞くが、社寺に参拝する者に悪人はいないと思いたい。神仏を意識し、清らかな心で祈願をささげる信仰者は、神を身近に感じているのではあるまいか。かりに知られざる神に対してではあっても、真直ぐな生活、他人に迷惑をかけない言動、奉仕による喜びの暮らしを望んでいる人は意外に多い。他宗教にみる善い風習に注目して行きたい。多様な価値観の福音化こそ急務と思う▼クリスマスに迎えた救主は、インマヌエルの神(われらとともに住む)といわれる。一九八四年の新しい門出に当たって、真の神のメッセージに耳を傾けなければならない。われらと苦楽を共にする神は、仕えられるためではなく仕えることに人生の大義を懐いたのである。奉仕の神髄を垂範実践したキリストを自ら学習することによって、多くの隣人に応用する必要がある。正常な九十九頭の羊よりも、迷える一頭の羊を探しに出かけよう。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡(092)471—0245(代)
管制センター TEL 福岡(092)471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

謹んで神の御子のご生誕を祝し併せて新しい年のお慶びを申し上げます。この一年が救いの喜びと家庭の平和に満たされた日々であるようにお祈りいたします。

昭和五十九年元旦

平田　三郎司教
深堀　仙右衛門司教（長崎）

福岡地区

司教館　山田　成章
平田惣五郎
大名町　青木　保
浄水通　松井　忠之
西新　ラミーレス
茶山　牧山　藤房
笹丘　伊東　誠二
マホニ
ドワイヤー
ヒルデン
高宮　中村　道生
片岡　仁志
中田藤太郎
美野島　石村　明
大楠　畠山　七郎
吉塚　堤　要吉
箱崎　シュルツ
老司　リシャール
ディキン
渡辺　隆義
光丘　ラギダオ

古賀　山崎聡一郎
二日市　乾　盛夫
小郡　浦口　均
本郷　平田　正喜
今村　堤　敏雄
久留米　糸永　一
糸永　武男
三村　邦朗
大牟田　平田　寛
呼子　西田　邦洋
馬渡島　川口　康顕
大神学院　田川　清美
山内　清海
ラベル
ツルデル
ラブラント
イエール
高木　善行
中浜　一男
明石　健次
竹森　勇
下町　豊重
百村　等
永谷　計
聖パウロ修道会
小神学校

黙想の家　鈴木　忠一
イエズス会　マテオ
ウーリック
大野　正恒
フリン
塩谷　惠策

北九州地区

八王寺　ア・ベルトラン
ボンカズ
ジ・ベルトラン
モーゼ
門司港　ガイヤール
門司　バスチ
小倉　デシャンプ
深堀　勝人
浦　俊雄
コース
平田　敬
戸畑　山頭原太郎
若松　徳山　登
天神町　ラバルタ
水巻　バイヨ
黒崎　キニユ
鵜野　泰年
飯塚　ドレル
バスカレル

田川　新田原
行橋　グロジャン
山川　辰幸
岩永　義人

佐賀地区

佐賀　ガザルディ
唐津　スカットロン
武雄　サルディ
伊万里　パスカーレ
多久　アレグリニ
鹿島　ルッチ
鳥栖　マグリン
トラピスチン　マルセル

玉名　手取
島崎
島崎修道院
荒尾
帯山
菊池

熊本地区

キルケニ
シーヒー
オブライエン
ホーガン
グリフィン
カロール
ノーリス
ヤンキンプ
コニリ
オマホニ
牧山　勝美
フォード

合志
八代
人吉
水俣
本渡
大江
崎津
マリスト学園
在ローマ

オカロール
黒川　博
牧山　重光
ベラス
モラハン
グリン
ダイアモンド
オーファレル
山元　真
高見　三朗

新年度の教区行事の計画了承

第二十四回司祭評議会

十二月六日午後一時半から、第二十四回司祭評議会が司教館で開かれ、十六人が出席した。

議事報告の要点はつぎの通り。

一、評議員の増員について

新教会法では、評議員の中から顧問を推せんするように定められているが、司教はこれまでの顧問の司祭を評議員に加え、新たな気持で評議会を実施したいと発表。

二、新年度の教区行事について

司祭の月例集会や司祭の研修会について、その性格、あり方、実施について検討された。

(イ)教区レベルの集まりについて

教区レベルの司祭の集まりは、研修と分かち合いに年二回実施。

(ロ)司祭の月例集会について

福岡地区（北九州・福岡）も他の地区のように、地区レベルの集会を充実するように検討する。

教区行事の計画は以下の通り。

一月十日新年祝賀会共同ミサ、二月七日教区司祭集会、三月四日教区聖年大会、四月十九日聖香油ミサ銀祝司祭祝い、五月一日教区司祭集会、七月三日平田司教霊名祝い、十月十五日～二十日邦人司祭黙想会、十一月二十六日～二十八日教区司祭研修会

三、司祭評議会について

司祭団相互の意見交流のもっと活発な場となるよう盛り立てる。

評議会は、三月六日、六月五日、九月四日の年三回十時半に開く。

（一面から）

道」と呼ばれ、使徒たちはこの「道」を述べ伝えるのに命をかけました。

麗い、救いの一九五〇周年に当たり、私たちは神から与えられた過越の信仰に感謝し、永遠の救いの喜びを体験し、この喜びを人々にも分ち与えたいとの宣教の熱に燃えたいものです。この熱が教区聖年大会に向けて焚きつけられ、聖パウロとともに「福音を述べ伝えても、それは私の誇りにはなりません。そうしないではいられないことだからです。福音を述べ伝えないなら、私は不幸です」と叫ぶようになりたいものです。

救主キリストの救いの恵みと平和が皆さま一同の上にありますように！

邦人司祭育成の日献金

（S.58.12.5）

大名町	116,325	本郷	28,404	若松	9,486
能古島	4,061	小郡	8,125	天神町	20,000
浄水通	40,000	馬渡島	11,566	黒崎	58,000
光ケ丘	63,211	直方	8,000	八王寺	6,000
大楠	6,740	新田原	115,046	水巻	33,100
箱崎	16,000	行橋	16,732	飯塚	18,000
笹丘	28,165	呼子	17,365	田川	9,000
西新	44,500	佐賀	15,000	手取	146,475
美野島	8,000	伊万里	9,940	荒尾	8,000
茶山	10,000	鳥栖	29,480	大江	13,950
高宮	86,500	武雄	2,500	崎津	24,000
老司	28,000	鹿島		島崎	47,000
吉塚	24,490	多久	3,000	玉名	19,000
志免	6,355	松島	4,500	菊池	7,000
古賀	48,397	門司	14,614	八代	27,261
二日市	50,000	門司港	12,862	合志	21,448
久留米	54,289	小倉	97,119	人吉	27,365
大牟田	16,160	深川	28,773	カルメル会	
今村	110,400	戸畑	64,870		30,000
				計	1,774,574

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階 ☎922－5637

エキュメニカルな教会の証し
佐賀市民クリスマスのタベ

十二月八日午後六時半から、佐賀市民会館で「市民クリスマスのタベ」が行われた。これは佐賀市内十カ所のキリスト教会がエキュメニズムの精神に沿って、キリストを広く市民に紹介する目的で企画されたものである。ことしは第五回目を迎えた。

会場には約八百人の観客が詰めかけ、合唱や聖劇などを熱心に見守っていた。ことしの新しい試み「証し」では、佐賀カトリック教会の今村純子さん（短大一年）が選ばれ、入信の動機や、家庭における信仰生活等について心の軌跡を語り、聴衆に深い感銘を与えていた。

また今年は幸いなことに、ニューヨークの世界的ピアニストであちアレグザンダー・アレクセイ氏が縁あって来佐、特別出演としてその妙技を披露し花を添えた。恒例の持ち廻り「説教」では、多久市のアレグリーニ神父が「あなたは大切な人です」と題して、キリストの愛についてのメッセージをおくった。最後にステージと観客が一体となって、主の降誕を祝う賛美歌を合唱して盛況のうちに終了した。

因みに、市民クリスマスに参加した教会はつぎの通りであった。活けるキリスト佐賀二麦伝道所の大坪桂子牧師、佐賀カトリック教会（ガザルデイ・クラウディオ神父）、日本神の教会連盟佐賀神の教会（工藤茂男牧師）、日本キリスト教会のめぐみ教会（畑祐喜牧師）、日本キリスト教団佐賀教会（石原信良牧師）、日本バプテスト連盟佐賀キリスト教会（加来国生、福井正駟両牧師）、日本バプテスト連盟佐賀新生伝道所（森田弘牧師）、日本バプテスト連盟霊水教会（中村和夫牧師）、日本福音ルーテル教会佐賀教会（三浦芳夫牧師）、日本バプテスト連盟佐賀キリスト教会天川伝道所（加来始牧師）。

参考の一助として、この催しのプログラムを紹介してみよう。実行委員会委員長の開会あいさつに続いて、森田牧師の祈祷、会衆賛美として賛美歌一一二番「もろびとこぞりてむかえまつれ」を斉唱した。大坪牧師の「ピリピ人への手紙十二・六―十一」の朗読後、合同聖歌隊による「御国を来たらせ給え」第一部の合唱と佐賀カトリック教会子供会の聖劇が披露された。アレクセイ氏のピアノ独奏は、ショパンの即興曲二十九番とスケルツオ第一番ロ短調、続いて中村寛、今村純子両氏の証しがあった。そのあと、一同賛美歌一一一番「神の御子は今宵しも」を歌って、再びアレクセイ氏のピアノ独奏（ショパンのワルツイ短調、夜想曲変ハ短調、ハランカ）に移った。クラシック音楽を楽しんだ後、がらりと趣向を変えて邦楽アンサンブル・聖歌隊の「妙に奇しき明星よ」が紹介された。これは珍らしい二十絃琴や七孔尺八などの邦楽器の伴奏で合唱したものである。合同聖歌隊の「御国を来たらせ給え」第二部、大坪牧師の聖書（ルカによる福音二章八―十八節）朗読、アレグリーニ神父のメッセージ「あなたは大切な人」が与えられた。会衆による賛美歌一〇九番「きよしこのよる」、牧野氏の報告でこの意義深い夕べのひとときを結んだ。（佐賀教会信徒の牧山満安氏の提供による）

会合と催し

☆平田司教
1月10日　教区司祭の新年祝賀会
1月15日　修道女連の集まり
1月22日　福岡地区の成人式
1月29日　クルシリオ委員会

☆福岡黙想の家
1月3～4日　ミラノ外国宣教会司祭の黙想会
1月15～16日　聖母カテキスタ会の黙想会
1月18～20日　雙葉学園研修会
1月22日　大神学院司祭の静修

五十年の歴史が示す盛大さ
福岡雙葉学園のクリスマスお祝い会
一連の記念行事の打止めに

十二月十日（土）午後一時半から、福岡雙葉学園のクリスマスお祝い会が福岡サンパレスで催された。これは、同学園創立五十周年の記念行事の一つとして計画されていたものである。すでに五月八日の同窓会総会を皮切りに、つぎつぎに記念行事が行われていた。中でも、岩田屋デパートの催し会場を借用して開かれた当学園の美術・書道展は好評を得、多くの客足を向けさせた。また、今回の行事は、創立五十周年記念の最後を飾るにふさわしいものとなった。

午後二時から、平田福岡司教を主司式者に七人の司祭の共同司式ミサがささげられ、二千人近くの学校関係者（生徒や保護者・教師など）が参加した。福岡市の公共施設で、カトリックのミサが捧げられることは珍らしいと思う。これまでの行事でたびたびミサが行われてきたが、これも父兄からの要望であったと聞いている。創立五十年の歴史の重みは、式典の盛大さだけでなく学校の福音化を浸透させているのかもしれない。

井手澄江理事長が語った教育目標が思い出された「本校の目標は世界的な視野をもち、清楚にして気品があり、家庭を立派に守る日本女性の育成にある。そのためにキリストのみ教えに基づく永遠不変の精神をもって教育する。真の学校の発展は生徒数が多いとか、大学進学率がよいとかで決まるものではない。一人ひとりの人間が神さまからつくられた尊い人格であることを自覚し、大切に教育されているかにかかっている」と。

平田司教もミサ中の説教で、愛の大切さとそれを基本的に教え実践する雙葉学園のすばらしさを称えた。クリスマスミサは、雙葉学園生徒の聖歌隊の奉仕によって、いい宗教的なムードのうちに午後三時十五分終了した。

一月命日の司祭

▼グスターブ・ロー神父（パリ外国宣教会）一九五〇年一月一日元琵琶崎修道院付
▼アウグスチン・ハルブ神父（パリ外国宣教会）一九四五年一月十四日元崎津教会主任
▼ジャンマリ・マルタン神父（パリ外国宣教会）一九七五年一月十八日元聖母訪問会付
▼ルドビコ・ガルニエ神父（パリ外国宣教会）一九四一年一月十九日元大江教会主任
▼ジョゼフ・フレスノン神父（パリ外国宣教会）一九二九年一月元久留米教会主任

熊本でも（予定）

熊本市内のカトリック・プロテスタント両教会の共同主催による第十四回市民クリスマスのタベが十二月二十三日（金）午後六時から、熊本市民会館大ホールで開かれる。

熊本出身で東京神学大学教授北森嘉蔵先生の講演を中心に、信愛のページェント、九女の合唱や九学のブラスバンドが楽しめる。入場料は大人五百円、小中高生三百円が必要である。

教会における聖書の果たす役割

教会は聖書を読むことにより、神が人間に与えられた啓示を聴き取るのであるということはすでに述べた。第二次バチカン公会議の「神の啓示に関する憲章」は、すべてのキリスト者にあてて、聖書を読み、黙想するようにという励ましの言葉をもって終わっているというのは、教会の生きた伝承があらゆる方法で、使徒たちから受けた福音を忠実に守ってきたことは確かだからである。しかしながら、この伝承自体に、その忠実さを検証させる最高権威もまた聖書なのである。

聖書の尊重

教会は主の聖体と同様に、聖書を常に尊敬し、特に典礼において不断に、神の言葉とキリストの体の食卓から生命の糧を取り、信者に与えてきた。教会は今日も、今までと同じように、聖書を聖伝とともにおのが信仰の最高の規範と考えている。実際、聖書は神の霊感によって永久に一度書かれて、神自身の言葉を変わることなく伝え、そして預言者や使徒たちの言葉の中に聖霊の声を反響させている。それゆえに、教会の教えも、キリスト信者の信仰そのものも、聖書によって養われ、規定されている。実際、聖書において、天にまします父は深い愛情をもって、常に自分の子どもたちと会って、互いに語り合うのである。そして神の言葉には、教会にとってはささえと気力となり、教会の子どもにとっては、信仰の力、霊的生命の泉となる（グルロ聖書入門から）

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

熊本合同CLCからの報告

過去六ケ年間、熊本合同CLCと合志家族CLCの二つだけで形を保って来た熊本県下のCLCに対して、再起の機会をお恵みくださいましたことを深く感謝いたします。

一、信者間で相手を尊重し、受け入れ合うこと（一致）
二、各種使徒職団体のそれぞれの独自の活動を尊重し合うこと（和解）
三、CLCのコミュニティは、CLCの養成方法と規約を厳守すること（独自性）
四、キリストと共に生活（活動）して、教会と社会に奉仕する人々を養成すること（キリストの弟子の実践）
五、成熟したメンバーを中心に、未洗者を混えたコミュニティ作りに努めること（宣教）　以上

とりあえず、上記のような規律のもとにコミュニティ作りを始めて、来年九月二十二日～二十四日までの熊本市内で開催されるCLC九州地区大会の時には、県下に十カ所のコミュニティを持つようにしたいと仕事にかかりました。

その目標の下に第一に誕生したのが、「熊本青年の集い」で、第二のものが「重度身障者と健常者の集い」となったのです。この第二のコミュニティは、そのCLCへの参加希望者を認めるにあたって、かれらが所属するグループ西遊記の幹部の方々から承諾を戴いて結成されたのです。

熊本市内には、数多くのグループに分かれて登録されている身体障害者が二万七千人いると聞いています。グループ西遊記の身障者は約三十人、他に同数くらいのボランティアがいます。今回は、その内の数人がCLCに参加しただけです。CLCは、全信徒を網らしようと思っていません。でも、CLCの下に集まってお互いを養成したいと思っている信徒も未洗者もいることは確かだと信じています。今後とも、適正な保護を与えてくださるようお願い申し上げます。

（健軍信徒中野記）

神学講座
（昭和59年第1学期）

1. 講義科目、担当講師
　教父たちの現代的な見直し
　―かれらのすばらしい霊生と教会における深い役割、その教義の動向について―
　福岡スルピス大神学院
　　ラプラント神父
2. 講義期間
　4月10日～6月26日までの
　毎週火曜日
3. 講義会場、時間
　福岡市中央区浄水通39
　　司教館新館ホール
　　午後6時から8時まで
4. 聴講料
　6,000円（1回500円）当日会場で受付ける

飛脚

★十二月二十一日午前十時から、熊本市武蔵ケ丘教会（合志教会の改称）の移転新築のための起工式が行われた。主任司祭オカロール神父の司式で、三十人が参加。島崎教会主任ヤンキャンプ神父が地区長代行として、鋤入れをした。新築教会の敷地は四百坪、そこに五十坪の教会堂と三十八坪の司祭館が建てられる。来年五月中旬に完成の予定であるが、十二月中に基礎工事を開始する。現在の所属信徒は約五十人といわれる。新教会完成の暁には、合志教会は巡回教会ではなく、伝道館として周辺の人たちの要理教育や研修場のため活用する。

★佐賀県の武雄カトリック教会は十二月四日、創立二十五周年を祝った。昭和三十三年九月二十三日に創立され、ガザルディ神父（現佐賀教会主任）が初代主任司祭であった。現在の主任はサルディ神父で、信徒数は九十四人。

★十二月十四日午後一時半から、福岡教区の難民担当者の集いが司教館で開かれた。カリタス・ジャパンの松村神父の出席もあって、示唆に富んだ有意義な会合となった。援助に当たっては、定住希望の難民を優先して考えること、日赤の難民収容施設の場合、日赤の責任者への気くばりが重要で、無断で出入りしないように注意した。

「年末街頭募金」活動は何のため？　誰のため？

どんな活動も、整えられて軌道に乗ると、目的や意識が薄れ、まんねり化するようです。「年末街頭募金」も、それが感じられませんか？このような教会全体の活動は、例えば神父様の熱心な一声があればいっぺんに生きかえったようになるでしょう。しかし、私はここでそのような成功手段を呼びかけたいと思ったのではありません。少しでも、この教会の年中行事に関心を持つ者として何のため？　誰のため？　参加するのかを、信仰によって改めて受けとめたいのです。

募金の目的は、社会福祉に参加のためです。ある人は「そのためなら何もはずかしい思いをして人中に立たなくとも、もっと能率的な方法がある」と言います。すると言われた人は「あなたも一度立ってみなさいよ。そしたらきっと分かります……」と。私もほんとうにそう思います。街中に「カトリック教会」のたすきをかけ「ご協力おねがいします」と呼びかけて立つ時、何パーセントの兄弟がふりむいてくれるのでしょうか。実にむだ骨折りです……。しかしだからこそ、私たちは立つのです！　イエス様は、いろんな人々を見せてくださいます。十字架の木に釘づけになられたイエス様は、もっともっとおろかな姿でした。それは神様の愛の事実です。その上「私の肉を食べ、血を飲め！」と。

こんな計りしれない大きな神からの贈り物の種が、この地上に落とされた記念日を迎えるのです。この神の愛の賜物、この神の神秘なご計画を、もっともっと腹の底から悟って、感謝したいのです。そして、皆に知らせたいのです。だから、おろかな者になって、人中に立つのです。あとは、イエス様、自身がすべてを成しとげられるでしょう。こういうチャンスをお与えくださった主に感謝します。「結果より、心の底を見抜かれる主よ、私たちをあわれんでください」（手取教会日向）

新年祈りの集いのご案内

1月16日（月）ふりかえ休日午前10時笹丘教会　マテオ神父指導　会費100円程度の献金　自由参加　新しい年に当たりご一緒に主を賛美しお恵みを感謝しましょう　また1月4日～7日の全国研修会に参加した兄弟姉妹の体験の分かち合いがあります　申し込み先

光ケ丘・笹丘教会の祈りの集い
福岡司教館　Br床島・杉山

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社　藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5―4―12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272―0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 福音宣教の士着
(布教) 中国の青少年

泰星学園中学併設で一貫教育
大きく脱皮して躍進をめざす
心強い姉妹校との交流と連携

過去の泰星学園を知る者が今日の姿を見るとき、驚きの心を禁じ得ないであろう。泰星学園は変わった、また変わるであろうの期待感をもって周囲の温かい目が注がれているようだ。昨年七月から、泰星学園の経営母体は、イエズス会修道会に移った。それまでは福岡司教区の経営で、理事長は福岡司教平田三郎師であった。いまはイエズス会日本管区長の粟本昭夫師が、理事長として再建のみことな手腕を見せている。

四百余年前にイグナチオ・ロヨラによって創立されたイエズス会は、男子青少年の教育を重要な使命の一つに考えているカトリックの男子修道会である。現在、世界各地に約千校の大学・高校・中学校を設立している。日本では、東京の上智大学をはじめ、神戸の六甲学院（昭和十三年設置）鎌倉の栄光学園（昭和二十二年開校）広島のエリザベト音楽大学や広島学院（昭和三十一年開設）を経営している教育界の第一人者である。

泰星学園（福岡市中央区輝国一丁目）は市内の唯一のカトリック系男子高校であるが、ことし四月から中学校を再開し、中学・高校の六カ年一貫教育に出発することになったのである。中学・高校の六年間は、子どもたちにとって精神的にも肉体的にも大きく変わる不安定な時期である。と同時に、自分と社会に大きく目覚め、人生観を形成する重要な時期である。

泰星学園は「中・高六カ年を通して正しい生活規律を身につけ、キリスト教的な愛と奉仕の精神を養い、生涯にわたって心豊かな人生が送れる人間を育てる」ことに目標を置いている。この点に関して、大野正恒校長はつぎのような説明を聞かしてくれる「私は教育目標として次の三点を掲げます。第一に子どもたちが、両親や目上を通じ語られる正しい良心の声に速やかに『はい』と答え、どんな困難にも耐え、やり通す意志の強い人になってほしい。第二に他人の好意や自然のお恵みにすなおに『ありがとう』といえる人、そして自分がいただいた慈しみが不幸に苦しんでいる人にも与えられるよう友のために祈る思いやりのある人になってほしい。第三に他人に迷惑をかけたとき、良心に背いたとき『すみません』とすなおに謝ることができる人になってほしい。現在は物の豊かさに慣れ、心が貧しくなったといわれ、真の教育が問い直されています。私は子供たち一人ひとりが『神の似姿』として創造されていることを悟り神の愛に答えることができる人に育ってほしいと望んでいます。これこそ本校の最も重要な教育目標であり、また使命でもあります」

泰星学園は、大学進学を目指した六カ年一貫教育を三つの段階に分けている。中学一・二年は「入門課程」として、基本的な学習の方法と習慣を養い、学習に対する興味と意欲を持たせる。中学三年・高校一年は「基礎課程」として中学、高校ですべての生徒が履修しなければならない科目を幅広く学習し、基本的な知識と学力を身につけさせる。高校二・三年は、「進学課程」として将来の進路、志望に応じたコース制によって選択科目を増やし、大学入試科目の詰め込み学習でなく、進学後専門的に学ぶ分野の基礎となる科目に重点をおいて思考力、応用力を養うことにしている。

泰星中学校では国語・数学・英語などの基礎科目に重点をおいて思い切って授業時数を増し、時間をかけてレベルの高い授業を行うようである。特に英語では、姉妹校で中高校の英語教育に長年にわたって経験を積んだベテランの米国人教師と日本人教師が共同で授業を担当し、語学教育の基本である「聞く」「話す」「読む」「書く」という四つの言語活動の間に調和のとれた生きた英語教育が行われる。

すでに中・高六カ年一貫教育を実施している姉妹校の六甲、栄光広島学園の大学進学は目覚ましく、中・高一貫教育の成果が十分に発揮されている。この三姉妹校は共通した教育理念を持っているため、親の転勤に伴う転校などの際には可能な範囲でお互いに便宜をはかるとともに、教職員の合同研修会を開くなど密接に交流、連携している。泰星中学校再開による泰星学園も、この三姉妹校に仲間入りすることになる。

本年四月の中学新入生は百名で発足する。中学校の授業は、現在の高校北側校舎の四階を改装して使用するが、すぐに泰星高校の西側に隣接する用地に中学校舎やグランドの建設がはじまる。

二月の聖体礼拝当番教会

二月五日	多久
二月十二日	鳥栖
二月十九日	呼子
二月二十六日	馬渡島

内科医招聘

年齢、男女を問いません
給与 面談の上優遇します
住宅有り、福祉事業に御理解をお持ちの方は履歴書をお送り下さい。
〒824 行橋市大字東徳永382
社会福祉法人聖母訪問会
新田原聖母病院
TEL 09302—3—1006

微光

ひと昔まえ、離婚があれば、暗さと心の痛みがみえた。現代日本人の意識の中では、どのように解釈されているのだろうか。鳥かごから放たれた小鳥のように、自由な、未知の生活への挑戦にむしろ明るく心が翔んでいるかもしれない。離婚がみじめで、失敗と考える日本人は少ないのではないか。意識革命の波は罪悪感を薄め、離婚が人生の出来事の一コマに過ぎない、と軽視させているかのような現象さえ現れてきた▼昨年一年間の婚姻数は七十七万千組で、前年より約一万組減っている。ところが、離婚については前年より一万四千組も増加して、十七万八千組になった。人口千人当たりの離婚率は一・五〇組で、先進国の仏一・五九組、西独一・五六組に接近してきた。恐るべき離婚の伸び率である。二十歳未満の子どもがいる夫婦の離婚件数も年々急増、中年夫婦の離婚の増大が家庭崩壊の深刻な内容を広げている。親の因果が子どもにも及ぶ▼どこまで続く離婚の道／教会の出番に多くの期待がかかっているのだ。夫婦の精神面の軟弱さが、安易な結婚観に走らせていないだろうか。「夫婦を鍛える」とか「信仰の視点での夫婦の見直し」の教会の会合を大いに奨励したい。最近注目されているマリッジ・エンカウンター集会の効果が、徐々に上昇していると聞く。配偶者は自己成聖のために神から与えられたもので、結婚の秘義は二つではなく、一つになった完成を説いている。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

北九州のパリ外国宣教会員
司祭銀祝のお二人さん
二十五年前の来日も一緒に

北九州市八幡東区の八王寺教会の主任アンドレ・ベルトラン師と門司区の門司教会主任ジュリアン・ガイヤール師は、二月の初めに司祭叙階二十五年の祝いを迎えることになった。両師は現在人生の折り返し点に入ったとはいえ健康に恵まれ、福音宣教と教会の司牧に奮闘中である。

ベルトラン師は、一九三二年十二月十九日生まれ（仏国）。一九五九年二月一日、パリ外国宣教会員として司祭に叙階された。半年後来日したが、奇しくも聖母被昇天祭で何か因縁めいたものを感じるようであった。二ケ年の日本語学習の後、正確には一九六一年七月から二年間、小倉教会の助任を務める。一九六二年七月から二年間、新田原教会の助任。一九六四年から一九六六年、黒崎教会の助任。一九六六年から一年間、戸畑教会助任と続く。一九七〇年八月から十二年間、水巻教会主任となった。一九六二年二月、八王寺教会主任となり現在に及んでいる。目下、パリ外国宣教会の北九州責任者の地位にあり、会員の親睦融和のために活躍している。また、教区顧問会や司祭評議会のメンバーとして司教を助けている。

ガイヤール師は、一九三一年十一月十七日フランスに生まれた。一九五九年二月二日、司祭に叙階される。一九五九年、ベルトラン師と仲好く八月十五日に来日する何だかマリアさまのみ手を、かれらの後姿に見る思いがする。日本到着後直ちに、二年間の日本語習得に励む。一九六一年七月、戸畑教会助任となる。一九六四年から一年間、湯川教会主任ならびに湯川カトリック保育園長。一九六四年から一九六七年まで、再び戸畑教会助任に戻る。一九六七年から二年間、三度目の戸畑教会助任。一九七一年から一年間、門司港教会助任。一九七二年から二年間、司教館勤務となった。一九七四年から一年の間、大名町教会助任として教会に起居する。一九七五年から一九八三年まで、再び司教館に。一九八三年四月、門司教会主任に就く。ガイヤール師は三年ほど前、心臓の大手術をうけたがいまは心配なく、登山を楽しむほどの健康を回復している。門司教会司牧のかたはら、福岡大学での週一度のフランス語講師を務めている。その前晩は、司教館の宿泊客になっている。

全大統領の招待
五月三日から
教皇の初の訪韓

ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世は、五月三日から七日まで韓国を訪問する。これは全斗煥大統領の招待によるもので、過去の訪日の場合（日本カトリック司教団の招待）とはかなり事情が異なる。しかし、カトリックの布教開始二百周年の記念行事参加などが計画されており、韓国司教団からの招待状（日本司教団を通した巡礼団）も届いている。韓国のキリスト教徒は九百万人（人口の約四分の一）といわれ、このうち百八十万人がカトリックで宣教活動は盛んである。

カリタス・ジャパンから
四旬節の愛の運動に協力を

三月七日から、主の過越の神秘を中心に、洗礼志願者とともに四十日の準備をする「四旬節」に入る。隣人愛を証しする期間というべきであろうか。

時代は変わっても、キリスト信者がキリストに従って生きようとする者であることに変わりはないと思う。そしてキリストに従う人の第一の特徴は互いに愛し合うことである。「私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これが私のおきてである」というキリストの命令は、現代の私たちにも第一の、そして最大の課題として生きている。私たちがキリスト信者であることは、いろいろの形で表される。主日のミサに与るとか、日々の祈りを忠実に行うことであるが、それらすべてのものの源にあるのは、この隣人愛の新しいおきてである。「ほかにどんなおきてがあっても『隣人を自分のように愛せよ』というキリストのおきての中ですべてが果たされる」（ローマ十三・九）と使徒パウロは教えている。

しかし私たちが皆体験していることであるが、隣人を自分のように愛することは実に困難なことである。それどころか、不可能だと考えたくなることもたびたびある。それにもかかわず「互いに愛し合え」とキリストがお命じになるのはどうしてであろうか。キリストは私たちに不可能なことを命じられたのであろうか。

新しいおきてを与えたキリストには、そのことばが出てくる深い理由があった。それはキリストご自身の体験から出たことばで、それは「神はお父様で、すべての人をご自分の子どもとして大切にし無条件で愛し、無差別にいつくしみ、際限なくゆるし、まことの幸せに導いてくださる方である」という体験である。キリストはこれを「神の国」ということばで表現された。「神がいつくしみ深いお父様として支配してくださるのだから、自分を捨てて神の導きに信頼して生きなさい」と教えた。つまり「神が愛してくださるのだから、あなたがたも互いに愛し合わなければならない」というのである。神に愛されているという自覚から、隣人を愛するという信仰の答えが出てくる。（典礼暦参照）

カリタス・ジャパンは「今年もまた四旬節にはいりました。教会は、この期間に人類の救いのために苦難を受けられたキリストの愛の行いを思いおこし、キリストと共にこの聖節をふさわしく過ごすために祈りと愛の業に励むように望んでいます。カリタス・ジャパンは毎年この期間、日本司教団から委託され、「愛の運動」を推進してまいりました。日本をはじめ世界のいたる所で、わたし達の援助を待ち望んでいる多くの人々がいます。これらの人々に今年も援助の手をさしのべたいと存じますので、皆様の温かいご協力をお願いいたします」と訴えている。

ことしの運動の対象は、老人福祉、心身障害者施設およびその援助活動に対する援助と難民に対する援助、海外の地域開発、医療活動、青少年福祉に対する援助などが盛り沢山の目標である。一応七千万円の目標額を設定している。若しみなさんの補助金交付を希望するところがあれば、教区カリタス担当（行橋市門樋町八一五カトリック教会若永義人神父）を通して援助金交付申請書を提出するように、とカリタスは望んでいる。

飛脚

一月十日、教区司祭の新年集会があって四十人ほど参加した。平田司教は共同ミサの中で、司祭の新しい心（驚い、和解）を説く。

久我美術研究展示館第11回展

59年3月1日～5月31日
AM10～PM5（火曜日休館）

1. 徳利（九谷京焼伊万里を初め国内徳利の入れ替え陳列）
2. 萩三輪窯の永正年間（1504～1521）開窯説を肯定し併せて，そのキリシタン性を物証を以て展開する
3. 豊前小倉焼・薩摩焼織部型のキリシタン焼成器
4. 南蛮船の屏風と彫円板
5. 宗達風に描かれた南蛮人の肖像
6. 梅花の鑑賞

〒811-21　福岡県粕屋郡須恵町藤浦
Tel (092)933—1567・1537
福岡国際空港車20分　香椎線須恵駅下車バス10分
福岡天神より宇美行(36)バス40分一番田下車

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3—2—9　TEL 531—1231

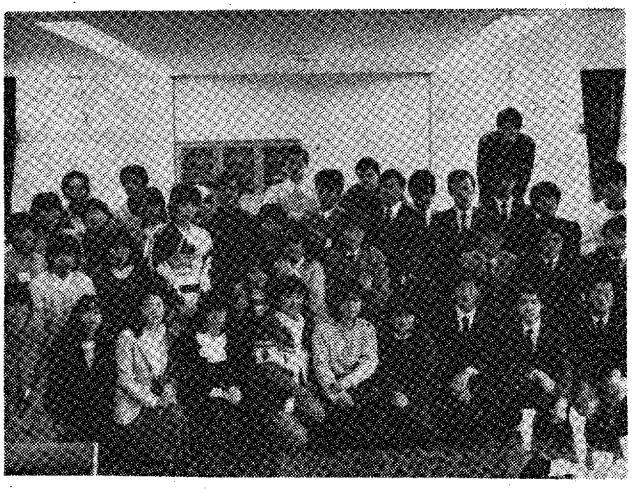
信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店　☎2—0646
〃　駅前5秒店　☎2—2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641—4321
〃　黒崎駅前名店街店　☎641—7177
〃　ダイエー城野店3階☎922—5637

地味ながら成人を考えさせる
福岡地区の青年有志の成人式

一月二十二日（日曜日）、一週間おくれの成人式があった。福岡市内のカトリック青年会が主催したもので、平田司教や青年教区担当の松井神父のほか四十余人が出席した。祝福された新成人は二十三人であった。

聖なる雰囲気の中でみことばの祭儀が行われ、祝賀会と記念品贈呈が続く。これらを通して成人とは何かを自らに問つ、有意義な式を持ち得たのではないだろうか。

式の開始直前に「急病人あり」という連絡で、司会担当予定の松井神父が席を外したが、青年たちの協力で式は順調に進んだ。



成人式の参加者

司教は過去の体験を織り交ぜながら、神や信仰の重要性を語り、成人たちへの祝いと激励のことばとした。すっかり静まったかれらの心に、内的火がつけられる「一つの信仰を持つ者が一堂に会することのできる幸せと喜び……超自然徳は人間の形成に障害になるどころか、かえってそれを完成するに大いに役立つ……」世間を去り修道院の奥深く生活した一修道女との立派な母性愛の体験談を披露しながら、偉大な人間作りは神との交わりからくることを強調した。また司教は「人間らしい人間になり、立派なカトリック者として社会に貢献するように努力する。また今日の友情・出会いを大事にして、立派な家庭を作るように」と結んだ。祝いの乾杯からアトラクションに移り、和やかな笑声につつまれた青年たちの姿は、青年イエズスを偲ばせるかのようであった。

会合と催し

☆平田司教

2月1日　聖書実行委員会
7日　教区合同祭の集い
11日　光ケ丘幼稚園二十周年
12日　本渡教会発成式
26日　老司教会堅信

☆福岡黙想の家

2月10日～12日　聖母カテキスタ会の黙想
2月11日～12日　援助修道会主催の黙想会
2月27日～29日　老人ホーム施設職員の研修会

カトリック・プロテスタント合同主催
熊本市民クリスマスのタベ

第十四回市民クリスマスのタベが、去る十二月二十三日（金）に、熊本市民会館大ホールを会場として開催され、約九百名の参加がありました。

この市民クリスマスのタベは、熊本市圏のカトリック・プロテスタント教会の代表により構成されている熊本キリスト教会連合の主催で毎年開催されていますが、今年は、実行委員長高木慶治氏（島崎カトリック教会）、事務局長広石修一氏（日本聖公会熊本聖三一教会）により準備がすすめられました。

当日は、九州学院吹奏楽部によるクリスマスソングの演奏、九州女学院合唱団による「メサイヤ」の合唱、熊本信愛女学院生徒によるページェント「大いなるよろこび」の上演、ソーヌス・アンジェリクスによるハンドベル演奏で楽しい一時を持ちました。ひきつづき、「クリスマスの現代的意義」と題して、北森嘉蔵氏（東京神学大学教授）による講演がありました。この講演で北森氏は、親と子の関係やマラソンの瀬古選手のケガからの立ち直り等の例をあげて、「神の痛みの神学」についてわかり易くお話しされました。

市民クリスマスでは、毎年入場券の売り上げの一部と、会場に置いた募金箱で集まった募金とを合わせてチャリティとして寄付をしていますが、今回は、カトリック健軍教会難民部へ寄付することが決まっています。

最後になりますが、この会を支えてくださった多くの皆様、当日裏方としてご奉仕いただいた熊本マリスト学園の生徒の皆様、運営実行委員の皆様に心より感謝申し上げます。（熊本・広石氏）

八代市民クリスマスも盛大

第三回八代市民クリスマスが、十二月十八日（日曜日）午後二時から、厚生会館で開かれた。これは八代キリスト教連合会（中村政春会長）が主催したが、七百人の親子連れが訪れ、クリスマス気分に浸った。

今回の特徴は、昼間に行ったことと多くのメンバーの参加を得たことであろうか。そして行事の第一部を静粛に、第二部をリラックスに進めていった。ナザレ園児の器楽合奏、ゴスペルシンガーズの賛美歌、八代少年少女合唱団、白百合高コーラス同好会の合唱、聖書朗読、お祈りがあって、祈るクリスマスの雰囲気が出ていた。

また、市内各店の共賛で、ケーキ、クリスマスカードのプレゼント、抽選会などで楽しむクリスマスとなった。最後に「きよしこの夜」を全場全員で合唱、散会。

なお、記事中のナザレ園は八代市通町にあり、シャルトル聖パウロ修道女会が経営している養護施設である。幼児から十八歳未満までの子どもで保育に重大に欠ける者や両親を失くしている者などを収容している。現在職員二十五人が、女五十五人、男十一人の健全な成長のために献身的な奉仕に当たっている。

八代市民クリスマスのナザレ園児

二月命日の司祭

▼ジョン・オマラ神父（聖コロンバン会）一九七四年二月十四日元荒尾教会主任
▼ジョゼフ・ボア神父（パリ外国宣教会）一九五七年二月十七日元黒崎教会主任
▼フランソワ・ベルトラン神父（パリ外国宣教会）一九四〇年二月二十二日元門司港教会主任

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想
石の影響
他の大御所
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

不況にもめげず善意ぞくぞく
恒例のクリスマス街頭募金

十二月の声を聞くと、教会行事に愛の街頭募金が顔を出す。誕生のおん子イエススに対する心のプレゼントとして、他人への奉仕と犠牲を表明するのである。キリスト教的信仰は「証し」であり、各自の心の奥深く秘蔵するものではない。生活と行動に堂々とキリストのみ教えを実践する、これが信仰と福音宣教の道であろう。

福岡地区では、毎年多くの教会が愛の街頭募金に協力している。また、一部のカトリック系学校も常連であるが、中には教会や学校の事情で参加できないところもあるようだ。街頭募金が不可能なところは、別の形で善意を示せばよいのではあるまいか。神は不可能な者に要求することがない。神の願いは、貴方のできることを差し出してほしいということだ。ことしの福岡地区の街頭募金は、十七の教会と三つの学校からの結果が報告されている。募金額は百六十八万二千二百八十一円で、不況という厳しい経済情勢の中でも人々の善意の灯は消えていない。

熊本地区は、十二月三日（土）四日（日）、十日（土）十一日の日曜日の午後一時から七時まで、熊本の繁華街の上通り、下通り、新市街を中心に健軍本通り、マルショク帯山店付近で街頭募金を行った。参加者は、手取、健軍、帯山、島崎の熊本市内の四教会と信愛修道院、信愛女学院、聖心修道院で、これで六回目になる。集められた浄財は百十万五千百七十六円であるが、必要経費を差し引いた残額九十八万千六百四十六円を熊本市社会福祉協議会へ預託できた。これは、熊本市内の老人ホームや身体障害者諸施設の越年資金の一部として送られるらしい。

北九州地区は、九教会が街頭募金運動に加わった。募金額は百三十二万八千四百七十二円で、上記の施設に配分されている。配分先を眺めて思うことは、教会の社会参加が幅広いものになったということである。カトリック施設に止まらず、非カトリック系の団体にもその恩恵が流れていることをうれしく思いたい。寒風の下、キリストの愛の証人として協力してくれた方々にキリストの平安を！

愛の街頭募金（昭和58年度）

収入 教会名	募金額	支出 配分先	金額
	円		円
福岡地区			
大名町教会	55,000	今村聖母園	150,000
浄水通〃	23,357	処女学園	100,000
光ケ丘〃	75,394	清心慈愛園	100,000
四新〃	43,998	聖ヨゼフ園	100,000
美島〃	33,500	久留米天使園	100,000
高宮〃	257,469	北野学園	100,000
老司〃	62,732	第二北野学園	100,000
吉塚〃	80,373	菊池園	100,000
茶山〃	46,000	信愛会篠栗荘	100,000
箱崎〃	150,531	福進会富の里	100,000
大楠〃	26,370	朝倉老人ホーム	100,000
笹丘〃	80,000	しいのみ学園	100,000
古賀〃	25,827	あけぼの学園	80,000
大牟田〃	80,077	心身障害児を守る会	100,000
今村〃	196,120		
本郷〃	82,495	福岡教海師会	100,000
小郡〃	38,000	カリタス・ジャパン	64,951
福岡海星女子学園	115,277		
明光学園	102,237	地区困窮者	68,900
サンズルピス大神学院	107,524	諸経費	18,430
合計	1,682,281	合計	1,682,281
熊本地区			
手取教会・信愛修道院	359,138	立看板作成料	18,000
健軍教会・信愛女学院	129,775	熊本市社会福祉協議会へ預託	981,645
帯山教会・ポンピエ学校	240,000	ご絵作成料 50,000枚	100,000
島崎教会・日曜学校	85,200	警察署許可書印紙代・通信費他	5,530
聖心修道院	203,774		
帯山教会	87,289		
合計	1,105,176	合計	1,105,176
北九州地区			
門司港教会	74,125	天使育児園	70,000
小倉〃	100,240	北九州身障者センター	70,000
湯川〃	125,700	命の電話事務局	40,000
水巻〃	145,210	あだち園	70,000
行橋〃	214,904	長寿園	70,000
戸畑〃	216,852	聖ヨゼフ児童園	70,000
門司〃	175,000	聖小崎育児園	70,000
八王寺〃	65,330	聖希望の家	70,000
新原〃	211,111	聖家族老人ホーム	50,000
		みやこ援護ヤ	30,000
		ポリ会ホーム	100,000
		日本カトリック社会福祉協議会	601,472
		印刷30,000負担金	17,000
合計	1,328,472	合計	1,328,472

下には下がある

マニラ市内にいくつかあるスラム街の一つに、レベリサ部落がある。三万人の貧民が、掘立て小屋のタタミ二・三枚位の板張りの床に家族（親子三ないし四人）単位で生活している。家具調度品は殆んどなく、炊事は屋外の七輪らしいもので行っている。食事内容はまずい米飯に魚の汁をかけるか、少し良くて手の親指位の小魚の煮物三・四匹がお惣菜のすべてだ。人間の欲望は限りないが、時には自分以下の生活を考え、感謝する自分を発見しなければならない。

贖いの特別聖年に全免償を祈る

特別聖年の恵みの一つに、全免償を考えることができる。これは一日に一回自分のため、あるいは死者のために基本的条件（ゆるしの秘跡を受け聖体を拝領する）を満たした上で、定められた信心や善業、ミサ・祈りなどによって与えられるものである。

ゆるしの秘跡は、罪を赦すだけでなく永遠の罰（天国からの除外と地獄の罰への決定）と部分的に一時的な罰を免除する。一時的な罰とは、この世のいろいろな善を欠くことなどを指す。この一時的な罰はゆるしの秘跡によってすべて免除されるのではなく、罪人の個人的な行為によって駆逐しなければならない。それは忠実な義務履行、苦難や不幸の辛抱強い忍耐、祈りその他の善業など種々の方法によって可能である。

この一時的な罰を贖う一手段が免償を得ることである。何故ならば、免償というのは教会によってゆるしの秘跡の外に与えられる罪に対する一時的な罰の赦免だからである。全免償とは、残されている罰を完全に赦すものを呼んでいるのである。免償をいただくことは罪の赦しを前提にしており、罪が赦されなければその罰も免除されないことになる。教区聖年大会への参加によって、全免償を受け贖い主の心に一致しよう。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5—4—12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272—0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 聖年の豊かな実り
(布教) アフリカにおける福音宣教と正義

教皇書翰
サルヴィフィチ・ドロリス
人間の苦しみをテーマに扱う
聖母のルルド出現記念日に公布

去る二月十一日、教皇書翰〝サルヴィフィチ・ドロリス〟が公布された。この日は聖母のルルド出現一二六年目にあたり、全教会的に「病人の回復」と呼ばれているマリアの立場を強調し採用されたものと思われる。

この書翰は、苦しみの深い意味についての教会の答えであり、明確な位置付けとみなすことができるであろう。八章から成り、三十一の節記号に分けて論を展開している。明快なこの教えは啓示の源泉や教会の二千年の経験に触れ、人間の文化に貢献している。これは默想に通ずる省察であり、一挙に受け入れられるように主張はしないが、歓迎されるように願っているメッセージである。また、ヨハネ・パウロ二世の従来の回勅のように、現代文化の新しい表現にキリスト教信仰の力強い証言を一致させている。合理的にして宗教的な解決法が交互に生かされ支えあっていて、すべての人の司牧的なまた現実的な教えになっているようだ。

この書翰の骨格と内容に簡単にふれてみよう。この手紙を公布するに際しての影響をうけた環境について述べた入門のあと、人間の苦しみの諸問題をはっきりした論理的な説明に結んだ六つの章で本文が進んでいる。初めに、描写の形式での〝苦しみの世界〟の説明となっている。この確認は、苦しみの意味の質問に答えを見出すように仕向けるもので、苦しみの原因だけでなく終局目的をわからせる。ヨブの例は、その足どりを照らしてくれる。しかし論理的な答えは十分ではない。キリストが生活を通して与える答えに、耳を傾けなければならない。イエズス・キリストにおいて、苦しみは愛に打ち負かされたのである。

ところで、この書きものは人間の苦しみについてのキリスト教的な講義に受け取ることができる。それは聖パウロの教えの照会である。即ちわたしたちはキリストの苦しみに与る者にされたわけで、キリストの生命がわたしたちの体に表されるように、わたしたちの体にキリストの死を帯びるのだ。

その書翰の後半部では、苦しみの福音が述べられ、つぎの変わった逆説で絶えず書かれ、表現されている。それは、神の力の源泉は人間の弱さの心の中に真実に湧き出るということである。

最後の章の〝善きサマリア人〟は、いわゆるこの書翰全体の講義の鍵を蔵している。キリストは、苦しみによって善を作り、同時に苦しんでいる人に善を施しなさいと教えた。かれはこの二つの視点のもとに、苦しみの深い意味を啓示したのである。

教皇は結論において、世の贖いの秘義は驚く程苦しみに根元を置くことを思い出させる。かれはすべてのキリスト教徒と善意のすべての人に、この精神の中で聖年を強く生きるように熱烈なアピールをする。「十字架の下にいたキリストの母マリアとともに、われわれは現代人のすべての十字架の近くに留まろう」と。

教皇書翰サルヴィフィチ・ドロリスのいくつかの本質的な点例えば苦しみの完全な概念の展望、苦しみの理由、肉体的及び倫理的な苦しみの幅広い序曲を力説したのち、バチカン関係者は若干の重要な助言を加えている。

実に、この書翰は苦しんでいる人のために教会の援助の分担で働いているすべての人たちを浮き彫りにしている。この観点から、今回の教皇書翰は司牧的な仕事をしている人ばかりでなく、種々の方法で肉体的にまた倫理的に苦しんでいる人たちとくに家庭や若者に援助の手を延べているボランチアの人にとっても貴重な刺戟剤となるであろう。

この書翰は前述の如く八章に区分される。第一章入門、第二章人間の苦しみの世界、第三章苦しみの意味についての質問に対する解答第四章愛によって克服された苦しみ、第五章キリストの苦しみに与る者、第六章苦しみの福音、第七章善きサマリア人、第八章結論。

(オッセルバトレ紙参照)

三月の聖体礼拝当番教会

三月四日 荒尾
三月十一日 人吉
三月十八日 本渡
三月二十五日 健軍

神学講座
(昭和59年第1学期)

1. 講義科目、担当講師
   教父たちの現代的な見直し
   —かれらのすばらしい霊生と教会における深い役割、その教義の動向について—
   福岡スルピス大神学院
   ラプラント神父
2. 講義期間
   4月10日～6月26日までの毎週火曜日
3. 講義会場、時間
   福岡市中央区浄水通39
   司教館新館ホール
   午後6時から8時まで
4. 聴講料
   6,000円（1回500円）当日会場で受付ける

微光

三月には、花見月の異称がある。温暖な気候は、自然の覚醒を招き、春風たいとうの表現がピッタリとくる。一見、平和な花の社会を夢みるようだ。三日のひな祭り、五日のけいちつは、家庭や冬眠中の小動物に明るい生活を約束してくれるのだろうか。喜びの行事はまだまだ続く。入試合格、卒業、就職、結婚と明るい話題一色の季節の感がする。でも、人生には暗黒面が伴走する。喜ぶ人があれば、泣く者も数少なくない▼三月はまた、うつ病のシーズン、頭の痛い時期。入試失敗、転勤とそれに伴う別居生活、引越し、新しい職場での不安など、うつ病の誘発因は目白押しである。学生、サラリーマン、家庭にとって心理的・経済的な重圧にあえぐのも、年度末の宿命か。一枚の転勤辞令が自殺や家庭崩壊に結びつくことも、決して極論とはいえない。この弱い社会の一面がみえかくれするのは、新聞報道の通りかも▼「悲しむ人は幸いである。その人は慰められるであろう」(マタイ5・4)この山上の垂訓の厳しい生活指針は、悲しみの分かち合いを奮励しているのではあるまいか。聖パウロも「一つの枝体が苦しめば、すべての枝体がともに苦しむ」(一コリント12・26)と教える。他者への気くばり、思いやりは本来キリスト教的なものだが、相談を受けてからの姿勢では生温い気がしてならない。悪を未然に防ぐ、積極的な愛の行動を考えたいものだ。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

教区の信徒総数（名簿上）は三万八十四人　信徒実数（確認数）は二万六千三十一人

一九八三年度の福岡教区教勢では、信徒総数（左の表の総数に司教・司祭・修道者・神学生・居所不明数を加えたもの）が三万八十四人で前年に比して百十八人減少の下り坂にある。

昨年度の信徒総数・実数は、前年よりも減少している。総数で百十八人、実数で八百六人減。とくに、この居所不明の信徒数三千三百六十九人が問題である。前年比六百九十八人増の迷える羊に教区の頭が痛い。減少傾向の中で不思議なのは、世帯数の増加である。前年の八千四百七十世帯に対し、昨年の八千七百三十八で増加している。これは多分、家族の中の一信者が一世帯として届けているためであろうか。

大人の受洗者数は三百人。地区別では、福岡地区九十三人、北九州地区百二十八人、熊本地区五十九人、佐賀地区二十人である。幼児受洗数は四百四十四人で、前年比百人増となっている。出生率低下の厳しい社会情況の中で、この点だけは教区に明るい小さな話題を提供している。

昨年の信徒死亡数は百五十三人になる。ここに謹んでかれらの永遠の安息を祈る次第である。転出者のうち教区内は六百八十四人、教区外が七百三十人。転入者については教区内から三百七十六人、教区外から六百八人である。転出入者総数では、四百三十人転出者が多い。

ミサ参加者の統計を調べてみると、日曜日のミサ参加者は年間平均一万一千百三十七人、復活祭ミサには一万六千二百四十一人が参加している。

聖職者および神学生について、司教二人（司退している深堀仙右衛門司教は、長崎・三ツ山の老人ホームで余生を送っている）、司祭百八人、そのうち邦人教区司祭三十二人邦人修道司祭十五人外人司祭六十一人になる。数字上はゆとりのある感じがするが、司祭の高齢化問題は司牧・宣教上の多くの困難を生じている。あすはわが身とうけとめる司祭は決して少なくない。司祭の後継者（召命）育成に重大な関心を持ち、司祭及び信徒の親の生きざまや神学校援助を通して、召命の豊かな実りを祈りたいと思う。

昨年の教区大神学生は十人、二年後には四人の司祭誕生が期待できそう。教区小神学生は三十人であるが、進学環境は大変きびしいといえる。小神学校に入学を許可される者は、秦星中学校に合格することが前提となるのである。勿論高校卒で司祭職への召命を感ずる人は、一年間小神学校の共同生活を通して大神学校の入試準備を続け、合格すれば教区大神学生として受け入れる。

福岡教区教勢

（1983年1月1日～12月31日）

教会名		洗礼 子供	洗礼 大人	洗礼 臨終	求道者	世帯数	婚姻 信徒間	婚姻 混宗	信徒実数	上名簿信徒数	所居不明
福岡地区	茶山	9	3	0	0	100	1	3	439	460	21
	大名町	20	12	1	23	312	3	22	569	1,054	485
	二日市	7	3	0	5	70	0	1	317	333	16
	箱崎	8	3	0	8	39	1	3	241	254	13
	笹丘	25	11	0	19	130	1	2	530	571	41
	光ケ丘	22	3	0	7	305	0	3	767	788	21
	本郷	15	2	0	2	110	2	10	617	653	36
	今村	17	2	0	4	226	1	5	1,177	1,177	0
	浄水通	1	0	0	150	95	0	9	197	200	3
	古賀	5	3	1	5	130	0	3	455	455	0
	久留米	24	14	0	13	330	1	25	770	1,204	434
	馬渡島	7	2	0	0	87	1	0	457	458	1
	美野島	1	0	0	30	36	0	1	87	127	40
	西新	14	8	1	5	180	1	1	570	960	390
	小郡	7	0	0	0	78	0	0	250	277	27
	大楠	3	4	3	23	26	0	1	92	215	123
	大牟田	7	2	0	18	44	0	2	128	279	151
	老司	10	6	0	10	170	1	5	445	445	0
	高宮	16	5	2	13	250	0	2	523	563	40
	呼子	5	0	0	1	84	1	4	461	461	0
	吉塚	9	10	2	9	207	1	3	581	783	202
	計	232	93	10	345	3,009	15	105	9,673	11,717	2,044
北九州地区	八王寺	1	2	0	7	92	1	1	251	251	0
	飯塚	2	0	0	1	45	1	3	235	235	0
	小倉	29	55	0	100	953	10	30	2,421	2,529	108
	黒崎	18	6	1	11	418	0	17	1,224	1,279	55
	水巻	9	2	0	6	185	0	4	562	580	18
	門司	4	9	0	33	191	2	4	426	459	33
	門司港	0	4	0	7	50	1	2	142	153	11
	直方	3	2	0	1	50	0	0	147	147	0
	新田原	32	9	2	0	420	13	5	1,679	1,714	35
	田川	4	0	0	5	52	0	1	177	201	24
	天神町	5	10	0	6	129	2	3	313	325	12
	戸畑	10	15	1	58	274	0	4	879	1,383	504
	若松	1	0	0	1	88	0	1	375	375	0
	湯川	5	5	0	3	280	3	6	920	971	51
	行橋	13	9	0	4	147	0	3	559	629	70
	計	136	128	23	243	3,374	33	84	10,310	11,231	921
熊本地区	荒尾	4	0	0	5	46	0	2	90	90	0
	人吉	2	3	0	8	51	0	1	230	234	4
	本渡	2	0	0	0	35	0	1	176	176	0
	健軍	12	5	0	8	179	1	1	449	449	0
	菊池	2	0	1	5	47	0	0	115	121	6
	水俣	2	0	0	2	64	0	2	167	167	0
	帯山	1	2	2	2	133	0	0	318	366	48
	大江	2	1	0	0	123	2	2	402	456	54
	崎津	2	0	0	0	104	0	0	310	310	0
	島崎	7	14	3	4	140	3	3	422	428	6
	玉名	2	1	0	2	35	0	1	101	105	4
	手取	9	28	9	64	530	1	17	1,034	1,121	87
	八代	1	4	1	5	86	0	1	203	268	65
	合志	0	1	0	8	110	1	0	192	192	0
	計	48	59	16	113	1,683	8	31	4,209	4,483	274
佐賀地区	伊万里	5	0	0	0	4	0	3	177	199	22
	唐津	8	5	0	0	3	0	2	419	426	7
	鹿島	0	0	0	0	0	0	1	54	87	33
	佐賀	4	7	12	0	15	0	9	721	728	7
	武雄	1	2	0	0	1	0	2	97	135	38
	多久	1	0	1	0	5	0	0	110	110	4
	鳥栖	9	6	3	0	7	1	2	261	280	19
	計	28	20	16	35	672	1	19	1,839	1,969	130
合計		444	300	65	736	8,738	57	239	26,031	29,400	3,369

（注）司祭・修道士・修道女・神学生は含まれていない。

光り

工藤　一麦

光りを求めよう
光りを求めつづけよう
こぼれおちる涙さえ
光りがすいとってくれるよ

月刊
詩誌 雲と麦 同人募集
初心者むきどなたも大歓迎同人は全国にいます
詩誌と会則は切手五百円で送
〒133 東京都江戸川区西小岩三-三三-二〇
雲と麦詩人会フ係

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃 駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641－4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃 ダイエー城野店3階 ☎922－5637

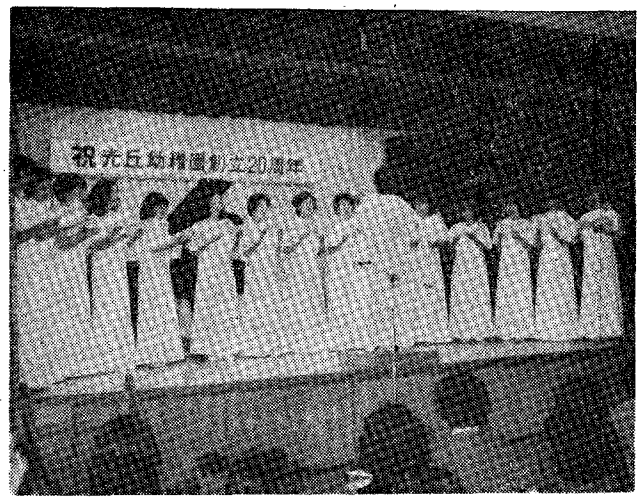
和やかな創立二十周年の祝い

カトリック光丘幼稚園

父兄参加の器楽演奏や合唱

宗教法人カトリック福音の光修道会は、二月十一日(土)午前十時から、経営するカトリック光丘幼稚園の創立三十周年を祝った。

初めにみことばの祭儀があり、福岡教区長平田三郎司教が司式した。ついで記念式典に入り、平田司教と渡辺福音の光修道会総長のあいさつがあった。来賓として、西田福岡県学事課長、中原福岡市教育委員会学事課長、大里福岡市私立幼稚園連盟会長から祝辞が寄せられた。祝電披露のあと、園児の歌や園児合唱で式を閉じる。



在園児父兄の合唱

二十周年祝いを盛り上げたのは、何と申しても在園児父兄による感謝のコンサートであった。国際色豊かな器楽演奏の交換風景は、父兄の和とこの園の躍進を物語っているようだ。おとり付きの琴とピアノによるさくら、韓国やイランの民族楽器独奏、父兄の合唱によるスタバトマーテルからの二曲とピアノ演奏などの盛り沢山のプログラムに参会者は満足の気分であったろう。最後の祝賀会場ではエレクトンの妙なる調べが流れる中、謡曲と日本舞踊が披露され、祝賀一色に包まれながら一同飲み食い語り合って、散会した。

この園は昭和三十九年から、一斉保育十年・モンテッソリ教育十年と時を重ね、創立二十年を迎えた。高度成長時代を経て物が豊かになった反面、人間の心が失われてゆく現代の中で、はからずも日本の幼児教育界にかすかな、しかし確かな光を灯しはじめていたモンテッソリ教育が採用されたのである。人間が育つために不可欠な心の教育を深い柱として、教師の養成と母親の教育と協力を要求する保育法とみることができよう。

神が一人ひとりの子どもにお与えになった宝物が、真の自由の中で開花し、自立への道を歩みはじめることを手助けする教育なのである。この人間教育が多くの人びとに注目されるようになった折も折、この園と地域社会との大切なかかわりあいが式典を通してありありと表れ、幼稚園の伝統がいきいきと築かれているのを確めることができた。

カトリック光丘幼稚園の経営母体である福音の光修道会は、一九五四年四月十八日、邦人修道女会として創立された。広島県佐伯郡甘日市町地御前に総本部を有し、総会長はシスター渡辺礼子。

福岡教区の支部修道院では、福岡市博多区光丘町二丁目に福岡修道院を置き活動している。主なる事業としては、光丘保育園や光丘幼稚園の幼児教育のほか要理研究の集い、女子黙想会、文化教室の茶道と刺しゅう、難民の世話、教会の手伝い、女子寮がある。

あこがれの校門をくぐる

喜びの大神の教区新入生四人

福岡市城南区松山一丁目の福岡サン・スルピス大神学院は、ことしの入学試験合格者を発表した。それによると、新入生は十人で、教区別にみれば福岡教区四人、長崎教区三人、大分教区二人、聖パウロ修道会一人である。

福岡教区の大神入学者は、西新教会の伊東成昇、鳥栖教会の中村彰、行橋教会の肥喜里隆浩、小倉教会の中村信哉の諸君である。これで、教区大神生は総員十四人の仲間となったが、けわしい前途を歩くことになる。古今東西を通して、司祭職への道が狭くきびしいものであることに異論はないであろう。一昔まえの話しで恐縮であるが、司祭職への達成率はそんなに高くなかったし、ある学年は全滅したほどであった。小神学校入学からの長いコースにくらべれば、八年間の大神学校生活の成功率はかなり高くなるに違いない。現状はどんなものだろうか。ある司祭の小神学校入学時の学友は三十一人であったが、首尾よく司祭叙階の恵みに浴したのは二人だけのさびしさであった。司祭を夢みて入学した仲間たちが種々の事情で神学校を後にする姿を眺めたとき、神の測り難いみ摂理の深さに畏敬の念を起こしたのではあるまいか。「あなたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたを選んだのである」との主イエスのおさとしは、司祭のためにも神学生のためにも、永遠不滅の真理として反省をもつべきであろう。

会合と催し

☆平田司教

3月4日 教区聖年大会

6日 司祭評議会十時半

11日 教区財政の説明会一時半(司教館)

16日 大神学院の選任式と菊池聖母幼の卒園式

18日 熊本地区の教区財政説明会二時(手取教会)

20日 古賀暁星幼の落成・祝別式

☆福岡黙想の家

3月1～3日 バプテスト教会の社会入聖書研究会

5日 老司の海星女学院母親の集い

5～7日 バプテスト教会の青年の集い

8～9日 西南学院の教師の集会

17～18日 大濠の聖母訪問会シスターと学生の静修

熊本の手取教会求道者の黙想会

25日 新求共同体の黙想会

27～29日 高宮教会ガールスカウトの合宿

三月命日の司祭

▼ユウゼーヌ・ジョリ神父(パリ外国宣教会)一九六六年三月六日元久留米教会主任

▼フランソワ・マリ・ヴェイヨン神父(パリ外国宣教会)一九七三年三月十二日元唐津教会主任

▼ルイ・マリ・ベリボ神父(ドミニコ修道会)一九七七年三月十六日元箱崎教会主任

▼マキシム・ボネ神父(パリ外国宣教会)一九五九年三月十九日元新田原教会主任

▼ジェームス・ドイル神父(聖コロンバン宣教会)一九六二年三月二十六日元苦屋教会主任

福岡教区第23回クルシリヨ

1. 日時 5月2日(水)午後7時から5月5日(土)午後4時まで
2. 場所 福岡黙想の家
3. 参加費 8,000円(宿泊、食事用品代)
4. 申し込み先
   教区クルシリヨ事務局
   〒803 北九州市小倉北区中井4－7－7～204
   佐々木信幸
   (TEL093－582－1654)

(注) 申し込みのしめきり 4月25日まで

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材 石 石 他
理 影 の
大御そ
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

移動信徒を迎えるにあたって

福岡教区移動信徒事務局

三月には多くの若人が進学や就職のために、住み馴れた故郷に別れを告げて移動してくる。福岡教区にも、長崎地方からだけでも五・六十名転入する予定である。全国に配置されている「国内移動信徒担当者」は、このように移動する若年信徒の皆さんが移動先の教会にスムーズに定着できるよう手伝う役目を持っている。かれらはその一環として二月五日と十一日～十三日まで、最も転出者の多い長崎県平戸・五島方面を廻り、転出予定者に面接して都会の教会の様子や持つべき心構え、転出・転入の手続きなどを説明した。

長崎地方の若者の多くは地域ぐるみ、家族ぐるみの信仰に守られているが、都会に出、未信者の中に独りで信仰を守り育てていくことは容易なことではない。そこで教区の皆様にもご協力をお願いしたいと思う。教会で新顔を見つけたら声をかけ、神父や青年会に紹介していただきたい。殉教者の血を受け継ぐすばらしい信仰の宝を失うことのないように、互いに手を取りあって神が望む真の共同体づくりを目指して努力する所存である。教区の司祭・信徒の皆さんよろしくご理解とご協力を。教区の移動担当には、竹森神父、シスター川口、シスター沢が委嘱されている。

児童福祉の日献金（1月20日）

大名町	110,000	水巻	48,706	ク幼	59,460
能島	6,603	飯塚	11,045	小倉 〃 〃	
浄古水通	60,000	田川	10,000		163,988
光ケ丘	54,842	手取	33,464	西新 〃 〃	44,350
大稲崎	7,700	尾吉	10,000	トー・聖クラ	
箱丘	15,000	入本	23,601	カラさゆり園幼	63,213
笹新	22,710	渡瀬		聖ヨゼフ園	77,700
西野	45,150	健軍	17,800	聖ヨゼフ幼	
美島	5,000	帯山	11,000		180,145
茶山	26,000	水俣	55,830	吉塚カト・保	
高宮	76,900	大江	41,200	育園	10,000
老司	30,005	崎津	11,866	伊万里幼	10,000
吉塚	19,298	島崎	41,500	八幡カト・幼	
志免	4,844	玉名	16,500		55,816
古賀	25,000	菊池		湯川カト・幼	
二日市	34,000	合志	21,230	母の会	37,052
久留米	40,002	八代	16,000	〃 聖母園保	
大牟田	33,871	ウルスラ会	50,000	護者会	17,883
今村	116,015	明治学園		水巻聖母幼稚	
本郷	32,691	小・中	32,317	園	60,465
小郡	7,300	光ケ丘幼稚園		門司 〃 〃	46,300
馬渡	13,240		33,879	熊本信愛女学	
島	28,000	宮ノ尾 〃		院幼	33,463
直方	63,890		48,295	崎津保育園	15,830
新原	15,996	行橋カト・〃		鳥栖カト・幼	
田橋	16,580		76,770		37,667
行橋	4,000	高宮 〃 〃		若松天使園	
呼子	20,000		75,105		111,982
松島	5,300	戸畑天使園	68,136	八代白百合学	
佐賀	7,770	二日市カト・幼		園幼	70,283
唐津	32,437		32,000	田川幼	108,000
伊万里	48,850	聖ヨゼフ 〃		暁の星幼	102,570
鳥栖			175,145	久留米聖母幼	
武雄		熊本八代白百合			101,633
鹿島		学園高等学校社		熊本聖母愛児	
多久(幼)	38,854	会活動部	30,000	園	64,999
門司	17,546	明光学園中・高		水俣明光幼	43,562
司教	26,414		48,733	人吉幼稚園	
小倉	111,502	雙葉幼稚園	73,283		100,000
湯川	34,557	〃 小学校	92,389	菊池聖母幼	76,436
戸畑	62,999	〃 中・高	234,941	鹿島カト幼	24,472
若松	5,667	大濠幼稚園	40,740	合計	4,648,797
天神町	53,000	福岡カトリッ			
黒崎	57,500				
八王寺	13,020				

（特別献金）

☆福岡難民救援のために
八王寺教会　十二万六千八百八十円
黒崎教会　十四万円

☆福岡カリタス・ジャパンに
玉名教会　四万一千六百三十円
八幡カト幼　八万六千八十五円
唐津カト幼　五万円

香典返し

☆福岡小神学校に
森弥惣吉さまより金一封
（故森ナツさんの香典返し）

〈お願い〉教区の最大の任務である司祭育成事業は、多額の費用を負担して神学校を維持している。香典返しの折にご協力ください。

福岡教区訪韓祝賀巡礼団　（団長：平田三郎司教）

（ソウルの式典では日本巡礼団：相馬司教団長に合流する予定）

韓国訪問の教皇さまと心を一つにして、宗教行事の参加と教会巡礼を通して、地理的に最も近い福岡教区民の韓国教会に対するよりよき理解と親善、信仰意識の高揚に役立てる。

期　　間：1984年5月5日(土)～8日(火) 三泊 四日
参加費用：福岡空港発着　69,000円
募集人員：100人
申し込みしめきり日：1984年3月31日(月)
申し込み先：福岡司教館　山田神父　(092) 522—5139
　　または阪急交通社福岡営業所　(092) 411—4161

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5—4—12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272—0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 司祭への召命
(布教) 布教国における観想生活

親子が考える島本司教の講話
教区民一致のあがないのミサ
恵み豊かに終わった聖年大会

三月四日、それは待ちにまった福岡教区主催の聖年大会である。小雪まじりの天候に脅されたのもつかの間、やや肌寒い晴天に変わった会場の空模様であった。昨年から心の準備をしてきた大会だけに、教区の神の民のこの大会に寄せる期待は大きかった。

島本司教の講演

(司祭異動) 略敬称

▽馬渡島主任 伊東誠二(茶山)
▽茶山主任 堤 要吉(大楠)
▽大楠主任 鵜野泰年(直方)
▽直方主任 牧山藤房(西新)
▽西新主任 山川辰幸(新田原)
▽新田原主任 平田正喜(小郡)
▽小郡主任 渡辺隆義(老司)
▽老司主任 川口康頼(呼子)
▽呼子主任 田川清美(馬渡島)
▽二日市主任 岩永義人(行橋)
▽行橋主任 松井忠之(大名町)
▽北海道・トラピスト修道院 浦口均(二日市)
▽熊本・聖コロンバン会九州地区本部ディキン(老司)
▽高宮主任山田仙治(長崎・聖フランシスコ会修道院)

四月の聖体礼拝当番教会

四月一日 大名町・菊地
四月八日 浄水通・水俣
四月十五日 光ケ丘・帯山
四月二十二日 西新・大江
四月二十九日 小神学校

参加者の出足は好調のようで、開会三十分前ぐらいから、厚着にふくらんだ姿が足早に会場に吸いこまれて行く。熊本・佐賀・福岡県を教区管轄地とするために、到着の貸切バスも列を作って遠来の客を吐き出している。約二千七百人が一堂に集まったことになる。かなり大きい泰星学園(会場)も当日だけは小さく見えた。

会場正面には、本大会のテーマである「救いの喜びを—家庭の平和」の横断幕がぼくこん鮮やかに注意を引く。会場はまた地区別の立札によって区劃され、整然と静かに開会を待っている人、人に埋まっている。

十一時、開会宣言のあと、深堀純氏指揮する聖歌が始まった。会

(第二面につづく)

直方教会の聖劇

微光

パッと咲いてパッと散る短命のサクラだから、本紙が読者の手に届く頃には葉ザクラかもしれない。ものの本によれば、十数種のサクラは日本に一番種類が多く、日本の国花であるのも肯ける。浅学の筆者にとって、サクラの樹皮が咳止薬になるとは驚きであった。この欄をおくれ気味に書いている小生の目前のサクラは、現在ツボミの状態に見える。年度末のユウウツな社会への同情ストでは▼職場生活の出発点は、新年度と呼ぶ四月からである。厳しい一年間の計画実施に、緊張続きの頭はさぞ疲れることであろう。でも、新旧織り交ぜての職場には、新入りの「職場の花」に心を和ませたり、仕事の不馴れにストレスを深めたりの哀歓が漂う。四月の職場には、まだ開花を待つツボミの新人が多いのではあるまいか。美しい自分を咲かせるには、他人に理解と思いやりを示したときであることをゆめ忘れてはなるまい▼昨年三月に始まった「特別聖年」は、四月二十二日に終わる。あがないの豊かな恵みに浴するために、回心と神・人との和解を強く要請されたのはいうまでもない。それを四旬節に重ねるとき、今が恵みの時であることをひしひしと感じるのではあるまいか。サクラは美しいが、まわし者・みせかけ客の代名詞にもなり得る。復活祭を迎えるわたしたちは、満開の花を咲かせ隣人を楽しませようではないか。みせかけのサクラにはお別れしよう。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

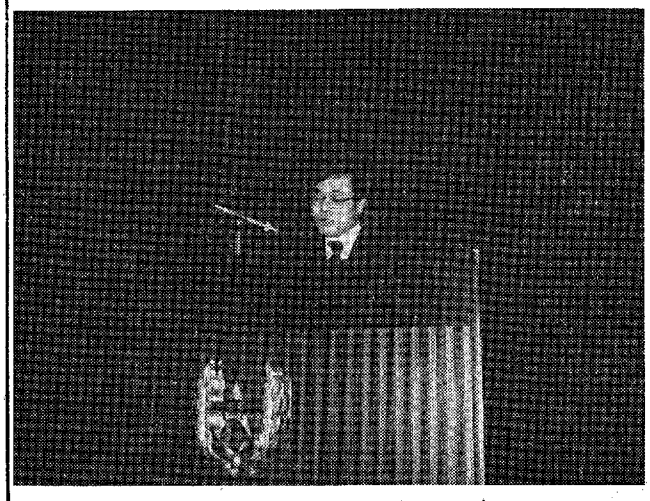
熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

（第一面から）

場の宗教的なムード作りと参加者の心構への緊張に役立つらしい。福岡聖スルピス大神学生の手馴れた歌唱と敬謙さはすばらしい歌声を響かせ、会場の良い引き立て役になっていたようだ。

十五分間の聖歌がすんで、浦和教区長島本要司教の講演に入る。―大会のテーマが救いの喜び、家庭の平和となっているが、午後のミサの説教が救いの喜びとなっているので、私は家庭の平和について話すことにする。救いの喜びの体験の場、救いが実現する場としての家庭を考えてみたい。家庭の平和とは、夫婦げんか、親子のいさかいのない消極的な家庭を指しているのではない。もっと積極的な家庭について取り上げたいと思う。それは家庭の一人ひとりがありのままの姿で喜びと感謝をもって受けいれ、みとめられ、互いの助け合いとゆるし合いの中にそれが根づいている欠点、弱点を直していき赦しあう愛の共同体を意味する。家庭の一人ひとりがそこで神の愛を身近に体験し、そして感謝と賛美の祈りが捧げられ、キリストにおいて夫婦・親子が強い献身的な愛の絆に結ばれている家庭である。

このような家庭をどのように築いていくことができるか、それは祈りである。祈らない家庭は平和を希望してもかなえられない。平和は神からの恵みであり、それを努力して守らなければならない。



安永氏の体験発表

平和の源泉は神である、わたしたちの平和はキリストにある。「わたしはあなたたちに平和を与え」るキリストとの交わりすなわち祈りが必要になる。「二人三人集まって祈る所には私がそこにいる」というキリストの現存を家庭の中に認めなければならない。

夫婦間の心のすれ、親子の断絶という家庭の危機がある。どのように克服するか、家庭が一つになって祈ることで平和の花が咲く。家族そろって祈ることは容易なことではないが、いまの価値観を抜本的に変えなければ困難である。

定庭の平和作りのために必要なのは、夫婦相互間のコムニケーションである。夫婦間の愛は、こどもの健全な発育のためにも大事である。非行児への何故こんな事をしたかの問いに対し、その答えは家庭が面白くない、夫婦げんかが絶えないからということだった。マザー・テレサは「私は愛のすばらしさを父と母の愛のかかわりあいによって学んだ、このようなすばらしい愛を人々に与えようと思った」といっている。夫婦間の対話は驚くほど少ない。ここに取り上げる調査は九年前のもので、現在の夫婦にどの程度適用できるか解らないが紹介してみる。ある雑誌によれば夫婦の一ケ月間の対話の平均時間は三十八分という。疲れ果てて帰るからとか、話題不足に原因があるかもしれないが、外のことは話したくない、家のゴタゴタの話しは聞きたくないという亭主関白の姿勢から来ている場合が多い。聖パウロは「キリストが教会を愛したように、夫は自分の妻を愛しなさい」と教えるキリストは私たちのために生命を与えられたのだから、夫の妻に対する愛は生命がけの愛である。そして妻を愛することは、結局自分自身を愛することになる。家庭が明るく平和になり、自分が幸せになるのだから。同じく聖パウロは、妻の夫に対する愛についても教える「妻はすべてにおいて夫に従いなさい」と。夫婦は自分の幸せのために相手を利用するだけでは、平和な家庭を生み出すことはできない。献身的に相手につくすべきである。

家庭の平和作りのために、こどもの自立と尊重も大切。愛と感謝と喜びをもってこどもをうけいれる。こどもを心から愛することによって、早く神の愛を体験できるようにする。こどものために家庭はいやしの場であるべきだ。親の過度の期待に敏感なこどもは、自殺、家庭暴力に走りやすい。虚栄心や自己満足の教育ママであってはならない。親子間の真の対話が必要。それは一方的な禁止や押しつけではなく、こどもの話しをよく聞き、一緒に苦しむ姿勢が重要である。父親不在と母親過剰（二人の母親がいるような状態）がこどもの非行の原因にもなり得るといわれるが、父親はその顔と心をもってこどもに接すべきである。秩序と戦いのシンボルである父親の存在は、小学三年以上のこどもにとってはより重要になる――島本司教の五十分に及ぶ講話は、わかり易く聴衆の心を動かした。この講演の時間に、こどものためには別室で映画アントニーノの上映が行われた。

中食後、アトラクションに直方教会の聖劇が老若男女の全員参加の形で紹介され、観衆をわかせる一幕となった。あらかじめ吹きこまれたセリフのテープに合わせて動作する演出法で、わかりやすくまたよどみなく聖劇が進行した。

信仰体験発表は、三人がそれぞれ十分の持ち時間をフルに活用してキリストの証しを表明した。笹丘教会の平塚洋子さんは昨年のクリスマス・イブに受洗したが、入信の動機と感動を率直に発表していた。小学校から高校までのカトリック校とのつきあい、そこでのシスターとのふれあいなどが無意識のうちに自然の偉大さとそれを与えた神の存在への信仰を容易にしてくれたようである。聖母訪問会のシスター川口は、軍部による迫害にあっても聖霊の働きに強められた信仰を感謝の念で生き、修道生活に導かれた恵みを回想していた。吉塚教会の安永修二氏は妻と同様受洗後三年になるが、入信前のギスギスした暗い家庭環境を信仰によって克服し明るい家庭作りに成功した実例を紹介する。

聖年大会のハイライトは、平田司教、島本司教を中心に四十五人の司祭による共同司式ミサであった。平田司教は「回心と神・人との和解の実践を通して、あがないの豊かな恵みに近づくよう」に説教した。ミサ中の奉納品は、各地区の特色ある産物が選ばれ、教区大会ならではの感じがあった。大会はプログラムを大差なく終了して、参加者一同帰途についた。

聖年大会のミサ

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階 ☎922－5637

地域社会とともに発展する
新築落成の暁の星幼稚園

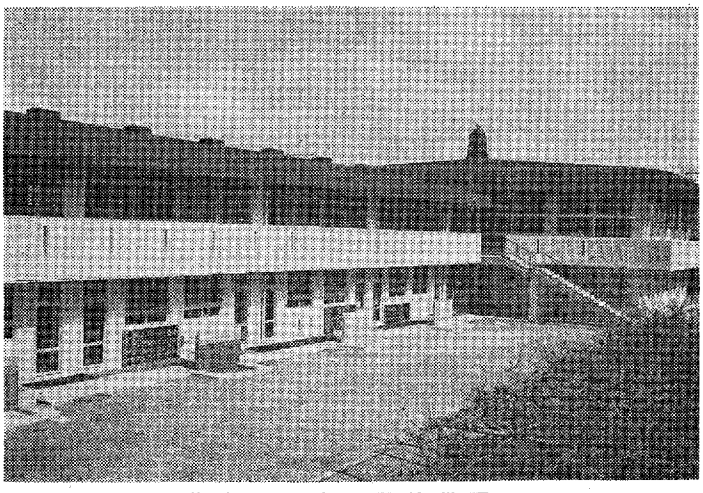
園舎の老朽化に伴い新築中であった古賀町久保花見の暁の星幼稚園（園長・乾盛夫神父）は、三月二十日（春分の日）喜びの落成式を迎えた。

鉄筋二階建の新園舎は、延面積一五四五・六四㎡である。八教室の他遊戯室、会議室があって、三月現在、園長以下十七人の職員が二八〇人の園児の世話をしている。四月からは、定員三二〇人の認可で発足する。

昭和三十年四月、宗教法人カトリック聖母献身宣教会が開園した暁の星幼稚園は定員一二〇人であったが、近郊の人口急増とともに学校法人化も進捗し、学校法人暁の星学園は昭和五十三年五月実現し現在に及んでいる。

学校法人暁の星学園は古賀町の暁の星幼稚園に本部を置き、つぎの六園を傘下に合併している。福岡県古賀町の暁の星幼稚園、高知市の高知聖母幼稚園、安芸市の海の星幼稚園、伊丹市の王たるキリスト幼稚園、鳴門市の鳴門聖母幼稚園、阿南市の阿南聖母幼稚園である。

古賀町の暁の星幼稚園はモンテッソーリ教育法を採用して、園児ののびのびした人格形成を目指している。神が一人ひとりの心に蒔いた種を自由に生々と育てる、個性の重視が特色である。個人の特性を生かす教育に、父母の信頼と協力はますます高まっている。心の解放が教育の原点のようだ。



落成した暁の星幼稚園

会合と催し

☆平田司教

4月8日　天神町教会堅信、レジオマリエ・アチェスカナの会集会

4月18日　聖香油聖別のミサ・銀

4月19日　視司祭の視賀会

4月20日　聖金曜日の典礼

4月21日　復活祭徹夜のミサ

4月22日　クルシリオ役員会

☆福岡黙想の家

4月2～4日　笹丘幼稚園研修会

3～4日　福岡聖栗学園教師の研修会

28～30日　祈りの会

飛脚

☆三月十一日（日）午後二時、北九州地区社会人信徒の懇談会が小倉カトリック教会の信徒会館で開かれ、約五十人の出席で盛会であった。これは小教区を越えて、キリスト者としての問題意識を共に考え、連帯の輪をつくることにあった。先ず四人のレポーターが約十分程度の問題提起を行い、参会者からの意見が述べられた。深堀勝人師の「新しい司祭像をもとめて」、長谷川徹氏の「福岡教区における信徒協の現状と課題」、村松正俊氏の「小教区における聖職者と信徒との関係」、追立季治氏の「キリストの共同体の育成」についての話しがあった。意見交換のあと、この集会のために特別に招いた佐々木博師（司教協議会企画部長兼日本宣教司牧センター所長）の助言をいただいた。「広げようキリストの輪を」の気運が、北九州地区の教会・信徒に少しづつ生まれていることは喜ばしいことである。

☆福岡・聖スルピス大神学院は三月十六日午前十時から、那覇教区長石神忠真郎司教の司式による教会・宣教奉仕者の叙階式を挙行した。受階者の多数の近親者や関係者が参列し盛会であったが、福岡教区の平田司教の顔も見られた。教会奉仕者は八人であったが、その内訳はつぎのとおり――福岡教区四人、青木悟、平田三好、川上恕一、桜井尚明。長崎教区二人下山盛朗、鳥瀬文武、鹿児島教区一人、木村敏彦、大分教区一人、森園靖信の諸君であった。順調に進むと、二年後には晴れの司祭の栄冠を頂くことになる。

宣教奉仕者には、那覇教区宇根節と福岡教区山下正の両君である。

「収穫は多いが働く人は少ない、だから収穫の主に働く人を送ってくださるように祈れ」の聖主の要請に応えよう。

☆各小教区の経理実務責任者を対象にした教区財政の説明会が、福岡及び熊本で開かれた。三月十一日午後一時半から、司教館で行われた説明会には、福岡・北九州・佐賀地区より約五十人の参加があった。また、三月十八日午後二時はじめられた手取教会の説明会には、熊本地区の教会代表者が出席した。二つの説明会では、平田司教による教区財政の健全化への協力依頼と提要吉教区会計による教区財務収支のアンバランスの現状と解決方法が説明された。一九八三年度の教区財務の収支では、二、六三九万円の赤字補填がある。この不均衡を是正するために、小教区から教区本部に納入する教区費の増額が望まれる。そのために小教区維持費は、原則として毎月の金収入の三%とする。ただし五人以上の家族、またはその他の理由のある家庭は主任司祭と相談の上適正な額を決定する。さらに、家族の内に二人あるいは三人の所得者があれば、その人たちも小教区維持費三%の義務を負担するものとする。神学校後援会費については、各所得者より毎月二〇〇円以上負担していただく。小教区維持費と神学校後援会費の増額は、一九八四年四月分より実施する。

☆援助修道会黒崎修道院は、三月十九日黒崎教会において、シスター吉岡千恵（小野田市出身）の永久誓願の立誓式を行った。このような行事は管区本部で一括して実施してきたが、今回は召命への効果を考慮したものである。

ミカエル平田善四郎氏
（平田正喜師の実父）

三月九日拂暁、福岡県三井郡大刀洗町本郷の自宅で老衰のため死去した。行年九十三。

葬儀ならびに告別式は三月十日午後一時から、本郷教会でしめやかに行われた。二十八人の司祭の共同式ミサ（主司式者平田正喜師）に、多数の参会者が故人の永遠の安息を祈った。喪主は平田文雄氏。

亡くなった善四郎さんは十一人の子宝に恵まれたが、二人の聖職者（司祭と修道女）を捧げ、篤信家で鳴らしミサ参加が日課のようであった。

四月命日の司祭

▼フランソワザビエル・ブンレゲ（パリ外国宣教会）一九四六年四月五日元佐賀教会主任

▼アンリー・レウトル（パリ外国宣教会）一九四四年四月二十五日元新田原教会主任

教区人事　四月一日

▽教区青少年担当　渡辺隆義師

☆カテドラル建設資金に

一金百万円也　平田文雄さま
（故平田善四郎氏の香典返し）

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

広報の日テーマの教皇庁解説
マスコミは信仰と文化のかけ橋
日本では五月二十七日実施

教皇庁が音頭をとっている第十八回世界広報の日が、六月三日に訪れる。日本では、司教団の決議により主の昇天の前の主日（本年は五月二十七日）を広報の日と定めている。

世界広報の日のテーマは「マスコミは信仰と文化のかけ橋」である。信仰と文化の睦まじい関係こそ本来の姿であるべきことを、マスコミの使命として強調しているように理解できる。ここに徳岡孝夫氏の名訳によって、より注意深く読めることはありがたい――

マスコミは軽薄だから、文化やキリスト教のような深いものを伝えるのには向かない、と考えている人が多いようです。

カトリック教会は、そう考えません。高度技術の時代に、マスコミは大いに役立つものだと考えるのです。「メディアは現代の文化を深め、豊かにする。マスコミに関係する者は、万人がその豊かな成果を手にする権利があるのを認めるべきだ」と、すでに宣言しています。

ラジオ、テレビ、あるいは映画や本などのメディアを利用すれば何百万という人に語りかけることができます。真の意味で価値ある情報を広く伝えることができれば文化の正しい醇化が、国際的な規模でも可能になってくるのです。

言うまでもありませんが、マスコミは文化を豊かにする一方で、低俗にする危険もあります。現にその二つの相反する流れは、われわれの身近でも起こっています。下品な情報の提供によって教養のレベルが引き下げられたり、自己の利益のために文化を乗っ取ろうと企んだりする人が、あとを絶ちません。こうした問題は、ユネスコのような国際機関が、早くから警告しているところです。

さまざまな立場から検討してみると、信仰に関してマスコミは、つぎのような任務が果たせると思います。

・真実を知るという全世界の権利に応える。

・マスコミに携わる人は、その有利な立場を利用して、物事の真実を明らかにし、とくに福音をはるかに遠いところにいる人々に向かって述べ伝える義務がある。

・マスコミを利用し、教会の使徒的活動の内的生活に表現のチャンスを与える。

・神を信じるすべての人と手を取り合って、現代社会との対話を始めようと訴えることができる。マスコミが、現代という舞台の真ん中に立つ主役であることは、だれも否定できないでしょう。だが、その舞台中央とは、とりもなおさず文化と福音の分裂が繰り返されてきた危険な場所でもあるのです。教会に属するすべての人、とくに一般信者は、それぞれの分に応じて、分裂を癒すべき使命がある――実は、これこそ、今年の世界広報の日が掲げるテーマの本質なのです。

信仰と文化の分裂は、なぜ起こるのか。活字ジャーナリズムと電波ジャーナリズムのいがみ合いが原因か？それとも情報とその伝達法がしっくりいかないからか？一般マスコミが文化や宗教との接触を避けたがるのは、そのような対立に巻き込まれたくないからなのか？われわれは、よく考えてみなければなりません。

これまで、マスコミも文化も信仰も、みすみす絶対のチャンスを見送ってきました。信仰はごく一部の人にしか伝えられず、文化はその内面の深さを失い、マスコミは自ら進んで、純粋に営利的な目的や政治的利権だけに注目してきたのです。

こうして、マスコミが信仰と文化のかけ橋になる可能性は、人類社会の進歩とともに失われていきました。文化を特定の宗教の方向に向けてはならないという、いわゆる「宗教のタブー」を避けようとするあまり、マスコミは人間の尊厳と自由を傷つけるという別のタブーを犯してきたのです。しかし、宗教的偏見がないとか営利上プラスだという口実に隠れて、信仰と一体の文化という人類のはるかに大切なものを見失ってきた事実は、ようやくマスコミ関係者にも認識され始め、善意の人々と協力して正しい道に戻そうという動きが起こっています。

マスコミ使徒職の基本的な目標が宣教であるなら、それは文化のそとにおいては達成されないものであり、第二バチカン公会議もそのことをはっきり宣言しています。信仰の力を無視したセンセーショナルな事件ばかりを狙うような態度では、宗教は伝達されません。信仰を伝えようと思えば、われわれの宗教的伝統を貫いて流れる文化の深いところに目を向け、芸術や文学のルーツ、人類が残した宗教的作品や福音の神秘を示すキリスト教の力強い影響などを、述べ知らなければならないのです。

現在の若者は、彼らが引き継いだ文化的伝統のルーツに対して、強い関心を抱いています。強大な力を持ったマスコミは、いつでもその要求に応じることができるのです。人間の心の歴史を現代社会の体験に結びつけて説明すれば、若者は過去と現在を理解し、自信と謙遜をもって未来に立ち向かうことが可能になります。いたずらな反逆も、おのずと影をひそめることでしょう。

以上のことを成しとげるためには、宗・俗双方のマスコミに携わる記者、編集者、プロデューサー映画関係者などを一つに組織することが、何よりも先決です。彼らの任務は、それぞれの職に応じ、立場を利用して、信仰と文化の間にかけ橋を築くことです。現在の新聞やニュース・ショーがやるようなセンセーショナルな技巧によらず、信仰の豊かさを存分に伝えることにより、神の子らはマスコミの恩恵を真に享受することができます。豊かな文化に支えられて信仰の中に生き、主の唯一なる教会の交わりの中に生きるものすべての、受け手となり伝え手となることができるのです。

以上のような新生をなしとげるには、高度技術や新しい通信手段がもたらす人類経験の新次元に適合するため、教会自身が脱皮のための真剣な努力をしなければなりません。信仰と文化の「出会い」が起こるかどうか、それがわれわれをより高いものへ導くかどうかは一にかかって教会に集う人々の努力が、そのカギになっているのです。

改定された司祭評議会規約

A、第三条（目的）の最後尾に（注）評議会は教区顧問会とは異なるの一文を付加する。

B、第四条（構成）の一、司祭の互選によってグループ別に選出される者十二名を十四名とし、内訳―邦人教区司祭四名を六名とする。三、職務上属する者四名を五名とし新たに小神学校長を加える。

C、第五条（任期）の任期は二年とするを三年に。

D、第十条の会長は会務を統轄し、定例集会を司会するを会長は会務を統轄し、議長（正・副）を任命する。議長は司会者を兼務。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5―4―12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272―0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 教育者の信徒使徒職
(布教) 韓国における教会

「わたしについて来なさい」
召命は受ける者両親にも大きな賜物
世界召命祈願日にあたって

ヨハネ・パウロ二世教皇は、五月十三日の世界召命祈願日を迎えるにあたり、つぎのメッセージ(初見まり子氏訳)を発表された。

司教職における尊敬すべき兄弟たちと、全世界の最愛なる息子たち娘たちへ。

第二十一回世界召命祈願日を前にして、私は、皆さんが新しい信仰と一致のうちに、この行事に参加してくださるよう、希望をもってお願い致します。

私は、普遍教会の牧者として、常に心にかけている問題、すなわち、聖なる司祭職と種々の形式の奉献生活、富教生活への召命の効果的な増加について、私が感していることを皆さんに打ちあけ、話したいと思います。これは、信徒の共同体と全人類にとって極めて重大な問題であります。召命祈願日を機会に、司祭も信徒も、主が命じられたことを惜しみなく莫大に果たす共通の責任に目ざめるべきです。

復活と聖霊降臨の大祝日の中間復活節第四主日に定められた世界召命祈願日は、いつも、この二つの偉大な秘義から光と新しい希望を受けとります。この日曜に読まれるヨハネ福音書の箇所は、善い羊飼いの姿をありありと私たちに示しています。

「羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出し、羊を皆引き出すと、先頭に立っていく。羊は、羊飼いの声を知っているので、ついていく」(ヨハネ10・3〜4)

善い羊飼い、復活されたキリストは、ご自分の救世の仕事を続けるために、いつの時代にも常に代わりの人を世に送り、新しい人類の中に、ご自分の存在を目に見える方法で確保されたのです。今日でも、キリストは生きておられ、私たちのまん中で、ご自分の声を聞かせ、愛を感じさせてくださいます。

善い羊飼いは、羊の群れが成長するように絶えず気をくばります。事実、囲いに入っていない他の羊もいます。(ヨハネ10・16)

「多くの人々が牧者のない羊の群れのように虐待され、倒れているのを見て」キリストは言われます。「刈り入れは多いが、働く人は少ない」(マタイ9・36〜37)

どの時代にも共通の人類の憐れなありさまを見ておられるキリストの悲しみに沈んだ聖心は、私たちの心深くに語りかけられます。福音宣教のための働き手が非常に不足しているという事実を前にして、どうして無感覚でいられましょうか。福音の働き手が無くならないように、そして、神の民への奉仕のため、身も心もささげつくす男性と女性が常に出てくるようにと、贖い主キリストは、皆に呼びかけ、協力を求めておられます。

2 祈り

世界召命祈願日に、先ず考えるべきことは、「刈り入れのために働く人を送ってくださるよう、刈り入れの主に祈り求めなさい」(マタイ9・38)と命令されたイエスのおことばの意味です。これは、単なる招きではありません。むしろ、私たちの信仰にチャレンジし、洗礼を受けた者としての良心に訴える一つの命令です。召命という大きな問題のために私たちができることは、先ず第一に祈りだということは、誰も否定できないでしょう。司祭、助祭、男女修道者、在俗会の会員、富教師の増加のために多くの祈りが必要です。ですから、世界中のあらゆるところにおられる皆さんにお願いします。どうぞ祈ってください。沢山祈ってください。神の国にとってこのように緊急な問題のためにどうぞ祈ってください。

召命祈願日が、聖霊を待ち望みながら高間(たかま)で祈っていた最初の弟子たちの霊的雰囲気を教会の中に生き返らせるように願いましょう。「彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、およびイエスの兄弟たちとともに、心を合わせてひたすら祈っていた」(使徒行録1・14)どのキリスト教共同体も召命を祈る新しい高間になりますように、司教区、小教区、修道院、カトリックの家庭、その他、神の民のあらゆるグループで、召命のための祈りが献げられますように。

司祭職とすべての召命の源である聖体を中心とする絶えざる、また、普遍的な祈りの中に教会と人類の希望が置かれています。キリストは、私たちに祈り求めよとご自分で命ぜられたことを決して拒絶なさいません。これは確かです。

3 活動

イエスは、祈ることを強調されましたが、そうかと言って、私たちが何もせず、また、何の責任も取らないでいいという意味ではありません。むしろ、その反対です。よく理解され、生活の中に生かされた祈りに、私たちの働きと協力を加えることが主のお望みで

(第二面につづく)

五月の聖体礼拝当番教会

五月六日	美野島・崎津
五月十三日	老司・島崎
五月二十日	高宮・玉名
五月二十七日	吉塚・手取

(司)(祭)(異)(動)

▽泰星学園 泉類治(東京・イエスス会)
▽泰星学園 草野純英(神戸・イエスス会)
略敬称

微光

一九八三年度の旅券発行数は、二百九万五千六百九十七件という。男女別では、男性が百二十二万四千六百七十二人(五八%)で、女性は八十七万三千二十五人(四二%)である。渡航先には、米国八十四万件(ハワイ組がかなり占めているであろう)を筆頭に、台湾二十七万件、香港二十五万件、韓国十九万件、シンガポール十三万件が選ばれている。旅行の小手調べ、アジア身内のつきあいでは▼海外旅行の功罪についていろいろ言われているようだが、島国の日本人が海外で見聞を広めること自体喜ばしい事ではあるまいか。閉鎖性を脱却し、他者に開かれた、愛される日本人を努力したいと思う。友情の第一歩は、相互のふれあいと認識を深めることにある。読書の知識を自分の血肉に形成するには、現物(現地人)にふれるのが最上であろう。貧困の問題一つにしても、現地の実態に接してそ真の理解が深まる▼わたしたちは永遠の愛の故郷を志向する旅人、異邦人である。旅の出会いを、離ればなれになっている異国の兄弟への再会と考えるのも無益ではあるまい。現地の貧しい兄弟、飢えている兄弟は、同じ天父のいとし子ではないか。また、旅の効能として、豊かな祖国を感謝のうちに外から見直すことも起こり得る。近すぎてよく気付かなかった部分が、離れてみてもっとはっきりすることがある。贅沢な不満が、感謝の気持に変身するかも。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡(092)471—0245(代)
管制センター TEL 福岡(092)471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

（第一面から）

す。イエズスは、ご自分で祈り、人にも祈るように命じられるばかりでなく、同時に、使徒と弟子たちを呼ばれ、かれらの養成に力をつくし、福音をのべるように招かれるのです。

第二バチカン公会議は、召命の増加を計るための効果的な協力は全キリスト教共同体の責任だということを思い出させました。（司祭の養成に関する教令2、参照）召命促進のために種々な司牧的活動がありますが、すべての信徒はおのおの立場で、神の助けのもとに、教会の現在と将来にかかわる大切な活動を助けなければなりません。特別に責任のある人々は司教、司祭、助祭、奉献された人々、教育に関係のある人々、特にカトリック信者の家庭であります。

司教職における兄弟のみなさん、みなさんにまかせられた羊の群れを、善き牧者に倣って愛と配慮をもって導かれるみなさまがいつも召命のために模範的に努力されることを心から感謝いたします。すべての奉献生活への召命を育てるご尽力にたいして、私だけでなく教会全体が感謝しています。みなさんのご努力の明らかな証拠は、教区のプランやプログラムによく現われています。

主は召命の分野で、教会に新しい実りを与えておられます。特にある国々では召命の増加が目立っています。本当に神に感謝するばかりです。こういう希望の印は、貴重な仕事をされるみなさんが、勇気と熱意をもって進まれるための良い刺激となるでしょう。一九八一年五月に開かれた、部分教会における召命の司牧的配慮に関する第二回国際会議の結論によって提案された指針に従って、使徒職のすべての努力を結集し、より組織立て、もっとより機敏で巾広い奉仕をすべての分野に及ぼしてくださるようにお願いします。

今、私は、このデリケートな召命の分野で司教方に協力される司祭、助祭、男女修道者、在俗会会員、召命の推進者、責任者の方々にお話ししたいと思います。私はみなさんがどんなに大きな貢献をしておられるか知っています。みなさんは、喜びにみちた生活の証しと、絶えまない祈りで価値づけられた使徒職で、大きな貢献をしておられるのです。きょう、私はみなさんに、特に私が心に留めている二つの勧めをしたいと思います。「人を呼んでおられるキリストを、勇気をもって告げ知らせてください」。実際に、キリストはきょうもきのうも招き続けておられ、私たちを使って方々へ呼びかけることを望まれます。それゆえキリスト教共同体にキリストを告げ知らせてください。特に、若者たちに力強くキリストを知らせてください。多くの領域で、新しい若い世代が成長しています。かれらは祈りに心を開き、神を求め、教会と社会の生活に参加することを望んでいます。かれらの期待を失望させないでください。神のみ旨の使者となって、勇気をもって招いてください。

それから、司祭職と福音的勧告の宣誓の準備をしている若者たちのみなさんは、他の若者たちのために、召命のはっきりした提案者となることができます。イエズスの招きを自分の生涯の最大の幸として受けた人は、発見したことを他の人々に伝える必要を感じる者です。使徒聖アンドレアは、兄弟のシモン・ペトロをイエズスの所へ連れて来ました。（ヨハネ1・41参照）愛する神学生、ならびに奉献生活のために準備しているみなさん

あなたがたの生活の理想を光かがやかせて、同じ世代の人に召命を与えるアニメーターとなってください。

4　次に、カトリック信者の家族の皆さん、

そのすばらしい仕事と使命について思い出して頂きたいと思います。ご夫妻とご両親たち、あなたがたは、新しい創造物に生命を与えることで神に協力されました。キリストが子供たちに委ねられた使命を、子供たち自身が発見して実行するように神に協力する方法をあなた方はご存知です。この中に愛の大きなしるしがあります。召命は、それを受ける者にとって大きな賜物であるばかりでなく、両親にとっても大きな賜物です。

このように、崇高であると共に重要な仕事をするため、みなさんが婚姻の秘跡で受けた召命に忠実であるように勧めます。みなさんのご家庭で、祈りをよくするようにご尽力してください。神のみ旨をみとめ、それに惜しみなく応えるためには神からの光が必要です。

5　最後に、少年少女、若者たちまた他の人たち、

選択の決定的な時に直面している人たちに私は話しかけます。私は、みなさんの一人ひとりの名を呼んで、会ってみたい。そしてあなたたち自身のためだけでなく全人類のために最も大切なことを心を開いて話したいのです。

私は、あなたたち一人ひとりに尋ねたいのです。「あなたは、あなたの人生をどうするつもりですか。どんなプランを立てましたか。キリストのために、あなたの生涯を献げたいと、考えたことがありますか。イエズスを人々のところへ連れていったり、人々の所へイエズスを連れて来る以上に偉大なことがあり得るだろうかと考えませんか。」

世界召命祈願日は、このように重要なことについて祈ったり考えたりするのにふさわしい機会です。召命のために祈ることは、ただ他人の召命だけのために祈ることではありません。これははっきりしています。皆のためですが、特にあなた自身のためです。それはキリストのために、あなた自身を献げることにかかわっています。キリストが救いの仕事を続けるために、あなたを必要としておられることをあなたはすでに知っているのです。それなのに、あなたは無関心で、無気力でいられますか。

若者たち、

今日、あなたたちの心に語りかける声は沢山あります。あなたの生涯に、真実な意義を与えるあの「声」を聞きわけるには、どうしたらよいでしょうか。

イエズスは、沈黙と祈りのうちに、ご自分の存在を感じさせます。キリストの親しい交わりにおいてあなたがた各自は、「わたしについて来なさい」（マルコ2・14、ルカ5・27）という善い羊飼いの優しい、しかし、しっかりした招きの声を聞くことができるでしょう。

あなたがたの中で、沢山の人々がイエズスの司祭職をつぐために召されています。また、他の人々は、貞潔、清貧、従順の誓願を守って生涯を主に献げようとしています。他方では、宣教師として諸国、諸大陸に旅立つ若者もいるでしょう。つまり、沢山の若い人々が、かれらの持つ唯一の愛を淨配のキリストに献げるように招かれているのです。キリストから来るどの招きも、独特で、かけがえのない愛の歴史です。

あなたは何と答えますか。「ハイ」という勇気がありますか。孤独だと感じますか。あなたは、生涯、イエズスに絶対的に従うことが可能だろうかと、自分に尋ねていますか。

もし、イエズスがあなたを呼ばれて、おそばに引きよせられるなら、イエズスは決してあなたをおみ捨てになりません。私たちは、「恐れることはない」ということばを福音書の中でたびたび読みました。（マタイ14・27、マルコ6・50参照）。また、「わたしは

広報の日（一九八四・五・二十七）

マスコミは信仰と文化のかけ橋

カトリック医師会福岡支部

新役員決定　四月一日付

支部長　中川　能志（手取）
理　事　華表　宏有（黒崎）
理　事　村松　正俊（戸畑）
理　事　吉川　東陽（大名）

（敬称省略）

（注）福岡支部会員は七十五人、福岡五十四、熊本二十、佐賀一。外に在籍学生会員が二十である。未加入信徒医師の入会を期待する。連絡先〒八六〇熊本市安政町三一四中川能志電話〇九六三一五二一三五七三

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店　☎2－0646
〃　駅前5秒店　☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　黒崎駅前名店街店　☎641－7177
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

(第一面から)

あなたたちをみなしごにしておかない」(ヨハネ14・18参照)ともおっしゃいました。イエスはあなたの困難をよくご存知で、お願いさえすればそれに打ち勝つ力と勇気を、ご自分が招かれた人たちに与えてくださいます。ですから、あなた自身をイエスにおまかせなさい。

6 以上の考察と勧めを終るにあたり、私は愛する兄弟、姉妹の皆さんと心を合わせて次の祈りを一緒に誦えたいと思います。

「善き羊飼いなるイエス、あなたの教会に絶えず与えられるすべての召命のために私たちが献げる賛美と感謝をお受けください。

司教と司祭、宣教師、すべての奉献された人々が真に福音的生活の模範を示すことができますように、かれらをお助けください。

司祭職または奉献生活のために準備している人々を強め、終りまで耐え忍ぶ慎みをお与えください。あなたのみ名をすべての人々に伝えるため、福音の働き手を増してください。

私たちの家族と兵同体の若者たちを見守り、あなたに従う勇気と寛大さをお与え下さい。今日もかれらにあなたの御目を注ぎ、お招きください。呼ばれた者すべてが愛そのものであるあなたを選ぶため、すべてを捨てる力をお与えください。あなたが選ばれた人々の無関心と不忠実をお赦しください。

キリストよ、あなたのおん母で使徒の女王聖マリアのおんとりつぎによって献げる私たちの願いをきき入れてください。聖母はみ言葉を信じ、それに応えて私たちの喜びとなられました。願わくば、マリアに倣って、私たちもあなたのみ国で、奉仕する恵みをあたえてください。アーメン。

私は主が教会の願いに耳を傾けられることを信じ、司教職におられる尊敬すべき兄弟たち、司祭、男女修道者とすべての信徒、特に司祭叙階と奉献生活の準備中の人々、聖職者の召命の増加のために献身的に働く人々の上に、豊かな使徒的祝福を心から贈ります。

一九八四年二月十一日
(ルルドの聖母の祝日)
教皇登位第六年
バチカンにて
ヨハネ・パウロ二世

五月命日の司祭

▼フランソワ・ルマリエ神父(パリ外国宣教会)一九四五年五月五日元熊本県八代教会主任

▼フェルナンド・チリ司教(パリ外国宣教会)一九三〇年五月十日初代福岡教区長

▼ヨハネ棚町正力神父一九六八年五月十五日元茶山教会主任

細見千代子修道女

主の許に召される

四月十九日、聖母訪問会の新田原病院で、パーキンソン病と心不全のため死亡した。行年七六

葬儀・告別式は、四月二十一日福岡市博多区光丘カトリック教会でしめやかに執り行われた。

故細見修道女は、一九〇七年五月、兵庫県氷上郡大路村(現春日町)に生まれ、聖和女子短大卒業後長年幼稚園教諭として過ごす。一九四五年、福音の光修道会に入り、一九六五年終生誓願宣立、その間幼児教育一すじに進む。死因のパーキンソン病は、彼女の十三年来の十字架であった。

各地で幼稚園や教会の建設

ヨゼフ・ドレル神父逝く

元直方教会主任ヨゼフ・ドレル神父は、四月十五日午後四時半、ゼンソクと老衰のため八十二年の生涯を神の御手に帰した。

葬儀ミサならびに告別式は、四月十七日午後一時半から、小倉カトリック教会で行われ、福岡教区長平田司教と司祭約三十人の共同司式ミサには、多数の会葬者が故人の冥福を祈った。

故ドレル神父は、一九〇一年九月八日、フランス・メッツ教区のヴィトリングに生まれた。一九二三年四月、パリ外国宣教会に入会し、宣教師としての養成を受く。一九二八年九月、司祭に叙階、翌年六月、直ちに来日、福岡に到着する。一九三〇年七月から、日本語学習に励みながら水俣で宣教活動に入る。一九三一年十二月から約四年間、八幡教会司牧の傍ら、教会建設と幼稚園を開設する。一九三五年三月、飯塚教会主任となり、幼稚園の建設に着手した。特に、当時は珍しいスクールバスを走らせて、市民の話題となったハイカラ神父でもあった。一時帰国したが、一九四八年再来日する。同年十二月、直方教会主任になるやまたも幼稚園を創設した。音楽好きであった神父は、諸楽器を購入して幼稚園児のオーケストラを編成し、音感情操教育に情熱を注いだ。一九七四年四月から、直方に土地を求めて引退し、静かな祈りの生活の晩年であった。

飛脚

☆五月の聖母月の信心を再興したい、と念願する信者は多いのではあるまいか。最近聖母月の文字が目立たなくなり、聖母マリアの存在信仰もとやかく言われる昨今となった。第二バチカン公会議はつぎのように呼びかけている「聖なる教会は、神の母・聖マリアを、特別の愛をもって敬う。聖母は、切り離すことのできない絆によって子の救いのわざに結ばれる。教会は聖母のうちに、あがないの最もすぐれた実りを感嘆し、ほめたたえ、あたかも最も純粋な姿のうちにおけるものとして、聖母のうちに、自分が完全にそうありたいと欲し、希望しているものを、喜びをもって見つめるのである(典礼憲章一〇三)。マリアはその母性愛から、まだ旅を続けている自分の子の兄弟たち、危険や困難の中にある兄弟たちが、幸福な祖国に到達するまで、配慮し続ける。このために聖なる処女は、教会において、弁護者、扶助者、救援者、仲介者の称号をもって呼び求められている。しかし、いかなる被造物も受肉したみことば・あがない主とけっして同列に置かれてはならない。教会はこのような従属的なマリアの役割をためらわず宣言し、絶えずこれを経験し、なおこの母の保護にささえられて、仲介者・救い主にいっそう親密に一致するよう、これを信者の心に勧める。」(教会憲章六二参照)以上の通りであるから、自信をもち積極的に聖母崇敬を実践しよう。

聖母月に祈りましょう

マリアの母の保護にささえられて、仲介者・救い主にいっそう親密に一致するように

☆四月十九日(聖木曜日)午前十一時から、平田司教による聖書油祝聖ミサが浄水通カトリック教会で行われ、約五十人の司祭が共同司式した。また、大神学生が典礼に奉仕し、修道者をはじめ多数の信徒が参加していた。

ミサ後恒例になったが、本年の司祭銀祝組の祝賀会が催され、平田司教の祝いとねぎらいのことばに続いて、一人ひとりの銀祝司祭に金一封と記念品が贈られた。この日の喜びの司祭たち(一部はカトリック二月号に既報の通り)の中には、パリ外国宣教会北九州地区のアンドレ・ベルトラン師とジュリアン・ガイヤール師、それにトラピスチン伊方里の聖母修道院付司祭であるマルセル・ジャンネット師(正確には六月が司祭銀祝に当るので、六月号カトリックに紹介の予定)がいる。

☆福岡小神学校の本年からの小卒受け入れが、原則として泰星中学校の入試合格者に限られているために、ことしの中学新入生は一人であった。熊本市健軍教会所属の今村文典君(父親は熊本マリスト学園教諭)だけ、しかし来春の大神学院入試のために、高校卒業の方志政士君(直方教会所属)が小神学校に生活することになった。現在小神学生は二十一人の世帯であるが、キリストの招きに応え、明日の司祭のため精進している。

会合と催し

☆平田司教
5月2~5日 クルシリヨ
5~8日 韓国視察巡礼団
11日 司祭評議員委員会
20日 大名町教会堅信

☆福岡默想の家
5月2~5日 クルシリヨ
10日 聖公会婦人会
13日 大神学院静修
19~20日 大名町信者有志の默想会
26~27日 九州英数学館
31日 福岡聾唖塾落成式

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8—8
TEL 531—3831
夜間 521—0820

祭壇・洗礼盤他
石材 石理 石影 他の大御そ
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2—21
TEL 52—2417

佐賀教会で「人生講座」開講

現代人にとって、いま問われているものは何かを聖書に照らしながら、やさしく語る「人生講座」が佐賀教会信徒会館で、司祭と信徒の協力のもとに、四月十三日から開かれている。

講師は、日本文化に深い造詣を持つイタリア人のアレグリーニ神父（多久教会）で、毎週金曜日、昼・夜に分けて行われている。受講者は一般社会人と学生、OL、信者有志で約八十人。

第一期講座は四月から六月までの三カ月間で、講座内容は、第一回「聖書と現代人」、第二回「人間とは何か」、以下「人間を超えたものがあるか？」「人間の苦しみと神の沈黙」「崩れる生きがいと崩れない生きがい」「断絶と人間関係」「善悪の基準」「結婚と家庭生活」「子供の教育」の根本、「平和」を作る方法、の十講座。昼の部は主婦が、夜の部はサラリーマンや学生の参加が多い。

この講座は、昨年佐賀市に開設されたさが社会福祉センターが生涯教育の一環として行った、文化教養講座のうち「聖書の世界」の講師となったアレグリーニ神父が、一年間の継続講座を終了したため、この四月から舞台を教会館に移し、信徒会がアンケートをとるなどして、内容を精選し開講にこぎつけたもの。

在日三十三年、その博学に加え、キリスト教的価値観と、聖書に照らして解説するおだやかな説得力が、聞く者に深い感銘を与えて好評である。

（佐賀・牧山満安氏）

福岡教区特別聖年大会の奉仕と交流親善の集い

三月四日、泰星学園を会場として、聖年大会が開かれた。この大会には、福岡教区の信徒（バス約四〇台とその他加えて約三千人）の参加があった。

大会を成功裡に終えるように、カトリック教会所属のボーイスカウト（熊本第13団行橋第1団福岡第3団）で、交通整理、会場清掃、献金等の奉仕に参画し、また信仰を通じてスカウトの交流親善をはかることとなり、三月三日カトリック福岡教区長平田三郎司教様のご臨席を賜り、高宮カトリック教会で、奉仕隊の結成式を行い、厳粛な雰囲気の中で聖年大会での、奉仕に積極的に参画することを誓いあった。

奉仕隊結成式において、平田司教様のスカウトに対する「暖い激励のお言葉」そしてスカウト一人ひとりに手渡してくださった「メダイ」に、司教様の「あたたかみ」が、スカウトに伝わりどんなにか心の励みになったろうか、本当に有難く感謝のきわみであった。

奉仕隊結成式のあと、営火を囲んでの友情ゲーム、嬉しそうな生きいきとしたスカウト達の顔と顔、今でも脳裏にやきついている。翌日三月四日、朝のミサに全員参加。

さあいよいよ奉仕開始、それぞれに与えられた責務を一生懸命に規律正しくキビキビとボーイスカウトらしく奉仕してくれた。

聖年大会に参加した信徒のあいだにも、奉仕に対し感銘の激励をいただいたり、司教様から感謝状を賜るなど、どんなにか心の支えになったことだろう。「やって良かった」そして責務を遂行出来た喜びが、スカウト一人ひとりの自信につながり、飛躍の一歩となったことだろう。スカウトの心に、きっとのこる良い想い出となるだろう。それにしても、なんの事故もなく無事奉仕出来たことは、「神への感謝」あるのみである。

そして忘れてならないことは、各団の団委員、指導者の骨身惜しまぬ献身的な奉仕、高宮カトリック教会の指導司祭中村神父様、信徒有志、福岡第3団の母の会の方々のボーイスカウトに対する深いご理解と、あたたかい奉仕にささえられたことは言うまでもない。本当に有難いことである。

奉仕も終わり、各団、お互いに友情を確かめ合いいつの日か又逢う日を誓いつつ、私達スカウトは「あがないの特別聖年大会」での神の福音の光に守られ、晴れればれとした気持であったに違いない。CBSのスカウトとして日頃の精進努力を実践することが出来た喜び「感謝」

（高宮・鳥越義弘氏）

韓国の宣教二百年祭を祝う
列聖式参加や聖跡めぐり
教皇の心を体した巡礼団出発

地理的にみれば、韓国は非常に近い国である。福岡からソウルまでの空路所要時間は、わずか一時間十五分に過ぎない。国内線の東京よりも近く、大阪（福岡から空路一時間）の一寸先、名古屋辺りを想定することができよう。この隣国が、今回宣教二百年祭を祝うことになり、ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世を迎えて、国をあげての盛大な式典を準備している。

日本からもいくつかの祝賀巡礼団が出発するが、福岡教区訪韓祝賀巡礼団（団長・平田司教）一行一一〇人は、五月五日（土）午前十時五分、福岡発の日航大型ジェット機で一路韓国・ソウルへ向う。韓国での巡礼日程は、八十六年前に建立されたソウル市明洞大聖堂（五月八日午前八時一行のミサ予定）、同市の聖フランシスコ教会（五月五日午後三時ミサ）、切頭山殉教記念館聖堂（五月七日九時ミサ）の訪問の外、韓国カトリック教会の誕生地天真や韓国最初の司祭で殉教者の金大建神父の墓地ミリネなどの巡礼がある。勿論、韓国カトリック宣教二百周年記念式典と列聖式参列が最上の目的に考えられている。

韓国での福音の種まきは、奇跡的なやり方にも思える。それは外部からの宣教師の布教の結果ではなく、自力で育てた韓国教会だからである。約五百年続いた朝鮮王朝は厳しい鎖国政策を実行していたが、定期的な使節団を北京へ送っていた。ところが、その中の一人李承薫が一七八四年、カトリック教理を学んで受洗し、帰国後信者の仲間を広げていった。

しかしキリスト教を邪教と考えた王朝が迫害を始めたので、多数の殉教者を出すことになった。このたび列聖の栄冠に輝く金大建神父（一八四五年司祭叙階、一八四六年殉教）と一〇二人の殉教者は、この時代の迫害の犠牲者であった。この中に一八三九年と一八四六年の迫害による七十九人と一八六六年の迫害の犠牲者二十四人が計上されている。

それにしても、韓国教会の躍進ぶりには驚嘆のほかはない。一九五五年に四十七万人のカトリック人口があったと聞いていたが、一九八二年度の統計では、一七一万人のカトリック教会に発展している。年間受洗者が十四万人（大人・小人含む）いたという。

びはひとしおであり、そして神への信仰を通じて奉仕の精神を学びとることが出来た聖年大会の奉仕は本当に有意義であった。「神に進む」

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5－4－12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272－0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1－4－23
TEL 771－3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521－0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼 山田成章
編集人
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般)家庭生活の聖化
(布教)インドにおける諸宗教の対話

韓国信徒に学ぶ信仰の証し
教会は正義と人権の旗手
裂かれた民族の悲哀に答える

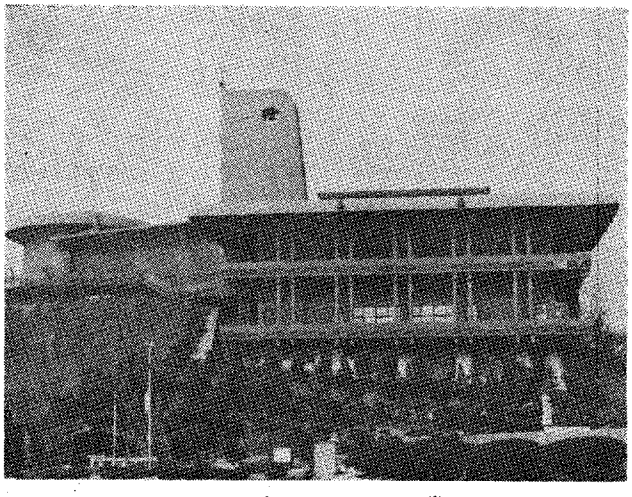
既報のとおり、福岡・大分訪韓祝賀巡礼団(団長平田福岡司教、副団長平山大分司教)一行百十人は、五月八日午後一時十五分、三泊四日の旅を終わって無事福岡に帰着することができた。読者のみなさんの祈りに感謝しながら、韓国巡礼のあれこれや印象についていくつか報告しておきたい。

韓国キリシタン殉教史を一読すると、福音宣教の種まきが摂理的であったことがわかる。宣教師抜きの信徒による教会の誕生が、手にとるように理解できる。無を有にする神のみ心に、畏敬の念を新たにさせられた一例であろう。こしの韓国教会は、その宣教の第一歩から数えて二百年を迎えたので、福岡・大分からの祝賀巡礼団が出発したのであった。

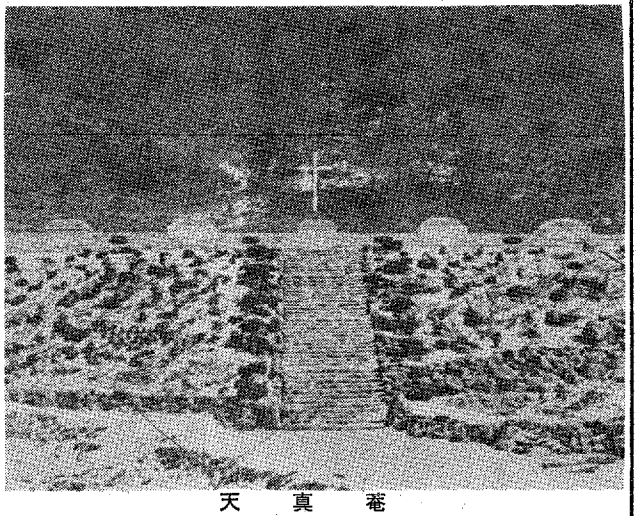
しかし、奇跡的な教会の発展には、多くの犠牲が要求された。教会誕生の時代だけでなく、現在・未来にわたって犠牲を捧げる教会には変わりはないであろう。戦争による引き裂かれた民族の悲哀を背負う韓国教会には、いろいろの難問の解決が期待されている。韓国の人たちは、社会正義と人権のとりでとしての教会に熱いまなざしを注いでいるようだ。昭和三十年頃四十七万人に過ぎなかった韓国教会が、三十年後に百七十五万人に高度成長した理由について議論がにぎやかに交わされている。信仰の喜びに燃える韓国信徒の宣教の意気込みはいうまでもないけれども、韓国の人たちが教会を信頼し必要と考えている。また、教会もそれに十分に答えているのではあるまいか。必要な場合には、反福音的な政府の姿勢に対する殉教者的な直言や抵抗を恐れない教会に国民が拍手しているのではないかと思う。

韓国カトリック宣教二百年記念式典と金大建神父以下百三人の列聖式は、今回の巡礼の主要な目的であったが、ヨハネ・パウロ二世教皇が司式する百万人の大集会の信仰的な熱気と祈り、聖歌の雰囲気には圧倒されてしまった。見知らぬ兄弟たちと手をつないでバーテル・ノステルを唱えたあの時の感動は、一生忘れないであろう。「霊は一、信仰は一つ」の、聖霊にみたされた信者なればこそだ。

(第二面につづく)



切頭山記念聖堂



天真菴

(司祭異動) 略敬称

☆飯塚教会主任 山頭原太郎(若松教会主任) ☆若松教会主任マルセルコース(兼J・O・C、働く人の家担当) ☆休養ジャン・パスカレル(飯塚教会主任)

微光

最近、異常気象ということばをよく耳にする。ことしの夏の気温について、冷たい夏という不気味な予報も聞こえる。何だか、地球全体が異常性に脅されているようだ。天候に限らず、異常な出来事・現象に、現代人はさほど驚かなくなったのではないか。皮肉な表現をすれば、日常的な異常性は、も早や異常の名に価しないのかもしれない。日常性と異常性の識別に、戸惑っている人は多い▼異常感を喪失した社会になれば、天地の倒錯した事件に出会う。地上を天国に置き換えるのか、有限的なものが優先し、永遠性が無視される。物欲のため、信頼される職責を汚す犯罪は後を絶たない。盗人を捕らえるはずの警官が、強盗に早替りする。立派な社会人作りに協力すべき教師の、反社会的な言動に動揺する世相が嘆かわしい。神の似姿である人間の生命は、虫けらのように処置されている。どこかが狂っているが気にしない▼人命尊重には、単なる掛け声ではなく証しの生活が問われる。国内の昨年の自殺者総数は、二万五千二百二人に上る。この一事だけみても、神を恐れる英知が少ないのではあるまいか。人間を人間らしくする永遠性の回復を、教会信徒は重大に認識すべきであろう。「私は、道、真理、生命である」というキリストへの接近を、自他ともに黙想し行動しなければなるまい。日本を、心の異常性の汚染から守り抜く宣教が待っている。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡(092)471—0245(代)
管制センター TEL 福岡(092)471—0279(代)

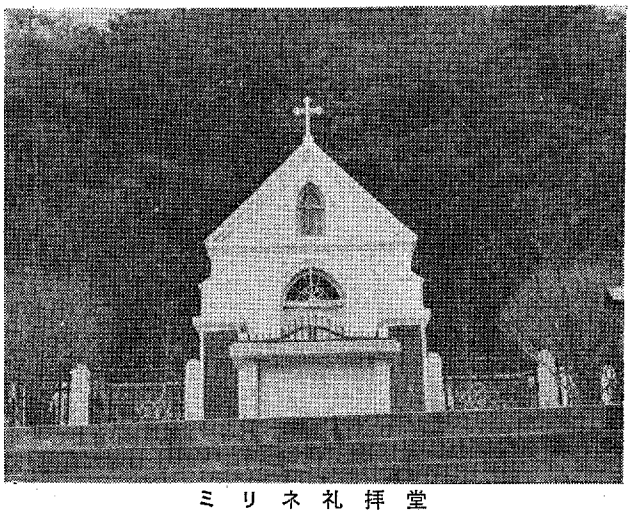
熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

（第一面から）

五月七日、切頭山殉教者記念聖堂を訪問し、九時のミサで祈る。ゆるやかな流れの漢江の西にある小高い丘で、かつてここで一万人以上の殉教者を出したといわれるが、事実は定かでない。しかし、韓国全土の殉教者を一括して記念しようという計画が実を結び、一九六六年、千四百坪の敷地に三階建の四六〇建坪の記念館及び聖堂が建立された。この記念館には、殉教者たちの遺品や刑具などの貴重な資料が数多く展示される。

天真菴は韓国教会の誕生地で、代表的聖地の一つにみられる。一七八〇年、数人の若い学者がここに研修所を作ってカトリック教理を含む西教学を研究していた。ところが、その中の一人李承薫が北京に留学し、そこで受洗した。一七八四年、帰国したかれはここで宣教活動し、多くの信徒を生み出した。韓国教会が誇る、カトリック信仰の出発地点といわれる。五墓の墓石は、信仰の礎となった当時の五人の学者（写真左から丁若鐘と李承薫、李蘗と権日身及び権哲身の墓）のもので、墓前には野外ミサ用の石造祭壇がある。中央の石段は四十四段あるが、これは当時の研修所の代表であった権哲身四十四歳を記念して出来た。

ミリネには韓国初代の司祭金大建と関係者の墓所があり、その背後にあるこじんまりした白亜の礼拝堂には、殉教者金神父の下顎骨が収納されている。



ミリネ礼拝堂

このたび列聖された金大建神父は、朝鮮王朝の厳しい鎖国政策の中、一八三六年、三少年の一人としてマカオへ遊学（勿論神学生として）、一八四五年八月、フェレオル司教の手で上海で叙階された。同年十月、韓国江鎮里に上陸して宣教活動に当たったが、国禁犯として投獄された。一八四六年九月、漢江河畔の沙南坪で斬首、天

韓国一〇三位列聖に寄す

人・人・人……。ヨイドの広庭に熱気の歓呼湧きあがる。百万男女のいずこよりわき出でたるか。大真天よ見ませ。ここに始まる列聖の大式典を。二百年待ちこがれたるローマの聖下まさに親臨せんとするそのとき、地の底より湧き上がる歓呼。「教皇万歳（キョウファンスイ）！教皇万歳！！」

みどりなる柔風頬をなで、朗々たる祈りの波はいっ果てるともなく、その滔々たるや、堰を切った奔流の如し。我心の大地を底から潤してゆくが如し。それは、明け終えぬ早暁に列をなした弱き肉体への、なによりものなぐさめ。なによりものやすらぎ。聖姿の一目だに見えずとも、撮影すら許されずとも、集えるものは一人とてうらみ言なし。民族の晴れやかなる衣に身を包み、神の子らは誇りに満つ。列聖の一〇三位、数知れぬ殉教の尊祖らよ、このおごそかなる栄光を受けよ。そは民族を超えた人類のあかし人。そはみなぎる力のいしずえ。異国の言の葉心得ずとも、オモニも碧眼も博多んもんも、暖かき手と手をつなぎともにとなえるは、主の祈り。

おもいではひとつ処に耐えし六時間。おもいでは知らぬ同志が手を振り合った別れ。飛び交うは「安寧！感謝！」握手、握手。それは、「やっとわかった！」兄弟のこころ、ひとつのこころ。

谷間にこだまする賛美の歌。呼びさませ、この天真菴の地の聖なる息吹を。岩間をつっと清き流れよ。教えておくれ、天主教発祥の日の情熱を。新しき天主のおしえを見出せしは、相つどいたる十余の学者。聖なるいぶき木々の間に間に満ちあふれ、共住の尊者らを燃えたたせしか。同邦なる巡礼らとつどいてささげし聖祭は、五墳墓の柔き芝生に祝福されて、その精気にやすらぐ。

ああ、ミリネ。聖者の憩いの地なるミリネよ。二十六の若さは証人となるパン種にふさわしい。その名は金アンドレア大建神父。静寂に包まれた永遠のやすらぎの地よ。殉教の風は、そのたおやかな愛によって栄光とされた。かすかな木葉のささめきがその愛を語るよう。涙の聖母はカルワリオに祈り、巡礼の老いたる母は足をひきずり、ロザリオ繰る。苦しみの十字架を悟らぬ弟子は、弱き我心を突き刺して、眠りこける。聖墓の守りは心秘めたる修道士、若き。伝来の地を守りし村人の信仰に祝福あれ。

ミョンドンのそびえ立つ尖塔。彼国の栄光を天に示すカテドラル。はじめて聖霊の家となった故地。ステンドグラスに豊かに包まれる祈り。ささやかな巡礼の賛えは響きわたる。この旅最後のお恵み。キム枢機卿様の親しきお言葉。強き意志を秘められた握手。手がちぎれそう。

こんなに近かった韓国。はじめて知った同じ信仰のきずな。手のぬくもりは忘れない。

（一巡礼者より）

夫婦の新たな出会いを求めて

—マリッジ・エンカウンターへのお誘い—

家庭生活の中心である夫婦の新たな出会い、さらに深い関わりを目指すマリッジ・エンカウンターの集いが下記の要項で開かれます。すでに世界50数ケ国に広まっているカトリック教会内の運動のひとつで、年齢に制限なくご夫婦でどなたでも参加できます。

記

日　時　7月27日（金）午後6時～
　　29日（日）午後6時（二泊三日）
場　所　御受難会福岡黙想の家

詳しく知りたいこと、またその他のご案内については下記の者にお問い合わせください。

深堀純・邦枝（大名町教会信徒）
814-01　福岡市城南区神松寺3-7-31
TEL　(092) 801-5351

カルメル会福岡修道院の本物の味

1.　修道院手造りのベルギ風ゴフレット
　　1箱30ケ入り　1,000円
2.　〃　アーモンド入りゴーフル
　　1箱9ケ入り　1,000円

下記のところで販売しておりますのでご利用ください。

福岡カルメル会修道院　福岡司教館新館
博多駅構内サンフラワー

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3—2—9　TEL 531—1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店　☎2—0646
〃　駅前5秒店　☎2—2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641—4321
〃　黒崎駅前名店街店　☎641—7177
〃　ダイエー城野店3階☎922—5637

九州地区合同祈りの集いに参加して

中本岐余子

特別聖年が終る直前の聖木曜日、ノヴェナをもって始められた「九州地区合同祈りの集いほ、文字通り豊かな聖霊の導きの中で、悲なく四月三十日終了した。福岡黙想の家で二泊三日、ゴールデンウィクの始まりを祈りで過せたことは、何にもまして幸福であった。

主は、リアム、ライル両司祭を指導者として送ってくだり、特にリアム神父は、日本語による黙想指導は初めてとのことで、事前の準備には周到なものがあり、伝統的なノヴェナの祈りを指導してくださったが、この事により、当日参加できない多くの方々も、祈りでもって支えてくださることができたのである。参加者は、地元福岡の他、長崎、熊本、沖縄から五十八名もあったが、主の名簿にはどのような数字が記されたことだろう。

指導について私は次のように受けとめた。

○祈りについて（特に賛美の祈りのすすめ）

祈りには、礼拝、感謝、回心、祈願の四つあり、その中で最高の祈りは神への賛美である。もっと自由に自分のことばで賛美してはどうか、また「教会の祈り」「祈禱書」「詩編」などを使う方法、自体を使う方法――ミサ、念禱、立つ、坐る、ひざまづく、ひれ伏す等実践的な指導もあった。

○共同体としての祈りのあり方

三名の小さな集いを、一年間で百五十余名の共同体にまで実らせたリアム神父の経験を通しての、時間配分まで含む細かな具体的な指導は、大いに参考になった。

○個人の祈り

マタイ六章を使っての指導も、わかりやすくどこで、いつ、どのように祈ればよいか「教会の祈り」と比較しながら教えられた。

・カトリックの祈りのパターン

・聖書に親しむこと。直接イエスに語って戴き、みことばを味あう沈黙の一時の重要さ、みことばの分ちあい、共同祈願（取り次ぎの祈り）「主のみ声を聴く日々」の本の紹介もあった。

○新しい次のリーダー養成も大切であること等が主な内容であったと思う。特に強調された神への賛美の祈り、自分のことばで自由に祈ることは、少しずつではあるが定着してきているようである。神に感謝。

あかしの中で「あなたの熱心さで裁かないで下さい、確信をもって相手を判断したり、評価しないで下さい。キリスト者の落こぼれをつくらないで下さい、ありのままの私をうけ入れて下さった主ではなかったか。……パウロにならって、泣く人と泣き、喜ぶ人と喜びたい救いはその人の弱さ、痛み、苦しみ、嘆きの中にある。福音は外から与えられるのではなく、すでに訪れているイエスを感じさせてあげることである。平安、喜び、力を体験していただけるようにしてあげることではないか。」と、切々と訴えられたが、大変印象に残った。

反省として、聖霊の流れを断ち切ることのないように、秩序を守る配慮が少し足りなかったこと、プログラムの密度の濃さからくるゆとりのなさ等の指摘があったが、祈りの勉強が進むにつれて、兄弟姉妹の心が如何に燃やされているかを一つひとつの動きの中に感じられた。

肌寒い雨模様の内に過した集いであったが、我々の間では、常に燃やされ続ける神への信頼と希望、愛があり、神を賛美し、神に感謝するミサの大きな歌声で、祈りの集いの幕は降された。名残りつきぬまま八時すぎまで、分ちあう姉妹もあり、聖母月を迎えるにふさわしい夕べであった。

（黒崎教会信徒）

★平田司教

四旬節の愛の献金

大名町	43,800	飯塚	34,100
光ケ丘	97,626	田川	11,350
箱崎	15,000	荒尾	45,000
笹丘	42,202	本渡	22,000
美野島	20,400	帯山	32,980
高宮	66,820	水俣	5,500
二日市	145,000	大江	39,500
今村	223,750	崎津	40,000
本郷	44,157	島崎	58,000
馬渡島	17,540	玉名	30,000
呼子	50,000	菊池	7,691
伊万里	20,000	雙葉学園	50,852
鳥栖	76,740	光ケ丘幼稚	47,781
武雄	23,900	聖パウロ女子	30,000
門司港	56,954		
小倉	154,213		
湯川	50,879		
若松	40,000		
八王寺	58,055	合計	1,799,258
水巻	97,468		

聖地献金

大名町	90,005	武雄	5,000
箱崎	10,000	門司港	12,906
西新	16,600	小倉	45,000
美野島	4,000	戸畑	8,201
茶山	9,395	若松	7,400
高宮	24,600	黒崎	38,000
二日市	36,000	水巻	21,050
久留米	23,710	飯塚	16,000
今村	74,395	田川	500
本郷	21,230	荒尾	4,000
新田原	20,000	崎津	5,000
佐賀	10,000	島崎	25,500
伊万里	5,000	合計	538,492
鳥栖	5,000		

会合と催し

6月1日　明治学園（戸畑）体育館の祝別式
2日　久留米信愛学園図書館の祝別式
3日　熊本・武蔵ケ丘教会の献堂式二時
5日　司祭評議会十時半
10日　小倉教会の堅信
13日　大神の助祭認定式
17日　本郷教会の堅信
18～23日　全国司教会議
24日　門司教会の堅信、修女連の総会
25日　聖パウロ会家族の創立者生誕百年記念祭

★福岡黙想の家
6月2～3日　広島教区の防府カトリック教会婦人会
11～13日　大神学校着衣予定者の黙想
17～18日　聖母カテキスター会福岡地区の研修
24日　大名町教会ヨゼフ会

六月の聖体礼拝当番教会

六月三日　茶山・八代
六月十日　大楠・武蔵丘
六月十七日　箱崎
六月二十四日　笹丘

沈黙と祈りの伊万里の山で静かに迎える司祭銀祝
おめでとうジアンネット師

人里離れた山の八合目にある伊万里市二里町のトラピスチンは、今日も静かに明け静かに暮れているであろう。町の騒音とは無関係に、辺り一面支配するのは静の一字に尽きる。そのためでもあろうか、ここを訪ねる人は不思議な感動と安らぎを覚えるらしい。金銭では買えない神秘の香りに、酔いしれているのかもしれない。

多くの場合、訪問者が最初に出会う修道院関係者の一人に、本稿の主人公マルセル・ジアンネット神父を挙げることができよう。柔和な顔立ち、祈りに清められた聖性の眼光で迎える師の温かさに、旅人はホッと胸を撫でるに違いない。このジアンネット神父が、六月二十八日、司祭叙階二十五年目を祝う。

同師は、一九二七年十二月八日生まれのフランス人で、二十五歳のときトラピスト修道会に入会。一九五九年六月二十八日、司祭に叙階されたが二年後来日した。

日本でのジアンネット神父の活動の場は、殆んど、同じ精神に生きる姉妹たちを側面的に援助することに捧げられてきた。一九六四年から栃木県那須郡の那須修道院付き。一九七一年、西宮市の西宮修道院付き。一九七九年十一月から、伊万里市の伊万里修道院付きとして、陰れて咲く一輪の草花のような美しい日々を過ごす。

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材素材
石理石影大御所
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

〝青年たちへ〟

一九八〇年全国カトリック青年大会から、早や四年の歳月が過ぎ去ろうとしています。当時、中心的な活動をした多くの青年たちが今その第一線を退き、福岡教区内でも世代の交代が確実に進んでいます。私たちは'80年大会において、80年代のキリストの証し人となるために大きな一歩を踏み出したものです。しかし現実には、この'80年大会も青年の間で風化のきざしがみえています。折しも、今年の青少年司牧の全国研修会では、「若者の教会離れをめぐって」がとりあげられます。今ここで私たちは、90年から90年代へ向けて新たなビジョンづくりを始めなければならないと思います。

(1)、若者は、教会の将来の担い手であるだけでなく今の活力でもある。

私たちの未来は、私たちが築く土台の上にたてられます。未来を夢みるだけで満足していたり、あるいは未来を他人まかせにしておいていいのだろうか。

(2)、この世に追従するために使っているエネルギーを、この世を福音化するために使ってみよう。

一度きりしかない人生を、自分のために生きることもできる。しかし、他者のために徹底的に生きることも可能だ。キリストに逆って生きることもできる。反対に、キリストに賭けて生きることもできるのではないだろうか。

(3)、提言

①若者の集まりの場と時を教会の中に　私たちの信仰生活は、個人的であると同時に共同体的でもある。自分の信仰が他の仲間たちによって支えられ、また他の仲間たちを支えることができるなら。自分の殻に閉じこもる危険から逃れ、仲間たちから学ぶために、小教区の中で、また地区レベルや教区レベルでの若者の集まりを活性化していこう。

②聖書に親しみ、聖体祭儀(ミサ)を生きよう。聖書の文字の裏側にある生き生きしたイエスを探してみよう。きっと今までと全く違う信仰の喜び、青年としての生き方を発見するだろう。そうすれば聖体祭儀ももっと生きたものになるだろう。司祭まかせのミサでなく、共に捧げるミサにかえていこう。ミサがすべてのキリスト教生活の頂点であり源泉である(典礼憲章10)なら、日々の生活が喜び、希望、平安、賛美と感謝または和解に満ちてくるとき私たちの聖体祭儀もきっとそのようにかわってくるだろう。

青少年担当司祭たちは、青年たちの献身的な協力にいつも感謝している。各々の生活の場は違っていても、社会の福音化、よい便りを喜び伝えつつキリストを生きるということでは連帯している。いつも皆さんとの対話と協働を切望している。

青年たちへの熱い期待をこめて、現実の厳しい社会生活の中で信仰をひたむきに生きる皆さんの上に父なる神の祝福を心より祈っています。

福岡教区青少年司牧担当司祭一同

代表　渡辺隆義

学生のオアシス壱岐は招く

あなたの祈り、休息、行楽、探訪に歴史とロマンの宝庫がお待ちしております。

新鮮な魚介類も楽しみを加えてくれることと思います。島内には100人まで収容できる民宿があって、一泊二食（朝夕）4000円です。お出でご希望の方は下記までご連絡ください。お世話いたします。

811-51 長崎県壱岐郡郷ノ浦町今宮
カトリック教会　ヤノ神父
TEL 09204－7－0617

飛脚

★四月二十六日午前十時から、昭和五十九年度のカトリック福岡地区婦人会総会が開かれた。祈りと平田司教の挨拶から始まった会には、九十余人の参加者があった。午前中は、五十八年度の事業報告や会計報告のあと、役員改選があり、続いて新役員の紹介、ミサが捧げられた。昼食をはさんで、ラミーレス神父（浄水通教会主任）による「婦人の信仰について」の講話があった。神父はユーモアを交えながら、「婦人にとって大切な仕事は、アブラハムやマリアのような本物の信仰によってキリストからいのちをいただき、それを子供に与えていくことである」とさとし、世間のいろんな価値観にふり回されている現代の母親に、イエスへの信頼こそ肝要であることを再認識させた。

★六月の典礼には、重要な祝日が目白押しである。六月三日の主の昇天、十日の聖霊降臨、十七日の三位一体、二十四日の聖体、二十九日のイエスの聖心、三十日の聖ペトロ・聖パウロ使徒（福岡教区平田司教の霊名祝日になっているが、教区の祝賀会は七月三日の予定）十字架にあげられ、栄光を受けた主イエスは、約束した霊を注ぎ、その霊を通して新約の民すなわち教会を、信仰・希望・愛の一致へと招き集めた。「キリストのうちに洗礼を受けたあなたがたは皆、キリストを着たのである……。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいてひとつである」（ガラテア三・二七－二八）信ずる者の中に住み、全教会を満たし治めている聖霊は、信者の感嘆すべき交わりを実現し、すべての人をキリストにおいて堅く結び合わせて、教会の一致の源泉となっている。この聖霊は種々の恩恵と役務をもってイエス・キリストの教会を豊かにし、「キリストのからだの建設のため、聖徒を奉仕のわざに備えさせる」（エフェソ四章十二節）。神のひとり子は、教会の一致を表し実現する聖体の感嘆すべき秘跡を自分の教会の中に制定した。自分の弟子に相互愛の新しいおきてを授け、生命の与え主として永久にかれらとともにとどまるように、弁護者である霊を約束した。一致の霊に心から祈ろう。

教区人事

★レジオ・マリエ　山川辰幸神父
★カナの会　鴨野泰年神父
★J・O・C及び小倉働く人の家責任者　コース神父

六月命日の司祭

▼トマス平田好神父一九三八年六月二十一日元門司港教会主任

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5－4－12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272－0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1－4－23
TEL 771－3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521－0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 福音宣教と社会正義
(布教) 世界の食糧難の克服

地域住民の心の広場に役立つ
武蔵ケ丘教会の新設と祝別
福音宣教の新開拓地めざして

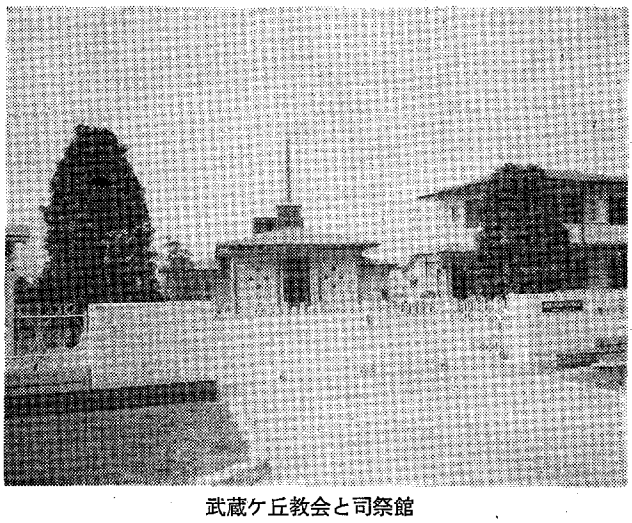
熊本市龍田町弓削字上ノ窪に新築工事中であった武蔵ケ丘カトリック教会（主任＝ヘンリ・オカロール神父）が、このほど落成し、祝別式を行った。

六月三日（日）午後二時からの祝別式では、福岡教区長平田司教が司式し、参加司祭二十五人との共同ミサには多数の修道者・信徒が与って、教会の発展を祈り、竣工の喜びを神に感謝した。

新小教区として発足した武蔵ケ丘教会は、四百坪の敷地に木造ベストスコロニアル葺モルタル塗平家建の教会堂（五二・八五坪）と同じ様式の二階建の司祭館（四一・〇〇坪）、木造折板葺平家建の便所（一・〇九坪）から成り立っている。

管轄地域は、阿蘇郡一帯と龍田町周辺（従来手取教会の管内）、それに発展的に解消した合志教会の司牧地域を含んでいる。恵楓園は武蔵ケ丘教会の巡回となり、毎日曜日の午前八時半からミサが行われる。

新教会の沿革を辿れば、十五年前に遡る。当時のコロンバン宣教会熊本地区長は、教会建設用地として熊本市清水町の土地を購入した。しかし、予想していた人口流入も少なく、交通不便も重なって教会建設を断念した、故オーサリバン前地区長は、その土地を処分し、現在地に教会用地を確保して教会建設の計画を進めた。不幸にも水難事故で天に召されたジョン・オーサリバン神父であったが、新教会はその功績をたたえて、使徒聖ヨハネを教会保護者に選び記念している。在籍信徒数は約二百人日曜日のミサは午前十時。武蔵ケ丘教会はマンモス団地の近くに位置しており、住民の心の飢えと渇きを満たしてくれる格好の場となるであろう。日本の福音宣教は困難であるが、鍬を投げてはなるまい。不可能を可能にする神の共存を信ずるならば、いろいろの宣教手段を実験する必要がありはしないか考えてみよう。この教会の主任司祭は英語圏に属する人であるが、既に団地住民の中から英語塾の開設を要望していると聞いている。住民と教会とのコミュニケーションを活発にして、教会は人々の憩いの場、苦楽を分かち合う仲間になりたいものだ。



武蔵ケ丘教会と司祭館

七月の聖体礼拝当番教会

七月一日 八王寺
七月八日 天神町
七月十五日 黒崎
七月二十二日 小倉
七月二十九日 聖パウロ会

七月命日の司祭

▼ヤコボ平田勇神父（一九八〇年七月二十日元西新教会主任
▼ヨゼフ・ブルトン神父（パリ外国宣教会）一九五七年七月二十五日元呼子教会主任
▼ジョルジュ・ラグレブ神父（パリ外国宣教会）一九八二年七月二十五日元湯川教会主任
▼ルネ・ルリエ神父（パリ外国宣教会）一九七〇年七月二十八日元本城教会主任

暑中お見舞申し上げます
昭和五十九年盛夏
福岡教区長司教 平田三郎
司教 深堀仙右衛門
福岡教区司祭一同

微光

雨に濡れている紫陽花や菖蒲の花は、ロマンチックで幻想的な美しさを秘めているが、晴天にはそれほど引き立たない代物だ。これらの季節の花は、雨を脇役に自己主張しているのではなかろうか。主役と脇役が平和共存的に協力の必要性を認め合い、美の共同奉仕者として生きている。自然の美（調和の美）は、それぞれの領域、分担を尊敬し、労り、受け入れることによって維持されるのでは▼現代社会はストレス充満の時代で、心身症の花ざかりといわれる。社会の各層から精神科病院を訪れる人は、年々増加の一途にあると聞いている。精神科入院といえば誤解され易いが、風邪に苦しむ人がかけこむ病院と同じに考えてよいのではあるまいか。生きている限りストレスは万人に近づいてくるのだから。ストレスを多く感じたら適当に発散させる方法を考慮すべきであろう。ストレスの満タンだけは頂けない▼病弱な心のひだを持つ人間にとって、がまんすることにも限度があるらしい。同病相憐れむの心で、気楽に話し合える仲間を作ることも必要であろう。誰でも、人生のドラマにおける主役を夢みている。しかし、脇役があっての主役の存在価値であることを忘れてはなるまい。人間には時に主役を演じ、時には脇役に甘ずる謙虚な協力が大切と思う。でもよく考えてみれば、永遠の主役キリストの前では、人間みな小さな脇役にすぎないのだ。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

会合と催し

★平田司教
7月1日　門司教会聖信
3日　司教霊名祝賀の集い
8日　大江教会視察
22日　玉名教会視察

★福岡黙想の家
7月19～20日　カトリック・プロテスタント人間学ゼミ
22～24日　雙葉高校生黙想
25～26日　雙葉小学6の黙想
27～29日　マリッジ・エンカウンターの集まり
30～8月4日　PRH（人格と人間関係開発）のセッション

飛脚

★十二指腸潰瘍の手術のため福大病院に入院中であった伊東誠二神父（馬渡島教会主任）は、手術後の経過が良く五月三十一日、退院して司教館で静養している。

★六月一日、川口康賴神父（老司教会主任）は疲労のため長崎市小峰町の聖フランシスコ病院に入院加療中である。

★堤要吉神父（茶山教会主任）は六月十五日、視力減退のため福大病院に入院検査中。

★六月十三日、福岡サン・スルピス大神学院で、平田司教司式の助祭・司祭候補者認可式が十時から行われた。スータン祝別と着衣、候補者の決意表明があって認可された。この認可をうけたのは長崎教区二人、鹿児島教区一人、福岡教区一人（福岡市箱崎教会の森山信三君）であった。

★福岡地区納骨堂管理委員会からのお知らせ――七月二十二日十三時三十分から、大橋墓地の清掃を実施する。雨天の場合は、七月二十九日に順延。八月十五日（水）十四時から、大橋墓地で追悼ミサを行う。八月十三日～十五日の十一時から十五時まで、納骨堂を開放する。

★四月十日から開講した福岡教区の第一学期神学講座は、六月二十八日終了した。受講者は延二九〇人だった。

★六月十一日、ロスアンゼルス五輪ヨット代表に高木裕（二三）と山本悟（二一）の両君が選ばれた。スキッパー高木裕君は熊本市島崎カトリック教会信徒で、福岡大学在学中。クルー山本悟君は福岡大学で高木君の後輩に当たり、高松教会信徒。二人は、昨年六月の世界選手権で七位に入り、本年三月の沖縄ロス五輪最終選考レースでは優勝した。四七〇級ヨットでは、日本の第一人者の地位を固めているといってよい。

★第二学期の神学講座は、九月十一日から十二月十八日までの毎週火曜日、十五回行われる。九月二十五日と十月三十日は、高木義行神父の現代における恩寵論の傾向。その他の日は、イエル神父のヨハネ聖福音書（継続）とヨハネの手紙についての講義がある。福岡サン・スルピス大神院教授たちのよく準備された講座に、できるだけ多数の出席者を希望して止まない。

4日間の霊操ご案内

百花咲き乱れ、ぬれた青葉の美しさの中に暮らす幸せな私たちの想いを深める夏の霊操は今回は4日間にしました。初心の方も常連の方も全日程ご参加下さるようお願いします。

指導者　Fr. イバニエス（長崎黙想の会）主宰
　　Sr. 藤岡諒子（援助マリア修道会）
　　Sr. 高木百世（援助修道会）
場　所　玉名市中1925玉名カトリック教会内
　　聖母の家（玉名黙想の家）
期　間　8月1日午後6時夕食～5日昼食後1時解散
定　員　15名（参加者の人数）
参加費　¥16,000―（食費・指導者旅費など一切）
申込所　〒862 熊本市国府2―6―102
　　中野尚夫
　　TEL 096―371―4156

参加費を若干値上げさせて戴きました。御了承下さい。尚、次回から、冬期は12月30日6時夕食～1月3日昼食4日間、夏期8月上旬の8日間とさせて戴きたく、宜敷くお願い申し上げます。

玉名カトリック教会は国鉄玉名駅から徒歩で7分、玉名中央病院手前です。駅前にタクシーもあります。

エリザベト音楽大学
宗教音楽学科
グレゴリオ聖歌・ポリフォニー
バロックから現代までの
宗教音楽研究・実習・演奏

宗教音楽学コース
宗教音楽研究　宗教音楽史
宗教合唱　オルガン伴奏法　典礼学
宗教声楽コース
宗教音楽研究　オラトリア作品研究
発声法　ディクション　宗教音楽史
パイプオルガンコース
オルガン奏法研究　オルガン作品研究
即興演奏　オルガン建造学

募集人員　30名
女子学生寮完備
高・中教員免許状取得
受験講習会7月・12月

〒730 広島市中区幟町4-15
電話　082―221―0918
エリザベト音楽大学

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2―0646
〃 駅前5秒店 ☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641―4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641―7177
〃 ダイエー城野店3階☎922―5637

創立者の生誕百年記念を祝す
パウロ家修道会一丸となって

天気についていえば、八十以上の不快指数に悩まされた雨と高温多湿の六月二十五日だった。この日午前十一時から、福岡市中央区小笹四丁目の聖パウロ修道会福岡修道院で、パウロ家修道会（聖パウロ修道会、聖パウロ女子修道会・師イエズス修道女会）の創立者生誕百年記念祝典が行われた。

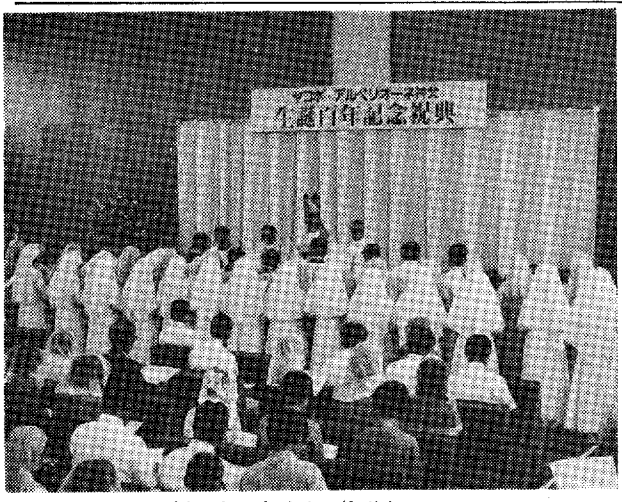
平田福岡司教と三十人余の司祭による共同司式ミサが、「きようこそ神が造られた日」の典礼聖歌の唱和にのって始まった。特に、ミサ中各修道会毎に誓願文を奉読した姿は圧巻であった。パウロ家会員を捧げている家族が遠く長崎からも姿を見せ、祝賀会場は約二百人の来客で一杯だった。

創立者ヤコボ・アルベリオーネ神父は、一八八四年四月四日、北イタリア・クネオのサン・ロレンツオ・デイ・フオッサーノで生まれた。六歳の時、小学校の先生から「何になりたいか」と問われて即座に司祭になりたいと答えたという。八十人の学友の中で、ただ一人の司祭志願者だった。しかし、この幼ない芽は大きく成長して目的を完遂した。その上、五修道会と四在俗舎を創立し、三十五ケ国に九千人の会員を擁する大集団を組織した。かれは早くから、マスコミの有力武器を認識し、現代人への福音宣教の有効手段として実践する道を開いた。

二年前から始められた列福調査が示すように、かれの偉大さはもっと深い所にあった。創立者が会員たちによくいったように、「あなたたちはオスチアから生まれたのだ」という聖体への信心であった。かれは毎日二時間の聖体礼拝を行い、師イエズスとの会話を深めていった。「恐れることはない私がともにいる。ここ（聖櫃）から照らそう、悔い改めの心を持ちなさい」これは、聖体のイエズスが礼拝中の創立者に述べたものといわれる。また、自己と会員の成聖への努力を片時も忘れなかった。聖人になることと聖体から大活力を汲み取ることが、かれの理想であったに違いない。「創立者を知り、知らせる年」と位置づけられた本年が、もっと多くの人に恵みの機会になるように祈る。

広報の日献金
（5月27日）

大名町	96,900	小郡	8,756	八王寺	10,000
浄水通	35,000	馬渡島	13,684	水巻	22,000
光ケ丘	55,615	直方	7,100	飯田川	11,160
大楠	11,381	新田原	51,262	荒尾	11,500
箱崎	15,000	行橋	15,959	入吉	24,562
笹丘	30,252	呼子	10,785	本渡	5,700
西新	29,077	佐賀	15,000	健軍	19,000
美野島	9,000	伊万里	7,616	帯山	11,000
茶山	13,279	鳥栖	9,549	水俣	5,000
高宮	53,000	武雄	4,000	大江	5,740
老司	25,170	多久	3,600	菊池	5,000
吉塚	21,078	松島	6,500	崎津	10,000
志免	3,074	門司	13,368	島崎	36,500
古賀	20,000	門司港	10,375	手取	33,156
二日市	18,000	小倉	92,335	八代	8,600
久留米	38,592	湯川	24,303	玉名	9,300
大牟田	15,464	戸畑	32,273		
今村	90,850	若松	8,915		
本郷	22,834	黒崎	38,600	合計	1,225,764



誓願文を奉読する修道者たち

カルメル会福岡修道院の本物の味

1.　修道院手造りのベルギ風ゴフレット
　　1箱30ケ入り　1,000円
2.　〃　アーモンド入りゴーフル
　　1箱9ケ入り　1,000円

下記のところで販売しておりますのでご利用ください。
福岡カルメル会修道院　福岡司教館新館
博多駅構内サンフラワー

共同体に生かす奉仕のつとめ
実り多かった役員研修会

新田原カトリック教会（主任・平田正喜神父）の役員研修会は、五月十九と二十日の両日、大分県国東のドンボスコ海の家で和気あいあいのうちに開かれた。

十九日午後、参加者一行二十四名が、マイカーに分乗し目的地に向かった。現地に到着後美しい海辺に誘われ、潮干狩りを楽しんだ。

研修会は午後六時、みことばの祭儀で始まり、聖霊の助けを祈り求めた。続いて懇親会が開かれ、親睦を深めるとともに一致の喜びを分かち合った。

翌二十日、早朝起床。朝食の準備も共同炊飯で助け合い、楽しい朝のひとときを過ごす。研修会に入り、「共同体の中の奉仕者」をテーマに指導司祭や教会会員長の講話に耳を傾けた。

又、沈黙の時を設け黙想する。もの音一つしない静寂の中に時の経つのも忘れて、神の語らいを聞いた。主のみことばは厳しく訴える。そこには、自己の反省……そして新たな決意があった。

最後に感謝のミサ、心一つに晴ればれした兄弟の顔と顔。研修会の成果は、つぎの共同祈願に表れていた「主よ、この研修会に参加する機会をお与えくださったあなたに感謝します。私たちが研修会を通して頂いた恵みを、共同体の中に生かすことができるように」

こうして一泊二日の小教区役員の研修会は、豊かな恵みのうちに終了した。（切江敏夫）

学生のオアシス　壱岐は招く

あなたの祈り、休息、行楽、探訪に歴史とロマンの宝庫がお待ちしております。

新鮮な魚介類も楽しみを加えてくれることと思います。島内には100人まで収容できる民宿があって、一泊二食（朝夕）4000円です。お出でご希望の方は下記までご連絡ください。お世話いたします。

811-51　長崎県壱岐郡郷ノ町今宮
カトリック教会　ヤノ神父
TEL　09204－7－0617

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石　理　大　素材
石　影　御　
他　の　そ
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

韓国巡礼紀行

服部鏡子

ウーハーパウロ！ビバパパ！パパマンセイ！これは、色とりどりの民俗衣装の百万の人で埋められた、ソウルの五・一六広場でのパパ様歓迎の大歓呼の声です。

一九八四年五月六日、四時半起床、八時に会場集合。十時開会の「アンドレア金大建神父と一〇二位殉教者列聖式」と「韓国カトリック開教二百周年」の記念式典が挙行されました。

説明も進行も祈りも式辞も殆んど韓国語で、理解の手がかりは全くありませんでしたが、その場に出席できたお恵みを感謝し心を一つにして合唱しました。予想された雨は驚く程の晴天となり、真夏を思わせる青空、焼けつく暑さの中で立ち続けることの肉体的苦痛は、長崎での雪の式典を思い合せてもむしろ当然のことで、喜び一杯で過ごしました。韓国カトリックの父といわれる金大建神父や数万人の信者に与えられた、当局の惨酷きわまりない処刑にみられる強い信仰に感激し、そこここに居られる民族衣服の方々に今更ら尊敬と同情の念を強く持ちました。そして、かつての根強い儒教国韓国で今や迫害もなく、キリスト信者は国民の四人に一人という増加ぶりに、隣国の同じ信者の一人として心から喜びました。

翌七日もやはり早朝の行動開始で、ソウル郊外のキリスト教信者処刑の地「切頭山」で、平山大分司教様のミサにあづかりました。ここは、改宗を拒んだ者を子供といわず女子といわず皆一様に首をはねて崖から川に投げ、激流が真赤になったという身の震うような受難の地です。

次に私共は、韓国キリスト教発祥の地である「天真」へ巡礼しました。踏み固められた今でも、登るも降るも危い巾〝狭い急な滑べる山道を、二百年の、まだキリスト教を知らない乍ら何かを求めて山深くのぼり続けた人があり、やがて数人集い密かに熱く祈り求めて、韓国カトリック発祥の地となったという処で、その日も チョゴリの裾を斜にからげた婦人たちが登ってきていました。

昼食はこの日も三時でしたが、食後広州に作られたゲッセマニへ喘ぎあえぎ登りました。頂上近くの岩の上に三人の眠る使徒の像があり、その上の方、しきりにうぐいすの鳴き声が身近にきこえる頂上に、身をつくし心をつくして祈っておられるイエズス様の像がありました。身一つでここまで登るのも苦しい深い山に、こういう聖地をしつらえた先輩信者方の涙ぐましい努力に頭が下りました。ハングル文字の解読をガイドさんが苦心してして下さったのによるとその中に「若いあなた方よそれでよいのか、目を覚せ、神のみ心をみつめよ」という意味のことが書かれてあると聞き、後輩を思う真剣な熱い心の叫びに強く胸打たれたことでした。

なお、この日の感激のピークはミリネでした。ここは、広州近くの安城にあります。韓国カトリックの柱、父と慕われながら、若くして処刑された金大建神父様の墓所です。敬愛して止まぬ師のなきがらを安全な所に葬るために、師を背負って故郷の山をめざして密かに帰る一人の信徒があった。その人は師を守るために昼間土中に埋めかくし山仕事をよそおい、暗くなると掘り起して師を背に道なき山路を歩きつづけ、やっと七日後に故郷ミリネの山にたどりつき無事に葬ることができたという感動の墓所でした。

そしてその近くに、師を背負って帰ってきた我が子をかばい助けた母の墓も小さくつつましくありました。師のお墓の草は病気を治したといわれ、参拝者にすっかり抜きとられていて一本もなく、豪山一帯に自生する山菜も薬効があるということで売買する人がありました。

その翌日八日はもう帰国の日ですが、明洞大聖堂でミサにあづかりました。ミサは、五日にフランチェスカ聖堂十五時平田司教様、六日にヨイド広場式典場パパ様、七日に切頭山聖堂九時平山司教様、八日に明洞大聖堂八時平田司教様でした。この一つだけでもすばらしいものなのに、この様に短期間に続けて頂きましたことは生涯最高の喜びに感じました。

巡礼に加えて頂いての感想を一言で申しますなら、「神の愛をみた」ということでしょうか。親心としてどの子にも愛の絆は強いものがありますが、逆境に喘ぐ子に対する慈愛には格別のものがあると思いますソウル市には旧、新教の非常に多く教会があって、夜の暗闇の窓外に十字架のネオンが赤く輝き、苦しむ人の心をあたたかく招き呼びよせているさまは、神の深いお計らいによる愛の守りそのもののように思いました。式典に集まった民族衣装の人々の顔は明るく輝き安穏（アンニョン）そのもので、老いた人の深い幾筋もの皺に過去の酷かったであろう長い逆境を偲ぶ時、一応順境にある兄弟の一人として神のお喜びを思い幾度も涙ぐみました。逆境それは超自然的には順境であるかも知れず、順境は超自然的にはむしろ逆境にあたるのかも知れず、神の愛のお計らいは深くてわかりませんが、その置かれた環境の中で耐えて望んで信じて証ししたこの国の人々に、心から尊敬と祝福を送りました。また、この訪韓巡礼に参加の機会を与えられましたことに、最大の感謝をしております。

（大名町教会信徒）

香典返し

☆カテドラル建設資金に
相良陸さまより金一封
（故相良延さんの香典返し）

夫婦の新たな出会いを求めて

—マリッジ・エンカウンターへのお誘い—

家庭生活の中心である夫婦の新たな出会い、さらに深い関わりを目指すマリッジ・エンカウンターの集いが下記の要項で開かれます。すでに世界50数ケ国に広まっているカトリック教会内の運動のひとつで、年齢に制限なくご夫婦でどなたでも参加できます。

記

日　時　7月27日（金）午後6時～
　　29日（日）午後6時（二泊三日）
場　所　御受難会福岡黙想の家

詳しく知りたいこと、またその他のご案内については下記の者にお問い合わせください。

深堀純・邦枝（大名町教会信徒）
814-01　福岡市城南区神松寺3-7-31
TEL　(092) 801-5351

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5—4—12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272—0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円

祈禱の使徒会
（一般）聖体の秘跡と家庭生活
（布教）モザンビークにおける召命

消え行く四十六年目の建造物
白アリと老朽化に抗しがたく
年末着工予定か司教座教会

歴間のうわさを背に生き延びてきた大名町司教座教会は、お役ご免のときが近づいたようだ。大略決定した計画書によれば、この教会の解体工事はことしの終わりか来年の初めになるらしい。勿論、解体後直ちに新築工事に入る。やがて、レンガ造りの教会も現在使用中の教会も姿をかくす。明治と昭和十年代の建物が同時に失くなることには、惜しむ声が高いことを知っている。自分の人生との強い関わり合いで、教会との別離に涙ぐむ信徒も少なくあるまい。でも、新生児誕生の喜びを期待し産みの苦しみを捧げなければならない。

レンガ造りの教会は、一八九六年（明治二十九年）、三代目主任であったベレール神父（一八九二—一九一九年在任）によって建設された。かれは、二十七年間司牧することになる大名町教会のために、一八九二年（明治二十五年）第二代主任ルッセル神父が購入した西側半分の敷地に建てた。建築専門家評では、建築市学的に捨てがたい価値をもち、その解体が惜しまれている。

現在の教会は、一九三八年（昭和十三年）、十代目主任フランソワ・ボア神父の手になる。戦時色が年毎に濃くなっていた時代、外圧が厳しかった折だけに、これほどの立派な教会を建設したことはただただ驚くばかりである。現教会の敷地（東側半分に当たる）の購入は、一八九八年（明治三十一年）にすでにベレール神父の努力によって実現していた。また、教会と同時に現在の司祭館も建てられている。でもかれの苦心作も、五十年近い歳月の流れと白アリの天敵の前には日旗を掲げざるを得ない破目になった。日益しに崩れ行く教会の側壁などを見る者にとって、人身事故の危険を感ずるほどに深刻な状態になってきた。

大名町教会の敷地面積は六八一・二七坪で、そこに延建坪八四〇の建物が占める見通しになる。SRC造りの四階建てに地下一階が含まれる。エレベーターは身障者用九人乗り一基が用意され、地下一階はその機械室となる。一階には、聖パウロ書院、多目的なホール、事務室やW・C。二階には、大小礼拝堂（七八〇人席可能）や司祭室。三階には、二〇〇人収容できるギャラリー、会議室、司祭室、電気室。四階が予備室や空調機械室に計画されている。屋外駐車場には、四十台の駐車スペースに加えて一時的には車路に二十二台駐車可能となり、行事のためには六十二台分駐車まで考えられている。手前みそになるが、このカテドラル計画書はよく考えられ、控え目に設計された建築物との折紙つきという。

大名町司教座教会は、教区の母（中心）となる教会で、司教の公式ミサその他の教区行事がたびたび行われる場所である。いうなれば、教区民一致の証し、シンボル教会とみることができる。一小教区の教会というよりも、教区民みんなの教会に考える方が妥当である。建設資金の調達案（試案）として聞く所では、大名町教会の分担金一億八千万円～二億円、大阪の篤志家二千万円、教区本部三億円、教区内の小教区教会、付属幼稚園、各修道院の協力金二億円、合計七億円の工費が計上されているようだ。厳しい要求?に取られ勝ちであるが、天国のための貯金と思ってできるだけの努力を重ねようではないか。大名町教会（信徒実数六百人）の小教区創立は、一八八七年（明治二十年）頃のようだ。当時の初代主任ラゲ神父（一八八七—一八九〇年在職）は旧橋口町（天神四丁目）の仮教会を拠点に、東名島から旧電車道沿いの万町や唐人町にと、福博の町を東や西にかけめぐり、活発な宣教を試みた。とくに講演会形式の直接布教は効果的で、在福三年にして三十六人の信者を作った。ラゲ神父の日本語秘書に、洗礼志願者がいた。この青年の父親は、太宰府神社の神官の一人で重病に臥せていた。かれはその父に、カトリックへの改宗をすすめたが反対された。しかし、死の直前受洗し大名町教会の洗礼台帳に名を記されている。明治二十三年十一月の出来事である。

この教会の歴代主任を紹介しておく—ラゲ、ルッセル、ベレール、ベルトラン、ドマンゼル、ジョリ、ドルエ、レゼー、ペノアとエフ・ボア、伊東誠二、平田正喜、草木保の諸師で、現主任は十三代目になる。前述のベレール神父が教会を建設したとき、故国フランスの、かれの小教区（パリの勝利の聖母教会）から、莫大な寄付金と一緒にその教会の聖母像と同型の聖像が送られてきた。現教会の本祭壇の上に置かれている聖母像は、正真正銘の、往時のいわくつきの記念物なのだ。

★カテドラル建設資金に
一金 五十万円也 安部辰信さま
（故安部辰五郎氏の香典返し）

八月聖体礼拝当番教会

八月五日	門司
八月十二日	門司港
八月十九日	戸畑
八月二十六日	若松

微光

終戦以来、戦争を憎み平和を求める声は、国内に絶えることがない。一年中平和は叫ばれているが、ピアニッシモの域を出ていないような気がする。ところが八月になると、目を覚ましたように騒々しくなってくる。猫も杓子も平和の大合唱に駆き込まれ、暑さも加わってギラギラの平和ページェントが展開する。これが平和を愛好する日本の姿と断定していいのか、つくづくと考えさせられる。▼当今かなりの日本人は戦争を知らない世代に属している。戦争の痛ましさは、テレビ・映画・書物を通して多少の体験を持つが、肩で感じたものではないであろう。戦争を一つのショーとして傍観し、胸のつかえを下す者もいるのではあるまいか。戦争を遠い国のできごと決めつける人には、恐怖よりも娯楽性が先立つに違いない。そこでは人間の生命が、銃弾と同様消耗品に見えてくるから不思議である。生き残りはあなたか▼戦争は人類の必要悪、と思う者も少なくないであろう。心静かに、三年前の、現教皇の広島での平和アピールを反省してみよう。「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死そのものです。」また、「私が広島訪問を希望したのは、過去をふり返えることは将来に対する責任を担うことだ、という強い確信を持っているからです。」と述べている。平和はゲームではない、十字架とともに豊かに育てる春ではないか。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

贖い主に心の扉を開け
現教皇がカリスマ刷新会議で

わたしたちは今までいく度か、この紙面を借りて祈りの集いへのご案内をして参りました。今回、教皇さまのメッセージ（橋本力師抄訳）をご紹介します。

このメッセージは、四月三十日から六日間行われたローマでのカリスマ刷新国際リーダー会議で、百七ケ国の七百余人の指導的立場の代表リーダー（日本代表六人）を前に親しく賜わったものです。

★教皇のメッセージ★

カリスマ刷新リーダー会議へ

①主キリストの復活の喜びのなかで、皆さん！ようこそローマにお出でになりました。ローマでの皆さんの会議は、教会が、御子キリストの犠牲と教会を新しい命で満たす聖霊のお働きのために、御父に感謝を献げている、ちょうどその時に行われようとしています。

私は、復活祭メッセージで「贖いの聖年の扉は閉められようとしていますが、復活で開かれたキリストの墓は、いつでも誰にでも開かれている」と話しました。復活であり生命である主イエスは、罪と死の克服によってご自分の扉が、いつも開かれていることを知っておられます。しかし、多くの人はキリストに向かおうとはしておりません。それで私は、カリスマ刷新の皆さんに、私と一緒に世界の人々に向かって「贖い主に心の扉を開いてください」と叫び続けるようお願いします。

世にキリストを知らせることは教会の使命です。皆さんのグループや共同体が、この教会の使命をよく果たすように、とくに、教区や小教区に根を下ろすことが求められます。

②贖いの聖年は、今一度教会の奥義に触れる機会を与えました。それは豊かなキリスト教生活をもたらす唯一の泉です。また、聖年の機会に、教会は秘跡、特に聖体とゆるしの秘跡の重要性を再確認しました。これらの秘跡において神のみことばが完成しますので、秘跡は主イエスを通して与えられる最もすばらしい賜です。わたしは、皆さんが秘跡を会議の中心テーマにしていることを高く評価します。教会共同体においての主イエスとの個人的出会いこそあなたがたの一番霊的に励むべきことで、非常に大切なことです。

③教会を生かし導いている聖霊を受け入れることによって、主イエスとの一致に導かれます。これは皆さんの力になっています。

しかしこの神の賜物は、注意を怠れば損なわれるものです。従って全教会の中心ローマで、しかも贖いの聖年の余韻が強く感じられるこのような時期に行われる国際会議は、非常に重要な意義をもつものです。私は皆さんが私のもとに集まってこられたことや会議のテーマを知り、秘跡における救い主との出会いにいつも立ち帰る姿勢を見ることができます。神が教会を通して皆さんにもたらす秘跡の恵みを心から受け入れるときこそ、現実にいつもキリストと出会うことができ、「わたしの愛にとどまりなさい」との主の愛の招きに応えることもできます。

④刷新され続ける教会生活のなかで、聖霊は皆さんを贖い主キリストの証し人に変えていく力をもたらします。

間もなく、私たちは聖霊降臨を祝います。あの日、使徒たちの真中に聖母がおられました。教会の母となられたマリアが、特に皆さんの母となられますように。教会における刷新の鑑となりますように。（文責・福岡祈りの集い）

聖ペトロ聖座献金
（6月24日）

大名町	96,600	馬渡島	11,000	水巻	27,050
浄水通	10,000	直方	9,000	飯塚	16,000
光ケ丘	51,677	新田原	39,156	佐賀川	15,000
箱崎	15,000	行橋	10,926	田取	12,000
笹丘	21,150	呼子	12,939	手荒尾	12,000
西新	34,148	唐津	14,000	本渡	7,000
美野島	7,900	伊万里	4,840	健軍	10,000
大楠	3,000	鳥栖	16,134	大江	12,000
茶山	22,790	武雄	2,500	崎津	4,460
高宮	61,900	多久	2,870	島崎	16,000
老司	31,166	松島	8,200	玉名	44,500
吉塚	17,204	門司	12,284	菊池	8,500
志免	3,371	門司港	10,520	八代	13,500
古賀	40,872	小倉	98,845	武蔵ケ丘	10,400
二日市	27,000	湯川	27,506	豊津	9,492
久留米	54,545	戸畑	57,972	能古島	7,660
今村	111,442	天神町	21,000		8,755
本郷	24,758	黒崎	48,900		
小郡	6,986	八王寺	4,500	合計	1,288,918

飛脚

★視力減退のため入院加療中であった茶山教会主任堤要吉神父は、七月二十五日、四十日ぶりに元気な姿で退院した。

★司教館憩いの家で静養している平田恕五郎神父（七十九歳）は小康状態を続けているが、高齢のこともあり十分の看護を必要とする。福岡教区成立後の邦人司祭第一号で、昨年司祭叙階五〇年の祝いを行った。

★昭和五十五年十月から入所している長崎市三ツ山町の特養老人ホーム（ときわ荘）の深堀仙石衛門司教（元福岡教区長）は、高齢にも拘らず至極元気に過ごされている。明治二十七年六月生まれの卒寿であるが、話し声は六十代の若さに聞こえる。少々足の弱さが気になる程度であるが、百歳に向かっての前進を祈るとともに時々のお見舞を心がけたい。

★七月二十七日（金）午後六時半から、福岡市大名町カトリック教会（旧聖堂）で、フィリピン・イサベラ教区長ブルガナン司教の講演があった。フィリピン国民の貧しさへの理解と援助を求めつつ、日本企業の公害による貧しさの加速化防止について教会間の連帯を訴えた。フィリピンの正義も平和問題に関心を寄せる四十人程の聴衆は、司教の飾り気のない迫真の話しに共鳴し、私は何をなすべきかを決意した様子がありありとみえた。

★八月四日～五日、熊本市内の青年会の合宿がある。また、八月十六日～十八日まで、恒例の熊本合同少年少女練成会が開かれる。

★主日や守るべき祝日の労働の許可について――最近働きバチといわれる日本社会の影響か、主日などの労働の許可を教会に願う信者が少なくなったのは残念だ。すべての教区司祭は、教区長から委託された権限によって、主日などの労働の許可を信者に与えることができる。主日に労働に従事する信者は、ミサにあずかり、司祭の許可を願って職場に向かうように。

第21回カトリック社研セミナー

学校教育、これでいいのか
――カトリックの教育理念を求めて――

とき　1984年8月24日～26日
ところ　横浜市中央区山手町88
　　横浜雙葉学園
参加費　4,000円（資料代を含む）
　　当日会場受付でお納め下さい
締切日　8月15日　ただし宿泊ご希望の方は宿泊費（ホテル1泊4,700円）そえて8月10日まで必着するようにお申し込み下さい。
申し込み先　カトリック社会問題研究所
　　セミナー準備委員会
〒160 東京都新宿区北新宿1―33―20
TEL (03) 362―4659

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役 社長　田中　清
取締役副社長　渡辺勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2―0646
〃 駅前5秒店 ☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641―4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641―7177
〃 ダイエー城野店3階 ☎922―5637

教区司祭評議会の新メンバー
任期満了に伴い選出される

このほど任期満了による教区司祭評議員の選挙が各グループ毎に実施されたが、つぎの人たちが選出され司教の任命をうけた。

一、グループ別に選出された者

イ、邦人教区司祭六人

山川　辰幸（西新主任）
深堀　勝人（小倉助任）
松井　忠之（行橋主任）
青木　　保（大名町主任）
平田　正喜（新田原主任）
平田　　敬（戸畑主任）

ロ、パリ外国宣教会二人

ベルトラン（八王寺主任）
ガイヤール（門司主任）

ハ、聖コロンバン会二人

デイキン（同会九州地区長）
ライル（玉名主任）

ニ、ミラノ外国宣教会二人

ガザルデイ（佐賀主任）
スカットロン（唐津主任）

ホ、その他修道・宣教会二人

鈴木　忠一（御受難会院長）
ドワイヤー（聖アウグスチノ修道会管区長）

※九月の選挙まで留任する

二、職務上属する者

平田　三郎司教（教区長）
山田　成章（司教総代理）
堤　　要吉（教区会計）
山内　清海（大神学院長）
竹森　　勇（小神学校長）

※新評議員の任期は三ケ年（規約第五条）、七月二十日から発効する。なお、グループ別の選出の中でその他の修道・宣教会二人の選挙は、都合により九月中旬に行われる見込みである。したがって規約第五条により、従来のメンバーが新評議員の選出まで職務を継続する。

教区青年集会についてのご案内

“ハレルヤ地にあって主をほめよ。若者も、乙女も（詩148）”

福岡教区若人達へ。

このたび、教区青年集会が久しぶりに催されます。我が教区の若人は今どうしているのか、主の働き手としてこれからどうあるべきか等、現状と未来を展望しつつ、共に考えたいと思いますます。

'80年全国集会であれ程燃えあがった私達の霊的炎、しかし、少々弱々しくなってしまったその炎を、今一度大きく明るくしたいものです。

記

日　時　1984年9月30日（日）9：00〜16：00
場　所　司教館会議室
議題　“これからの青年達の歩み”
　1．85年「青少年」年にあたり、青年大会を開催することについて
　1．教区、地区レベルの青年の集いについて
　1．青少年司牧情報センターについて
参加費　500円（但昼食代）宿泊可（但9月29日(土)）
連絡先　世話係司祭　下町豊重
　TEL 092-531-1821　小神学校
締切日　9月15日　※各教会で参加希望者をまとめてご連絡ください。

福岡教区青少年司牧担当司祭　代表　渡辺隆義
TEL 09427-2-3256　小郡カトリック教会

会合と催し

★平田司教
8月15日　大檜墓地ミサ14時
19日　馬渡島堅信
26日　呼子教会堅信
★福岡黙想の家
8月4〜9日　聖母の騎士会黙想
9〜15日　マリア会
16〜19日　イエズス村集会
19〜24日　サレジオ会黙想
25〜28日　カルメル在俗会

聖母の被昇天祭
（八月十五日・水）

マリアさまの人生の勝利は、神のみ旨への絶対的な服従と実践にあった。祈りと心の静寂のうちに絶えずみ旨を探索し、平和の元后の名に憲まれたのであろう。平和とは、神と自己、自然と自己との調和の中に生きている状態であって、罪への勝利が要求される。キリストの復活の平和も、人類の罪の精算をすることによって、復活の喜びに参与させる神との一致を見出すことができる。

八月命日の司祭

▼エミール・ベノア神父（パリ外国宣教会）一九六二年八月六日元門司港教会主任
▼パチフィコ・マルケシーニ神父（フランシスコ修道会）一九八〇年八月八日元熊本待労病院付
▼アルベルト・ブルトン司教（パリ外国宣教会）一九五四年八月十二日元福岡教区長
▼ジョン・オーサリバン神父（コロンバン宣教会）一九八三年八月十二日元熊本地区長
▼ミカエル木村義己神父（ブラジル・マリンガ教区（一九六七年八月十四日元馬渡島教会主任

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石理影の
他大御そ
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

秋の結婚準備セミナーにより多くのカップルの参加を

シーン・エム・ライル

「家庭の福音化」がテーマになった、一九八〇年のシノドスから四年経ちました。この間、翌一九八一年には、このシノドスでとりあげられた「家庭の福音化」について、ヨハネ・パウロ二世は「家庭に関する教書」を出された。

この教書の家庭に関する司牧の中で、結婚準備に関することとして——

○現代社会において今最も必要とされるのは、結婚および家庭生活のために若者が養成されること。

○将来の責任を担う若者の正しい養成のために、教会はこのことを自らの責務として力を入れるべきこと。

○若者の養成について、実際の経験からいえることは、家庭生活のために、よく養成された若者は、養成されていない若者に比べて、家庭生活を充実させている。

○したがって教会は、結婚準備に当たり、もっと徹底的な、集中的な養成プログラムを普及させる必要がある。

○こうすることによって、結婚した夫婦は、将来に起こる困難な問題をもっと積極的、肯定的に受けとってのりこえ、円熟した家庭生活を営むことができるであろうと述べておられます。

このパパさまのご要望と相まって、日本の社会も、若いカップルが健康で幸せな家庭を築くために養成されることを必要としています。なぜなら、日本の離婚率も、年を追って上昇するばかりです。昨年は十七万八千組（一日平均四八八組、二分五七秒毎に一組離婚する）になりました。これは戸籍の上での統計ですから、別居夫婦・愛情の冷めきってしまった夫婦なども入れると、不幸な結婚はもっと多くなるでしょう。

これらの出来事は、さらに多くの人を不幸への巻添えにしてしまいます。父子、母子家庭の増加、自殺・心中、未成年者の犯罪、家庭の堕落、アルコール・麻薬中毒などが物語るように——。

このような現代社会にあって、若者が、結婚生活に必要な、結ばれた二人の道の価値観の確認と意識づけ、励まし合いの中で、健康で幸せな結婚へのスタートが切れるよう、もっと徹底的・集中的プログラムによって、かれらの幸せな結婚のためのお手伝いがしたいのです。スタッフ一同このような願いと祈りをもって、今、秋の結婚セミナーを準備中です。

左記によって行います。結婚しようというカップルであれば、一般の人も対象になります。周りにこのようなカップルがいらっしゃるようでしたら、カップルの参加を呼びかけてくださるようお願いいたします。もっと多くのカップルが、自分たちの結婚の心の良い準備として参加されるよう心からお待ちしています。

記

秋の結婚準備セミナー

福岡会場——福岡市中央区浄水通三九福岡司教館内聖いの家

日時——八月二十二日（水）、二十四日（金）、二十九日（水）三十一日（金）、九月五日（水）七日（金）、午後七時～九時。

熊本会場——熊本市上通町三一三四手取カトリック教会内信徒会館二階ホール

日時——九月十二日（水）、十四日（金）、十九日（水）、二十一日（金）、二十六日（水）、二十八日（金）、十月三日（水）、午後七時～九時十五分まで。申し込みは当日会場でも受付けます。

（筆者は聖コロンバン会家庭福音化部所属、熊本・玉名教会主任）

第4回出会いの集い

日　時　9月2日（日）9時30分～16時
場　所　福岡市城南区西片江1-17-63
　　福岡黙想の家
費　用　中食代として ¥1,000
主　催　カナの会（結婚斡旋の教区組織）

大楠教会納涼の夕べ

日時　八月十五日午後六時
　　被昇天祭ミサ
　　各種演芸・催しもの
場所　福岡市南区大楠二丁目
　　大楠カトリック教会

教会主催のコミュニティ作りであるが、教会内外の参加者をお待ちしています

弱視のこどもにも読書の喜び

拡大写本グループの協力で

暗い世相が深まるにつれ、輝き出すのが善意の協力者（ボランチア）の活動ではあるまいか。神の創造の社会は、人間の自由の失敗のためとはいえ、善と悪のバランスの上に立っているような気がしてならない。豊かな社会の片隅に小さく生きている人たちへの気くばりと手助けを神のみ旨と受けとめて、生活の充実を果たしている健気なグループの存在を無視することはできない。

カトリック学校・修道院・信徒が協力している町の善意活動グループに、福岡はならび会（会長・三沢マサ子〒八一六春日市若葉台東三丁目三五電話〇九二一五〇一八六二二）がある。この会は、視力の弱いこどもたちに、字を大きく書いた拡大写本を手作りしている。弱視の子どもたちにとって町の書店にあふれている立派な美しい絵本や楽しい物語りの本は、文字が小さいために身近な娯楽になっていないようだ。この気の毒なこどもたちにも、一般のこどもと同じように、容易に疲れずに読書の楽しみを知っていただきたいとの願いをこめて始められたものと聞いている。

完成した拡大写本は、弱視学級や盲学校に利用されている。誰にでも手軽にできる仕事ということで、新しい会員・賛助会員を募集し協力を願っている。会員は毎月二百円の会費を負担しながら、自宅で写本をし、例会に持ち寄り仕上げる。賛助会員は、写本ではなく経済的援助（一口月額二百円、何口でも可）をもって会の運営に協力していただくことになる。社会を照らすのは、あなたの灯だ。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5—4—12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272—0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) ヨーロッパ諸国の教会
(布教) 回教との対話

教会活動の方向転換の必要性
福青宣教は社会文化の変革も
日本の教会の基本方針と優先課題から

日本司教団は、これからの教会活動の軸として、「日本の教会の基本方針と優先課題」を、日本の教会全体に対する共同責任に基づいて決議した。教会の使命である福音宣教に、司教、司祭、修道者信徒が一丸となって進むために、基本的な方針を指示したことは歓迎されるものであろう。

一、基本方針

1 カトリック者のキリストを伝える使命

カトリック者は、「全世界に行き、すべての者に福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16・15)というイエスのご命令を実践し、一人でも多くの人々に洗礼の恵みを分かち合う責任を担っています。「あなたたちは行って、すべての国の人々を弟子にしなさい。父と子と聖霊のみ名に入れる洗礼を彼らに授け、わたしがあなたたちに命じたことを、すべて守るように教えなさい」(マタイ28・19—20)という使徒たちへのご命令は現代の日本の教会の司教たちにもそのまま当てはまると考えています。

すでに洗礼の恵みにあずかった人々は、ことばと生活を通して、他の人々にキリストを伝え、そこからキリストの福音の新しい伝え手を見つけなければなりません。

そのために、おのおのの共同体は、まず、神のみことばをいただき、そこから霊的な力をくみ取ることが大切です。み言葉は、私たち自身のためだけにではなく、それを伝えるためにいただくものなのです。

そして、「まだキリストの食卓を囲んでいない人々」がそれぞれどんな苦しみ、悩みまた希望を抱いて生きているのかに耳を傾け、み言葉を信じる自己体験を語り、キリストを紹介するという対話を通して、かれらがついにはそのキリストを受けいれるように導くことこそがカトリック者の使命であることを改めて強調したいと思います。

その実現のために、教会活動を思い切って方向転換する必要があるという信念に達しました。つまり、教会内の行事や活動のみにとどまったり、一方的に要理を教授するというのではなく、地域や自分たちが関わる多くの人々とともに、キリストを見いだしていく対話の訓練をすることが必要なのではないかと思います。これこそが福音宣教であるといっても、過言ではないからです。

2 社会の福音化のためにある教会

一九七四年のシノドス(世界代表司教会議)は、教会の中心的使命である福音宣教が、単に個人の回心のみではなくその内的な回心が、社会と生活様式を含めた文化にまで影響を及ぼすものでなければならないことを指摘しました。聖書は、罪や悪が単なる個人の問題ではなく、人間関係に及ぶものであることを初めから教えていましたが、現代人は、社会が複雑化するにしたがって、このことを以前にも増して意識するようになりました。そして、解放や救いをのべるとき、それが人々の考え方、価値観、関心事、生活様式にまで及ぶものでなければならないことを痛感しています。福音であるキリストの力によって。あらゆる悪の根源である罪から解放され、社会的偏見、差別、抑圧、搾取を生み出している社会や文化が変革されるよう働くこと、そ真の福音宣教である、と改めて強調したいと思います。

しかし、これは、既存の社会や文化を破壊し、なにか別のものをうち建てることを意味しているわけではありません。キリストの福音が、日本人の心情や精神性にまで達することが大切であることを言っているのです。そのためにはキリスト教を頭で理解するだけでは足りません。キリストと現代人であり日本人である私たちとがほんとうに出会い、一つになることが求められるわけです。

そこで、司教団は、社会や文化の中にある福音的なものを見いだし、それらをさらに完成に向けて育て、同時に福音に反するものが変革されるように、キリストとともに「小さな人々」(マタイ11・25)になることを目指したいと思います。

キリストご自身が第一に「小さな者」になられ、ご自分のような「小さな人々」のうちに住まい、み国の奥義を示し、み国を与えるのがおん父のご意志であると言われたからです。福音と私たちの出会いの場はそこにしかないと思います。

3 キリストの霊による一致

以上の二つの基本方針は、あたかも両車輪のようにお互いに補い合うものであり、福音を伝えるという基本的使命において一つになっています。したがって、強調点はそれぞれ異なりますが、キリス

(第二面へつづく)

九月の聖体礼拝当番教会

九月二日	湯川
九月九日	飯塚
九月十六日	水巻
九月二十三日	直方
九月三十日	大神学院

微光

国民の祝祭日を年に十二回楽しんでいるが、その趣旨が生かされているだろうか。一日記念行事になり易く、ワッと騒いだお祭り気分で幕となるのが常のようだ。祝祭日にはそれぞれの趣旨が定められており、その日を起点としてこれからの一年を趣旨に沿った暮らしに努力していくのが狙いではあるまいか。同様に、家庭という共同体の一員としての見直しの日に利用したいものだ▼九月十五日に「敬老の日」を迎えるが、この日だけお年寄りが大きく見えるのでは困りものだ。いうまでもなく、いまの私の幸せ・喜びはかれらの遺産のおかげではないか。かれらが汗水たらして営々と築いてくれたものの上に、今日の私の生活が存在するのではあるまいか。私の生活が存続する限り、お年寄りを大切にし、気くばりを忘ってはなるまい。要するに、別の世界の人たちだと冷やかに見るのではなく、身近な助言者・生きた教材と理解したい▼老人への仲間入りは六十五歳からという。一般に、老人はじめじめした厄介者に考えられ勝ちだが、肉体的にはともあれ、精神的には十歳位若返った気分で自分を律する生活をしたいと思う。老人の精神的な若返りは、自他ともに明るい環境を作る。「私たちから慈しみを受けているその人たちから、私たち自身も同時に慈しみを受けていると確信する時だけ、本物の愛が実行できる」(神のあわれみの回勅)。老人の日に思う

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡(092)471—0245(代)
管制センター TEL 福岡(092)471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

(第一面から)

トのご命令を実践するという唯一の使徒職にともにあずかることなのです。同じキリストの霊に生かされ、お互いに一致協力しながらこの共通の使命に生きることが大切なのです。

二、優先課題

1　宣教のための共同体育成

十七教区が一体となって、日本の教会として当面取り組まなければならないのは、上述の基本方針を実現するための実践的養成ではないでしょうか。そして、どの教区も、どの小教区も、み言葉を聞き、それを喜びとして語る共同体になるとはどうしたらよいかを真剣に考え、実践することを、他の何にも増して第一の課題としたいと思います。

この課題が、まずカトリック者が一人ひとり、各小教区、各教区のそれぞれの回心と努力によって達成されることは当然ですが、それとともに、他の小教区、教区とも手をとり合い、助け合って努力することも大切です。

このような具体的な取り組みにより、宣教共同体としてのプログラムが出来ればと願っています。その意味で、私たち司教団も、今までの各方面での努力を積極的に評価し、お互いに学び合い、深め合えるような機会をできるだけ多く設けたいと思います。

2　修道会、宣教会、カトリック諸事業体との協力態勢

司教団は、教区の責任者である司教と修道会、宣教会、カトリックの諸事業体との関係についても率直に反省しなければならないところがあることを認めます。これらの方々は、教育や福祉という大きなパイプで現在の日本の社会につながれています。それぞれが、それぞれの考えと方針に基づいて、役割を果たそうとするのは当然ですが、それに加えて、日本の教会の一員として、司教を中心とした宣教共同体で（第二バチカン公会議〈司教司牧任務教令〉28頁）この基本本針に沿って協力ができるように、態勢作りを具体的に実現していこうではありませんか。

3　一九八七年福音宣教推進全国会議の開催

私たち司教団は、日本の教会がすべてカトリック者によって構成され、福音を宣べ伝える使命をただ司教団のみが担うものではないことを知っています。

そして、日本の教会の神の民がその姿を具体的に表現し、また責任を分かち合うための場として福音宣教推進全国会議を設置し、それへの参加を呼びかけたいと思います。

この会議は、日本の教会の福音宣教についての中・長期展望と方針を審議、司教協議会に対して提案・答申するために、全国の信徒、修道者、司祭の代表者が司教団と共に関くもの、というのが司教団の構想です。司教団の執行機関である常任司教委員会の指導のもとに、司教・司祭・信徒からなる議長団を組織して準備・運営にあたりますが、その会議に至るプロセスを大切にし、代表者だけのものではなく、全共同体ものにしたいと願っています。

司教団は、この全国会議の第一回を一九八七年に開催することにしました。そのために、八五年には、上記基本方針について、教区レベルでは司教が司教団、修道会、宣教会と、小教区レベルでは司祭が信徒と話し合い、八六年には、教区ぐるみ、あるいは教会管区ぐるみでの意識の高揚と学習に取り組みたいと考えています。このようにして、福音宣教のための一致した動きが始まるとき、日本の教会は宣教共同体としての第一歩を踏み出すのではないでしょうか。

父である神が、私たち日本の教会を祝福し、私たちの歩みを導いてくださるように、ともに祈りつつ、「基本方針と優先課題」の実現化を目指して前進していこうではありませんか。

一九八四年七月五日

日本カトリック司教協議会
常任司教委員会

カテドラル建設資金に

一金　三十五万円也　柴田　ハツさま
（故柴田義隆氏の香典返し）

一金　三十万円也　宇都宮ミツルさま
（故宇都宮正氏の香典返し）

一金　十万円也　赤星　哲也さま
（故赤星セイ様の香典返し）

アガタ畠山シゲさん

（畠山七郎師の母堂）

八月二十一日午前八時十五分広島の尾鍋外科医院で心不全のため永眠した。九十歳。

葬儀ならびに告別式は、翌二十二日午後一時から、福岡市早良区城西三丁目の西新教会でしめやかに行われた。平田司教や畠山師の外二十数人の司祭による共同ミサに多数の信徒の参加があって、生前の故人の遺徳を偲ばせた。

故畠山シゲさんは早く夫に死別しながら、長年大名町教会の伝道婦として奉仕し、五人の子を立派に育てあげた。中でも、四人の男の子から司祭をと考えて三人まで神学校に送り出し、三人目にして所期の目的を全うした。また、信仰心が篤く、平常のミサに日課のように参加して祈り続けていた。数人の司祭による共同ミサに、二百五十人の信徒が参加し祈った。また同じ日午後一時半から、カトリック・プロテスタント有志による平和を建設する集いが、大名町カトリック教会で開かれた。靖国神社の国家護持や国会・内閣の関係者の大挙参拝などの右傾化の動きに、戦争反対、平和を守る抗議運動と講演があった。講師は、日中戦争に軍医として参加し、二人の弟を戦争で失っている小川武満氏であった。講演後二百人の参加者は、「公式参拝を許すな」などと書いたプラカードや横断幕を掲げて、二キロにわたる天神一帯の街頭を抗議パレードした。

★八月二十二日から開催中の結婚講座（シーン・ライル神父指導）は、司教館新館ホールで毎週二回（水・金）午後七時から。対象は婚約者、結婚を前提に交際している人、最近結婚された人となっている。内容と日程は、八月二十二日夫婦愛を育てる新婚時代、二十四日カップル間に豊かな対話、二十九日家庭経済、三十一日妊娠と出産、九月五日夫として父として妻として母として、七日夫婦の価値観、の講話とカップル対話・グループの分かち合いで終わる。毎回十五、六人の熱心な受講者に、主催者側も張り切っている。

神学校援助資金として

一金　百万円也　畠山春秋さま
（故畠山シゲ様の香典返し）

九月命日の司祭

★アナトール・ヒューゼ神父（パリ外国宣教会）一九四四年九月十五日元福岡司教館

★ピオ・オジョニ神父（ミラノ外国宣教会）一九八二年九月十七日元ロザリオの園付司祭

★ユスチン・ヴィオン神父（パリ外国宣教会）一九六九年九月二十九日元福岡司教館

★ピエール・コトレル神父（パリ外国宣教会）一九二八年九月三日熊本地区で宣教活動

飛脚

★八月五日、福岡カトリック平和の巡礼団が広島に向かった。一行は一泊二日の予定で、当地での平和祈願ミサや行列に参加した。とくに今回は、多数の司教方も見えて盛大な催しとなった。恒例の小グループの巡礼団であるが、平和の炬火のタキギ一本の役目を果たしている。福岡市中央区大濠一丁目の松浦健次氏が、献身的にこの巡礼団の世話係に当たっているのはありがたい。

★八月十五日午後二時から、大檀墓地（納骨堂管理委員会主催の墓前ミサが行われた。平田司教外

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃 駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641－4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃 ダイエー城野店3階 ☎922－5637

マタイによる福音書を想う
その使徒・福音記者の祝日に

かなり早い時期に存在したアラム語のマタイによる福音書のテキストは、現在はない。それに手を加え新規に編集したのが、今日残っているマタイによる福音書である。著者は、マルコ福音書や他の福音記者が採用した福音の断片集をよく知っており、独自の資料とともにその福音書を彩っている。マタイは、他の福音記者には入手できなかった彼独自の資料を持っていた。

著者はマタイ自身か、または、神感を受けた他の後継者であろうか、断定は困難のようだ。第一福音書（マタイ福音書）をマタイが書いたという最古の証言は、ヒエラポリスの司教パピアスによるものである。パピアスの証言ばカイサレアのエウゼビウスによって伝えられているが、そこから確定的な結論を引き出すことは不可能に近い。「マタイはヘブライ語の方言によって説話を配列し、それを各人ができるかぎり翻訳した」。しかし、彼の証言の内容は非常にあいまいであって、論証の根拠とすることはできない。「説話」はイエズス自身の話したことと受取ることができるし、あるいはイエズスについての物語（逸話）と受取ることもできるからである。

著作年代に関しては、少なくとも現在のものに近い形のマタイがマルコ以後に書かれた。マルコの数年後に書かれたに違いない。マタイにはっきりと現れているユダヤ人とキリスト教徒との断絶が、この時代に適合する。ファリサイ派を除くユダヤ人の集団に関心を示していないことは、著作年代が七〇年以後であることをほのめかす。マタイとエルサレムの略奪との年代関係をマタイ二十四章から引き出すことはできない。エルサレムの崩壊は史的用語ではなく、神学用語で描かれているからである。しかし、ユダヤ人の不信仰者に対する論戦が記されていることは、本書の成立がキリスト教会とユダヤ人の会堂との間に緊張の生じた時期であったらしい。そうすると、マタイはシリア共同体のため、八〇年ないし九〇年頃書いたと推測できる。蛇足だが、マルコ福音書の成立は、六七年から七〇年の間に、ローマかイタリアであったと考えられている。

マタイ福音書の特色について考えてみよう。マタイには他の福音書以上に、ユダヤ的色彩が濃厚である。ユダヤ的知識をもつ読者を念頭において書いている。施し、祈り、断食の三つの主な善業、司祭の神殿における役務、神殿税、十分の一税、清めなどは異邦人には理解できない。ヘブライ的叙述方法は、つぎの事項にも明らかに見える。マタイによれば、キリストの使命は第一にイスラエルのためであったが、ユダヤ人の公の代表者によって邪魔され、異邦人の方に向く。安息日などの律法の掟を大切にする。そこから、法律用語も多く出てくる。正義（マタイ七回、ルカ一回）審判（マタイ十二回、ルカ四回）無法（マタイ四回、ルカ〇回）のように、拘束力のある律法を認める態度がにじんでいる。マタイは第一世紀のユダヤ人であって、ラビによる聖書用法の影響を受けていた。そのため、現代人にとってそれほど重要でないと思われる旧約聖書の対応箇所を豊富に引用し、イエズスが旧約の成就であるという重要な真理を表明した。マタイの受難物語の大部分は聖書の引用によって構成され、それが実現したことを示している。

マタイは、同じ主題を同じ個所にまとめる傾向がある。そして主要な教訓を目立たせるために、生き生きした人間味のある句を平気で削除する。例えばマタイ八―九章の奇跡物語は、マルコの奇跡物語よりもかなり短い。

マタイ福音書は王国の福音書である。天の国の主題が中軸となって、その周りに福音が築かれている。マタイの主要な説話の大部分は程度の差こそあるが、この主題の周りに組立てられている。五～七章は、天の国の基本憲章ともいうべき山上の垂訓（王国へ入る条件）。十章は、天の国の宣教者である使徒たちへの垂訓（王国を告げる使者）。十三章は、天の国とは何かを教える垂訓（王国について）。十八章は、天の国の精神を弟子たちに教えた垂訓（王国内部での相互関係）。二十四～二十五章は、終末において天の国が完全に実現するとき、イスラエルがどんな運命を迎えるかについての垂訓（王国の最終出現）が紹介されている。こういう意図的な構成には、信者の教育にも十分に役立てようとする教育的な目的を感ずる。

イエズスの幼年時代についても同じ精神をもって展開する。おとめの懐胎、ベトレヘムでの誕生、ナザレトでの成長の叙述の外に、イエズスが、ダビドとアブラハムになされた約束の正統な相続人であること。聖霊の力によって生まれたかれはイザヤによって予告されたメシアであること。ミカの預言に従ってベトレヘムで生まれたかれは、誕生の時から異邦人の預言者ビルアムによって予告された国々の王であること。また、モーセがそうであったように、この世の権威から迫害されることなどのメシアの秘密を展開する。

イエズスは自分の弟子たちに、自分が何者であるかを少しずつ説明する。かれはまず、神の国の宣布者、その業によって終末に関する預言を成就するイスラエルのメシアであり、天の父の子である。ガリラヤでの宣教が終わりに近づいたとき、かれは弟子たちから信仰の告白を求め、「あなたはメシア、生ける神の子です」といわせる。この時から、かれは、メシアは栄光に入る前に苦しみ・死・復活を迎えることを教える。そして最後の日に審判者となる。

（イエール・河井田共訳グルロの聖書入門、聖書新注解書から）

CLC九州大会の御案内

九州各地の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

さて、CLC九州大会も今年で10回目を迎えます。

過去の大会で何度かとりあげられたテーマに福音宣教があったことを覚えておいででしょうか。

参加された方々の中には、喜びに満たされ福音宣教のプランを胸に、小教区へ、あるいは家庭へ、あるいは職場へと帰って行かれた方も多かったと思います。その後、どんな実を結んでいますか。

大輪の花を咲かせた人も、今やっと小さな苗を育てている人も、種をまく前に心くじけてしまった人も、そして、どうしたら種をまけるだろう、と考えている人も、皆さん集まって下さい。語りあいましょうもう1度。人々の中のキリストと出あうために。お互いの関りの中にキリストを見つけるために。福音宣教の小さな歩みを始めるために

と　き　9月22日PM2：00～9月24日PM2：00
ところ　松屋本館　TEL(096)381―1331
テーマ　人々の中のキリストと出会おう
問合わせ　松山浩子　TEL 自宅 096―248―1863
会社 096―345―6827
参加費　大人 ¥11,000　学生 ¥10,000
小人¥6,000　※お子様はベビシッターがおあづかりしますのでご安心下さい。
◎申込先　〒862 熊本市帯山5丁目20―53
南條幸子あて　TEL 096―382―6095
※申込期限　9月10日まで　参加者にはハガキを送りますので早目にお申し込み下さい。
（申込金 ¥3,000を添えてお申し込み下さい）
◎主催　CLC九州地区連絡会　樫の切株CLC
蚤物の番人CLC

会合と催し

★平田司教
9日1日　本渡教会聖信
2日　崎津教会聖信
4日　司祭評議会・顧問会
5日　司牧司教委員会
6日　海星女子学園の体育館落成・祝別式
7～20日　カナダ訪問
23日　CLC九州大会
26日　聖書実行委員会

★福岡黙想の家
9月2日　カナの会
9日　西新教会婦人会
9～12日　教会まかないさんの黙想会
23～24日　カテキスター集会
30～10月5日　コロンバン会

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8―8
TEL 531―3831
夜間 521―0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想の大御影
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2―21
TEL 52―2417

フィリッピンの奥地から
貧者愛の一宣教女の手紙

主のお恵みと平和が貴方様の御上に豊かに！ 日本も相変らず暑い毎日でしょうか？ その後お変わりございませんか？ 先日は、今年一月、マニラでお目にかかった貴方様と再び日本でお会いできたことをとても嬉しく思い感謝しました。

カルメル会のシスター製のお菓子は有難うございました。勿論、一箱はブルガナン司教さまに、一箱は山口君に、私に頂いた分はガタン副司教にお土産に差し上げ、喜んでいただきました。

同じアジアの最も近い兄弟であるフィリッピンの司教さまと日本の司教さまが、親しく交わる機会を与えられたことにとても嬉しく主に感謝いたしました。

私は日本のすべてに快適で整えられた中に生活していた時よりも炭火で食事の準備をし、手で洗濯し脱水もしないで干し、停電になれば石油ランプを使い、素朴な村の人々と交わるその生活の中により多くの主を見出しています。

フィリッピンに来て五年目を迎えて、はじめて久しぶりに日本に帰り、何も不自由のない蛇口をひねれば湯が出るその生活を体験しながら、その繁栄・快適な生活の背後にアジアの貧しい兄弟を犠牲にしている現実を知っている私には、とてもこの生活はできないと感じました。アジアの弱い立場にある貧しい兄弟の現実を知ってしまった私には、その快適がかえって辛く感じられ、イザベラの素朴な単純な生活がとても懐しく、本当に早くフィリッピンに帰りたいと思いました。

八月一日に、ブルガナン司教さまとともに帰比しましたが、現実に戻って毎日忙しさに追いまくられています。貴方様も又機会が与えられたら、是非イザベラまで足を延ばしていらしてください。日本で味わえない別のものを、きっと感じていただけると思います。暑い折、どうぞお大切に。

神学講座案内

福岡教区の神学講座（一九八四年第二学期）のプログラムは、下記のとおり決定した。福岡聖スルピス大神学院教授イエル神父の聖書講義を中心に、高木義行神父が二回の講義を分担してくれる。

記

一、期間　九月十一日～十二月十日までの毎週火曜日午後六時～八時まで

二、講義科目　九月二十五日と十月三十日現代における恩寵論　高木義行神父
その他の日ヨハネ聖福音と手紙　イエル神父

召命学校へのご案内

小学生、中高生、青年を対象に行ってまいりました召命学校の最終企画として神学生のご両親を対象とした召命学校を開きます。召命に関心をもっていらっしゃる方も多数ご参加下さいますようにご案内申し上げます。

日　時　11日11日（日）
　　9：00～16：00頃まで
テーマ　〝家庭における召命〟
場　所　福岡司教館　5階集会室
対　象　神学生の両親と召命に関心ある大人（親）
主　催　福岡教区青少年担当司祭一同
後　援　福岡信徒協
協　力　小神学校、パウロ会
準備担当司祭
　　松井　忠之（行橋教会）

後日、プログラムなど各教会にご案内します。

福岡教区青少年担当司祭
代表　渡辺　隆義

祈りの集いのお知らせ

福岡地区合同祈りの集いを十一月三日、笹丘教会で行います。また、全国リーダー研修会（九月二十一日～二十四日）には、九州地区から十名が参加いたします。お祈りください。なお、九州地区合同祈りの集い（九月十四日～十六日）とリーダ研修会（十一月二日～四日）は中止いたします。

福岡祈りの集い

福岡黙想の家だより

毎月第一日曜日の午後五時から六時半まで、聖時間を行いますのでご参加をお待ちいたします。

＜こぼれ話し＞
新作の十字架

「イエスさまを作るのは難かしいですね。筋肉を出しすぎると傲慢に見えるし、あまり優しくすると豊かさがなくなります。」と○○先生が一席。製作者は新作の十字架のイエスを見せながらこれはどう？「率直に申し上げますと、これは贅肉がついています。贅肉という肉ではなく、神にとって不必要なものがついています。」忌憚のない厳しい批評が飛んできた。「神父さま、もっと下手に作ってください。芸術は人間の業です。神は人間の業で刻むことはできません。背中をていねいに作ってください。誰にも見えない所ですから、ついなおざりにします。しかし、西洋の大聖堂の高い尖塔の上に、人がただ神にだけ見せるために作ったように。誰にも見えない背中に精神を投入してください。そして、ひたすら祈りながら人間は、死ぬ寸前に最も素直になる時があります。生きたいと一心に思って生活している時や死ぬことばかり考えている時などには出てこない、それはほんとうの生から死へ移るあの時間に出てくるもの・心から刻まなければなりません」と。「きょうは、ほんとに幸せでした。わたしのアトリエが焼けて、すべてを失ったわたしの最初に話した美術の講義がこのキリスト像についてであったとは！」感動したくだんの先生は、つぶやいて去っていった。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木　鐵三
福岡支店長　池内　満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5－4－12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272－0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1－4－23
TEL 771－3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521－0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) 大学における司牧
(布教) ベトナムにおけるカトリック教会

司教座教会の意味を考える
母親と子の関係と見る各教会
カテドラル建設への善意の協力を願って

司教座教会で何だろう?自分の所属する教会とどんなに違うのだろうか?時々、信者間に交わされる素朴な質問の声が入ってくることがある。司教座教会(通常カテドラルとも呼ぶ)への理解なしには、その関心と協力を深めることは困難であろう。

日本国内に十六司教区が組織されており、教区長にはそれぞれ日本人司教が就任している。その司教が司教としての永久的な司教座を有する教会を、司教座教会と称する。カトリック大辞典は「カテドラルは、司教が住み、司教区がその名を取った都市に在るのが正式で普通である。カテドラルは必ずしも大きい教会である必要はない。カテドラルのある同じ町に、それよりももっと大きい、綺麗な小教区教会があり得る。カテドラルは、むしろその創立の古さときまざまな史的連想を伴うために貴いものとされる。しかし、献堂式の記念日及びその称号の祝日は、司教区全体を通じて守られねばならない。カテドラルは、一般に司教区の母教会である。」と記している。カトリック中央協議会発行の典礼暦には、各教区の司教座教会の献堂記念日が明示されている。わたしたちのカテドラルへの関心の尺度として、自分の教区司教座教会の献堂記念日(福岡教区は七月十六日)とその教会の保護者名または称号(福岡教区司教座教会は大名町教会で、勝利の聖母に奉献されている)を記憶しているであろうか。また、その記念日に、カテドラルと教区の発展及び教区長司教のために熱い祈りを実行しているであろうか。

典礼暦のはじめに、信者の共同体(教会)についてのわかりやすい説明が述べてあるので、借用して教区共同体に結びつけてみる。

「私たちが神に愛されているということを、どのようにして知るのでしょうか。それには、まず人に愛されるという体験があります。両親の愛のうちに成長し、友情を知り、また結婚生活や社会生活のいろいろな体験の中で、まず人間同士の愛や友情の大切さを知ることを通して、神の愛というもっと大きな世界に導かれます。とは言っても、人間の愛がそのまま神の愛であるわけではありません。そこに神の愛を認めるためには、信仰の光が必要です。自分のような者が人から愛され、大切にされていることを有難く思う謙虚さも必要です。へりくだる心にこそ信仰の恵みが注がれるのです。そして信仰によって自分の体験を見直す時、いつも神が愛し導いてくださっていたことを知るようになります。『愛といつくしみのあるところ、そこに神がおられる』という典礼の賛歌は、人間の愛を通して神の愛が示されるという教会の信仰をよく表しています。

具体的な人間の愛の連帯の中で私たちが生きることができるように、キリストは教会をお造りになりました。しかも、自分はぶどうの木、私たちはその枝となって、同じ一つの命によって生かしてくださいます。パウロはキリストにおける信者同士の一致を『キリストのからだ』と呼んでいます。私たちはキリストに結ばれた一つの共同体に属する者となり、互いに助け合い、責任を負い合う連帯の中で生きるように召されているのです。

実際の面では小教区という基本的な共同体があり、その中にさらに地区集会、青年の集まり、ボランチア・グループなどの小共同体が、キリストの愛の使徒として、教区共同体の一員として、教区の母教会を中心に、教区の発展のために、祈りと協力を願ってやまない。

十月の聖体礼拝当番教会

十月七日 田川
十月十四日 新田原
十月二十一日 行橋
十月二十八日 古賀

マグダレナ山頭シゲさん
(山頭原太郎師の母堂)

九月十九日、老衰のため平戸市木場町田崎の自宅で死亡した。行年九十。

葬儀ならびに告別式は、二十一日午後二時から、自宅近くの田崎公会堂でしめやかに行われた。長崎教区の松永補佐司教外十四人の司祭による共同司式ミサが捧げられ、故人の永遠の安息を祈った。遺体は、近くの信徒墓地に埋葬された。

故山頭シゲさんは九人の子女に恵まれたが、その中から二人の司祭を神の教会に送った。四人は既に物故者になっている。山頭原太郎師は、現在、飯塚教会主任。

微光

ロザリオの信心を奨励した名古屋教区港教会のちらしに、楽しい記事を発見しゲラゲラ一人で笑った。「ある宣教師がジャングルの中で迷い、ライオンに出会った。かれはロザリオを取り出し、一心不乱に祈った。しばらく経て、恐るおそる片目を開けてライオンを見ると、ライオンも祈っているような仕草をしている。ライオンに何をしていたかと問うと、食前の祈りを唱えていたと答えた」▼ロザリオの信心についての好意的でない意見の中には、同じ祈りのくり返しでマンネリ化されているとか、魅力的でないと。ルルドの聖母出現におけるベルナデッタに、ファチマの三人の少年少女に、マリアは何を訴えたか。母なるマリアへの信頼の証しとして、ロザリオの魅力と恵みを教示したと思う。日本のキリシタン時代に、迫害のあらしの中にも受け継いできた信仰の遺産はロザリオの信心に負うところが大きい▼バチカン公会議は「教会のすべての子らに、聖なる処女に対する崇敬、特に典礼上の崇敬を熱心に行うよう勧告し、教導職が世々勧めてきたマリアに対する信心業を重んじ、キリストと聖なる処女と諸聖人の像の崇敬について過去において決定された事がらを厳正に守るよう勧告する」(教会憲章六七)と説く。十月中の携帯品に、ロザリオを点検しよう。ロザリオを祈ることはマリアを近づけることであり、神の豊かさを引き寄せるのではないか。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

初期キリシタン時代に学ぶ
社会悪に対抗する隣人愛実践

キリシタンの信仰は神への愛によって生命づけられる。そして神への愛は隣人への愛として具体化されるが、隣人の悲惨さが強いほどに、それに対する愛のわざもまた強化されるのである。

それではキリスト教が伝来したころの日本の社会にはどのような悲惨な状況が浮き出していたであろうか。下剋上、強者支配の倫理の中で、政治、社会の被支配者はもちろん、家族は家長の奴隷と化し、犠牲となって家庭は崩壊し極端な利己主義が横行して、悲惨な地獄絵巻が繰りひろげられたのである。

一五五四年のひどい飢饉について、ルイス・フロイス神父は、山口で見聞した状況をかれの「日本史」に書き残している。「過ぎし戦乱のため、周防でも山口の町でも最悪の飢饉に見舞われた。町の人々は長年の間それをなめつづけている。夫は妻と別れ、子供は母と、召使は主人と別れ、男も女もやせ衰え、目はくぼみ、血の気のない黄色い顔をして歩いていた。この地方の貧困と悲惨とはまさに死の姿であり、死の表現である。男も女子供も、休むことなく、山野をさすらい、山や谷をこえ、草の根を掘り起こして飢をしのごうとした。しかし、彼らの中には余りの疲労のため草を抜きとると同時に魂は肉体から飛び去り、その場で死んで行くものもあった。

目につくのはただ草の根を手に握りしめた人々の姿である。町中は悲惨な哀しい有様であった。かつての雑踏や、職人、家具造り、鍛冶屋などの騒音の代わりに、餓死する人々の呻き声、叫び声が聞こえるのであった。朝、家を出てまず目につくのは、ゴロゴロしている死体である。若い男や、上品な婦人、上流家庭の出である娘たちは、着物だけはしっかりと身につけていたが、履物をはいていることはほとんどなかった。色青ざめ、足を引きずり、目に涙を一ぱいためて、両手をあげながら教会にやって来た。そして自分のためと、腹が減って起きることのできないで家に残されている父母のために施しを求めた。父や母の着物にすがりついて食物をせがんでいる子供や赤ん坊の叫びや、泣き声は見聞きする人々の心をかきむしる光景であった。」

奴隷売買について「債権者は債務者の子を担保として取り、債務が滞るとその子を売るか、親に売らせる」とパジェスは記し、また「親が極度の貧窮にあえぐとき、子を売る風習がある。それら貧民の子は数多く船につれてゆかれ売られる」と記している。天正少年使節の一人ミゲル千々石は、そのようにして売られた日本人奴隷を東南アジアで見聞して次のように慨嘆した。「旅行の先々で、売られて奴隷の境遇に落ちた日本人を親しく見たときには、道義を一切忘れて、血と言葉を同じゆうする同胞をさながら牛か馬のように、こんな安い価で売りとばすわが民族への激しい義憤の念に燃えたたざるを得なかった。」

これらの社会悪は、貧困による生活苦が生み出したものとはいいながら、人権無視の封建倫理と強いもの勝ちという戦国倫理につちかわれた利己主義の横行、つまり隣人愛の欠如によるものである。まことに当時のわが国に足りなかったものの第一は隣人愛であったと見てよい。そこに愛の教えを本質とするキリスト教が伝えられ、キリシタンたちはその教えの本旨とする愛の精神によって当面するこの社会悪と対決したのである。

このような社会悪に対してキリシタンたちの生活を律したものには、十カ条のマダメント（戒）、すなわち神の十戒と、慈悲の所作と呼びならわされた愛の掟であった。そして神の十戒も、結局は愛の二字に約まると教えられた。すなわち「ドチリナ・キリシタン」には、神の十戒を掲げて次のようにのべる。「いまこの十カ条マダメントは二つにきわまるということを示したまえ、その二つとはいかなることぞ。万事にこえてデウスを大切に思い奉ることと、わが身を思うごとく、ポロンモとなる人（隣人）を大切に思うことこれなり。」

慈悲の所作十四カ条は、この愛の実践を徹底的に教え、キリシタンたちはそれを暗記していたことは、それから四年もたろうとする今日、かくれキリシタンたちがなお暗誦しつづけていることでもわかる。それは、長い迫害と潜伏の中でひどい苦労をして相伝されたものである。

生月（長崎県北松浦郡）のかくれキリシタンのオラショから、それを文字に移して掲げる。（　）内は原本写真「ドチリナ」により補足した。

慈悲の所作十四カ条かくれキリシタンのオラショ（祈祷）から十ふ（慈悲）のさき（所作）は十ふし（十四）あり、始め七つはしきしめ（色身）に当る、後の七つはスペリテ（霊）に当るなん

しきしめに当る七つの事

一つには餓えたるものに食を与える事、二つには渇したるものに物を飲まする事、三つには肌えをかくしかねたるものによろい（衣）を与ゆる事、四つには病人をいたけり見舞ふ事、五つにはあいきょうな（行脚の）ものに宿を貸す事六つには補はれ人の身をお（請）くる事、七つには死骸を納むる事これなり。

スペリテに当る七つの事

一つには人に意見を加へる事、二つには道なき（無知なる）ものに道を教へる事、三つには悲しみあるものなだむる事、四つには折檻すべきものに折檻をする事、五つには恥辱を勘弁いたす事、六つには隣人の不足をゆるす事、七つには生死の人と、又われらに仇をなす者がためにデウスを願み奉ること、これなり。これほどの慈悲の所作十四カ条を大切に伝承しつづけたことは、かつての祖先たちがいかに強く愛の掟を教えられ、それを守り続けたかということを示すことになろう（片岡弥吉著日本キリシタン殉教史から）

移住の日献金（9月9日）

大名町	71,300	直方	14,200	水巻	20,000
能古島	3,187	新田原	63,978	飯塚	10,000
浄水通	11,000	行橋	12,524	田川	8,600
光ケ丘	70,890	豊津	8,359	取手	30,400
大楠	6,241	呼子	13,676	尾荒	9,000
答崎	15,000	松島	8,000	渡本	6,000
笹丘	27,681	佐賀	15,000	健軍	14,000
美野島	6,000	唐津	7,811	帯山	11,000
茶山	12,526	伊万里	9,590	水俣	5,000
西新	31,876	鳥栖	11,601	大江	2,400
高宮	62,150	武雄	6,000	崎津	20,000
老司	37,232	厳島		島崎	38,000
吉塚	24,967	多久	3,200	玉名	8.000
志免	6,800	門司	26,970	菊池	7,500
古賀	30,671	門司港	9,668	八代	19,000
二日市	23,000	小倉	72,464	人吉	14,120
久留米	42,869	湯川	32,869	武蔵ケ丘	36,659
大牟田	13,000	戦畑	45,987	ロザリオの園老人ホーム	56,000
今村	80,460	若松	8,160		
本郷	24.124	天神町	50,000		
小郡	5,930	黒崎	46,200	合計	1,408,370
馬渡島	10,600	八王寺	8,930		

きぼうの電話
—喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣く—

(092)　865 - 1212

＊相　談：生き方・家庭・学業・仕事・恋愛・宗教
＊時　間：月・水・金曜日　午前11時～午後4時
　　午後8時～午後10時
＊相談時間の外：テレホンサービス

カトリック　福岡黙想の家
814—01 福岡市城南区西片江1—17—63

信者の皆様

「きぼうの電話」は福音宣教のためです。テレホンサービスはキリスト教を知らない人、知りたい人のためのやさしい3分間講話です。

電話相談はキリストの心で相談に応じるものです。

イエズスさまを伝えるため、皆様のご協力をおねがいします。信者でない親戚、友だち、職場の仲間、ご近所の人々にぜひ知らせてください。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3—2—9　TEL 531—1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2—0646
〃　駅前5秒店 ☎2—2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641—4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641—7177
〃　ダイエー城野店3階☎922—5637

みんな仲間だ手をつなごう
充実した青年活動を求めて

一九八五年「国際青少年年」を迎えるにあたって、一九八〇年全国大会以後の青年の活動、横のつながりなど年々案じられている。また、今年の全国青少年司牧担当者研修会でも「若者の教会離れ」というテーマがあげられた。福岡教区でも例外ではなく、ここ二年ぐらい青年たちのための教区大会もなく、青年たちの横の連絡やつながりも弱く、各地区の活動も低迷しているように思われる。そこで、青年たちへの問題提起の一助として、青年集会が教区青少年担当司祭団によって企画された。

九月三十日（日）午前九時から午後四時まで、福岡司教館新館五階会議室で、テーマに「これからの青年たちの歩み」をかかげ、青年六十名（十七小教区から参加）、担当司祭六名、助祭一名、信徒リーダー二名が参加して行われた。午前は、オリエンテーションに始まり、下町豊重師司式のもとパウロ会山内堅治助祭の説教でミサがささげられた。そのあと、平田三郎司教より日本司教団の「日本の教会の基本方針と優先課題」をもとに、今日・明日の教会を担う青年への期待と励ましのことばがあった。続いて、元青年会員の大水清彦氏から、八〇年全国大会前後の青年たちの動きについて報告があり、また、小教区における青年会活動のための基本的要素として、つぎの三つが指摘された。㈠キリストを知ること、㈡仲間の親睦、㈢使徒職の実行、そのあと、質疑応答に入り午前の部を終えた。

午後には、渡辺隆義師（教区青少年担当司祭）から㈠八五年「青少年年」へのとりくみ、㈡教区・地区レベルでの青年のつどい、㈢青少年司牧情報センターについての発題があり、質疑応答のあと分科会に入った。分科会では発題をもとに㈠八五年に向けて教区としてのとりくみについて、㈡これからの教区レベルでの青年の歩みをどのようにもっていくか、㈢小教区司祭や担当司祭への要望について話し合った。そのあと青年たちは全体会での発表の中で、小教区での青年の掘り起こし、青年会のあり方の再度検討の必要性、そして、教区としての共同体の意識向上とそのための充実した集会など、また、青年たちの司祭への要望として、青年と青年会活動への理解と交わりをもって歩む司祭が欲しいということが強く訴えられた。最後に、司祭団は青年たちに、今回の集会で体験したこと、学んだことをそれぞれ小教区の中で深めるように、また、司祭団からの小冊子（青年たちへのメッセージ、年内発行予定）を活用し、研修、分かち合い、討議、体験、実践の集大成として教区レベルの集まりができるように期待して、集会を終えた。

（小倉・深堀）

真剣に討議する青年集会

皆が輪になって盛り上げる
成功した浄水通教会のバザー

九月九日浄水通教会で、信徒会館の増改築資金の一部を分担し、信徒の親睦を図るために、バザーが開催されました。前日の天気予報では、雨天が予想され、事実、当日早朝、準備を開始した頃はかなりの雨となり、此の先一体どうなるのかと、一同案じていました。

ところがバザー開催の三十分程前から雨が上がり、十一時フミーレス神父様が開会宣言をされる頃には薄日さえ射す程となり、やがて絶好のバザー日和、一同神のお計らいを深く感謝した次第です。

バザーは司教館、小神学校、サンモール修道院、雙葉学園、泰星学園高校寮生の皆様方の絶大な御協力の下、信徒一同並びに教理学習中の方々、当教会で結婚式をあげられた方々、それこそ関係者一同の周倒な準備と、積極的な御協力により、予想以上の盛会となりました。

ゲーム、飲食、買物等にぎやかに行われる中に、正午には呼び物の自動車抽選会が行われ、フミーレス神父様指揮の下、子供達が次次にくじを引き数々の賞品が決った末、場内歓声の中に特賞自動車の当選者が野田光彦さんに決定しました。

午後三時バザーは盛会裡に無事終了しましたが、今回の成功は、神様の御恵みと教会関係者は勿論の事、それ以外の方々の親身の御支援御協力の賜物と一同深く感謝しております。改めて皆様に心から御礼申し上げます。

（バザー実行委員香椎正明）

飛脚

★七月二十六日から二泊三日にわたって行われた福岡地区の少年少女組成会には、傘下各教会の小学四年から中学三年までの生徒八十七人が参加し盛会であった。今年から福岡地区信徒使徒職協議会の主催で始められたが、不馴れのこともあってかなりの赤字であったと聞いている。来年こそは、健全運営で成功するよう祈りたい。

★九月二十一日（金）午後六時半から、フィリピン民衆との連帯の夕べの集いが福岡市中央区笹丘一丁目のカトリック教会ホールで開かれた。のんき楽団によるフィリピン・アジア民衆の歌に続いて、鈴木忠一神父、菅原一夫牧師、青柳行信氏の現地体験報告が写真やスライドなどを使ってあった。日本人のフィリピンに対する恥さらしや汚染を反省する一夜となり、人横アピールをもって閉会した。

★熊本市上通町三の手取教会は、市内の中学生以上の信徒を対象にした信仰生活刷新の黙想会を、九月二十日から十一月一日までの毎週木曜日に行っている。午前の部は、十時から十二時まで、夜の部は、七時から九時まで。ライル神父の指導で、一般参加費は千円、中・高校生は五百円。

★十月十五日から二十日まで、教区邦人司祭の黙想会が福岡黙想の家で行われる。浦和教区長島本要司教の指導。なお、同所では、九月三十日から十月五日まで、熊本地区コロンバン会司祭が黙想中。

会合と催し

★平田司教
10月7日　BS訓練所祝別
13日　久留米信愛25周年祝
14日　島崎教会創立25周年
15～20日　邦人司祭の黙想会
16日　八代白百合75周年
21日　佐賀教会堅信
28日　茶山教会創立25周年

★福岡黙想の家
9月30～10月5日　コロンバン宣教会司祭の黙想会
10月10日　西新教会日曜学校
12～13日　西南学院大学の人間学セミ
15～20日　邦人司祭の黙想会
21日　大神学院司祭の静修
21～27日　サレジオ会司祭の黙想会
27～28日　雙葉学園中学生の黙想会
29～11月3日　アウグスチノ修道会司祭の黙想会

布教への一言

今もいつも神をいただくカトリック教会は、若者の生気を発散させている。そこから魅力的な共同体、世の救いに奉仕する活動団体と感謝され、愛されているのではないだろうか。つかれ果てた、眠れる教会のイメージを世人に与えるとすれば、福音宣教への道をますます険しくすることになろう。教会に電話して、どんな印象をうけたか。明るい、親切な声が返ってきたとき、キリストの教会は生きている、有難いと思う。反対に不愛想な返答を聞いたとき、教会違いではないかと耳を疑う。

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

ルカによる福音書を想う
歴史家というより福音宣布者

アンティオキア出身のギリシア人であった医者ルカは、パウロの第二回宣教旅行の時から、その随行者となった。パウロが最後に捕らわれたとき（六六―六七年）、ルカはかれのもとに残った唯一の友となる。ルカがパウロの弟子であったことは、確実である。だから、かれの著作にパウロ的な思想や影響がいくぶんみられることは決して驚くべきことではない。しかし、それはむしろ、思想や感情の共通の雰囲気についてである。例えば、両者とも、救いの普遍性を強調する。これは、他の共観福音記者が救いはユダヤ人だけでなく、すべての人に提示されたということを明らかにしていないと言うのではなく、パウロと同様に、ルカの見方がこれに関して強調されている、という意味である。

ルカは自ら、福音書を記すにあたって綿密な調査をしたことを語っている（ルカ1・3）。かれは福音書の出来事に関与したいろいろな人、すなわちマリア、イエスの親族、聖なる婦人たち、クレオパスなどの思い出を収集した。けれども、かれがこれと同時にいくつかの文書資料を利用したことも明らかである。つまり、マルコ福音書やギリシア語に翻訳されていたアラム語のマタイ福音書、その他の福音の断片集などである。

かれの福音書がいつ編集されたかを正確に決定することは困難である。批判学者たちの多くは、この書の成立をエルサレム滅亡後のこととしている。他の者は、ルカの編集を七〇～八〇年の間においている。こうする主な理由は、エルサレム陥落の細部にわたる予告である。事実教会にとって七〇年から九五年の間は、異邦人社会に福音を宣布するのに好都合な平和な時代であった。要するに、ルカ福音の成立は八〇年から八五年の間と想定して、大過はないであろう。長い目で見れば、福音書の正確な著作年代は、不確定なことを別にしても、本質的な問題ではない。これは、信仰や道徳についても直接にも間接にも関係がない。

ルカはイエスが行った出来事や発した言葉を選択する時、特にそれをどのようにして紹介するかという場合に、いくつかの基本的な方針を持っていた。かれは、正確な年代順に事柄を記そうと努めたようであるが、イエスの宣教生活については、すでに存在していたマルコのプランの大筋に従った。ルカがマルコを資料として用いたこと、マルコが彼の主な資料であり、マルコの順序に明らかに従ったことは、一般に認められている。ただしかれは、マルコの荒削りな文体をもっと文学的なかたちのものとなるよう修正した。かれの描くイエス像は、マルコのものより柔和な感じを与えてくれる。主の語る言葉も、マタイのものとくらべると、ヘブライ的な表現から離れてきている。それは、かれが福音をヘレニズム世界の人々に広く理解できるものにしようとしたからである。

ルカは確かに異邦人のために書いた。彼は、あまりに特殊なユダヤ的と思われる多くの事柄を常に省く。かれはその代わりに、イエスをイスラエルのメシアとしてだけでなく、諸国民の光として描こうとしたのである。このことはイエスの出生時代の挿話や、イエスの系図を、人類の祖にまでさかのぼらせていることの中によく感じ取ることができる。

ルカは、イエスの幼年時代のことについて、読者の好奇心や感受性を満足させるような話を何も記していないが、マリアに由来すると思われる資料を集めながら、イエスの神秘に満ちた人格を具体的に紹介するために利用する。イエスに関するさまざまな思い出は、信者教育の資とするために配列されている。彼のねらいは、カテケーシスの教えの健全さを確立することであり、そのために慎重に歴史上の資料を示す。しかしルカの作品を現代歴史家の作品に対するように判断してはならないであろう。彼の福音書は、科学的歴史ではなく、マタイやマルコ以上にイエスの生涯の伝記でもない。彼は順序立った記事を書くと約束するが、その順序は、第一に神学的である。それは、彼の関心が事件の目撃者であっただけでなく、言葉の奉仕者であった人々によって伝えられた事柄にあったからである。

ルカは現代的な意味での歴史家ではなく、その著作をもって真の神学を伝える任務を有する「福音宣布者」である。ルカ自身は、なによりもまず「言葉の奉仕者」福音記者である。彼の作品は厳密な意味で「福音」である。新約聖書自体においても福音という語は、キリストの宣教を意味し、福音記者は説教師である。彼の背後には生きた教会の教えの全活動が存在し、彼はその教会の代弁者であった。それは、イエス・キリストの働きと言葉を告知することである。イエスの人格は、救いの歴史の中心そのものである。（イエール・河井田共訳グルロの聖書入門、聖書新注解書から）

召命学校へのご案内

小学生、中高生、青年を対象に行ってまいりました召命学校の最終企画として神学生のご両親を対象とした召命学校を開きます。召命に関心をもっていらっしゃる方も多数ご参加下さいますようにご案内申し上げます。

日　時　11月11日（日）
　　9：00～16：00頃まで
テーマ　"家庭における召命"
場　所　福岡司教館　5階集会室
対　象　神学生の両親と召命に関心ある大人（親）
主　催　福岡教区青少年担当司祭一同
後　援　福岡信徒協
協　力　小神学校、パウロ会
準備担当司祭
　　松井　忠之（行橋教会）

後日、プログラムなど各教会にご案内します。

福岡教区青少年担当司祭
代表　渡辺　隆義

記載もれ

☆人吉教会の聖ペトロ聖座献金二一、八五〇円が、事務局の手違いにより記載もれとなっていましたのでお記びします。

十月命日の司祭

★エミール・ラゲ神父（パリ外国宣教会）一九二九年十月三日元福岡司教館
★ジャンバプチスト・ドラビ神父（パリ外国宣教会）一九六七年十月二十三日元黒崎教会主任

（司祭異動）

九月十六日付
★兼老司教会主任　山田成章（福岡司教館）
★福岡司教館　川口康頼（老司教会主任）（略敬称）

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう、
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5―4―12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272―0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) ベーシック・コミュニティー
(布教) アフリカにおける教会の士書

司教教書

司教座聖堂と教区センターの建設にあたり

福岡教区長司教 ペトロ 平田 三郎

神のあわれみと聖座の計らいによって、福岡教区の宣教・司牧の任を托された私は、神の祝福を願いながら、教区の司祭・修道者・信徒一同に本教書を送ります。

司教座聖堂と教区センター構想の変遷

司教座聖堂と教区センターを皆の力で建設しようの呼びかけをしたのは、もう六年前のことでした。この呼びかけの前に一応の案はできておりましたが、時の流れとともにその案も大きく変わりました。その案というのは、大名町司教座聖堂の敷地は高価な土地なので、教会側の出費を少なくするためその一部に高層ビルを建てさせたらとの考えでした。しかしこれには、多くの困難、リスクを伴っていること、またオイル・ショックに見舞われたことなどもあって、原案を捨て、現在は教会の使用に限定する考えに流れました。信者に負担をかけないため、現在地を売って安くて広い土地を購入し、差額で希望の建物を建てたらという考えをいだいていたこともありました。しかし、よく考えてみると、安易な土地転がしで建物ができたとしても、果たしてこれが私たちの家と言えるだろうか、血と汗のにじまない集会の家が建ったとしてもこれに親しみを覚えるだろうか、神の家族が集まって神を賛美ながら主の食卓に連なる兄弟たちは、人が建ててくれた家に入って「お世話になる」ような気持で自分たちの教会堂に行くようなことになりはしないかと考えるようになりました。

それから、交通の便がよく、集まり易い市の中心に、カテドラルと宣教司牧の教区センターを人に頼らず、教区民の力で建てるとしたら、どのようなものが必要で、経済的に私たちの手のとどく建物はどのようなものであろうか、数年にわたって考えては訂正し、次々と案を変え、第十案で一応のめどがついたように思います。司教座聖堂の境内地としては日本一狭いものですので、非常にコンパクトな設計になりました。教区の大切な建物ですので、設計の段階では、地元大名町教会はもちろんのこと、教区の司祭評議会や修道女連盟、多くの司教様やバチカン大使にも設計を見てもらって賛同を得ています。

司教座聖堂とは

司教座聖堂（カテドラル）は読んで字のごとく、十二使徒の後継者である司教の座がある建物で、キリストご自身から委ねられた神の民を教え、聖化し、統治するところ。教区の宣教・司牧の中心となる場です。初代教会の時代から、司教を中心に一致した神の民を表徴する建物と教区内に散在する諸教会の母教会とも言われてきました。司教はこの聖堂で司祭団、信徒とともに司祭の叙階式や聖香油を行い、年中のおもな祝日の典礼を執行し、教区の重要な祭儀を教区民と共に行い、人々にキリストの福音を説く所であります。また、できることなら、ある司教座聖堂のように、宗教音楽の好きな一般市民のためにコンサートなどを開いて、宗教芸術の面からキリストを感じさせる所でもあります。

教区センターとは

教会はキリストの生きた神秘体であり、生きた有機体として常に発展し成長しなければならない性質のものです。第二バチカン公会議も、宣教は教会の本質的な使命で、宣教しない教会は考えられないと言っています。ややもどんでいるように見える日本の宣教状況を見て、ことしの司教会議は、今日の日本教会の優先課題として、聖職者、信徒が一丸となって宣教に励み、キリストの食卓に与っていない多くの人々を喜びと一致の聖餐に招くために、全力をあげて宣教に向けてのがっちりした信仰共同体を造る急務を説いています。教会が宣教に向かって力強く動きだすためには、しっかりした信仰の教育を行い、信仰を人々に伝える宣教の精神を身につけ、そのための組織の必要を説いています。信徒使徒職協議会、青年会、婦人会、レジオ・マリエ、ヴィンセンシオ会、結婚講座など種々の団体が組織化され、宣教に向けての霊性の深めが必要です。霊性を深めて宣教に向うための神学講座、要理の研究とその伝え方などが必要です。小教区レベルでのこれらの組織活動がいっそう力づよいものになるためには、教区レベルで話し合い研究会などをもって互いに助け合い、補い合い統合して更に大きな組織となって活動する必要があります。外に向けての講演会なども必要でしょう。教区カトリックセンターは、それらの団体の事務所、集会、会議、研究

(二面につづく)

十一月の聖体礼拝当番教会

十一月 四 日 二日市
十一月 十一 日 久留米
十一月 十八 日 大牟田
十一月二十五日 吉野

微光

科学に征服されたかに見える地球だが、人口的には巨大化する恐ろしい代物のようだ。六月三十日発表した米国勢調査局の報告書では、世界の総人口は四十七億二千百八十八万七千人で、八千二百七万七千人の年間増加になるらしい。各国の人口抑制策も、期待した程の効き目を出していない。他方、第二次大戦終了から一九八二年までに戦争および内乱で死んだ人は千六百三十六万人。好戦的な第三・第四のアダムによって、膨大な人間の死が全世界にもたらされている▼死はマンモン（暗の勢力）に奉仕する有効な手段として、情容赦なく人びとに強いられる。もともと、死は神への忠誠の証しとして復活を目指す人生の厳粛な事実でなければならない。生命の創造者・管理者である神のみが、死の采配を振るう権限をもつ。死は終末の如く来ると預言する神なるキリストは、復活を信仰する者の大先輩と仰ぎたい▼心に来世を映すことのできない人たちにとって、死は恐怖感を与えないのだろうか。臨終を迎えたある宗教の高僧は、死の直前側近に「わしは死にとうない」と叫んだという話しが伝えられている。死の恐怖感は凡人の常であるに違いない。神を恐れない現代人は、死のスピード化にあまりにも協力的ではあるまいか。一発勝負のかけ事のように生命を軽視し、死をもて遊んでいるような風潮がなければ幸いである。死者のために、心のある祈りを。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

（一面から）

の場を提供するものです。二十一世紀を迎えようとする現代の教会にはこれらの機構が必要であり、ほとんどすべての教区はこれらの設備を持っております。

一致協力して実現させよう

永年の夢は実現されようとしています。各教会、修道会にお見せしておりました仮設計は今や本設計に移り、今年の終りか来年の初めには工事に取りかかると思います。しかしその実現のためには、どうしても皆さまの協力が必要です。現在の日本の教会情勢は、三十年前とは大きく変わったからです。三十年前まで教区邦人司祭の養育費などは、ローマが援助してくれていました。宣教会・修道会は、教会や教育・福祉施設を建ててくれました。しかし世界の姿は変わり、経済大国になった日本はたとえ信徒の数は少なくても、自立の道を歩まなければならなくなったのです。誰かが建ててくれると思っていた教会も、自分たちの手で建てなければならなくなりました。これが本当の姿であります。助けてくれていた国の聖職者の数も思いのままにならず、経済的にも落ち込んでしまったからです。それでも援助の手は、日本より先に苦しんでいる第三世界の教会に廻す必要に迫られているのです。これらの事をご理解下さって今度の教区の大事業に、教区信仰共同体の一員として積極的にご参加下さるようお願いいたします。

このたびのご参加が、今でもまだ残っているように思える「人だより」の精神から「自立」の精神への転機になれば幸いです。

戦後生きていくのに勢いっぱいだったあの頃、あちこちに司教座聖堂や教区センターが建てられましたが、時期が時期だっただけに外国からの援助が多かったと思います。しかし経済が豊かになった現在では、とてもそれはできません。

聖パウロが言うように、私たち一人ひとりは、隅の親石であるキリストにつながる小さな生きた石です。この石の上に多くの石が積み重ねられ、神の殿堂となるのです。日本流に言えば、私たちは大黒柱であるキリストに繋がる梁であり、桁であり、根太であり瓦なのです。一人ひとりが、能力に応じて、石、柱、根太、瓦となって神の家、神の家族の家を建てたいものです。こうして始めて、人が造ってくれた家ではなく、わたしたちが建てた家となり、愛情も沸き、慰堂式に当たっては、一緒に建てた喜びを共にかみしめることができるでしょう。

飛脚

★福岡市中央区立尾の吉川病院に入院中の平田惣五郎師は、現在小康状態にあるが、高齢も加わって目を離すことができない。昼夜を問わず看護人が世話しているが、皆さんの霊的援助をお願いする。

★ことし五十七歳を迎えた福岡教区であるが、それだけに各地の教会・学校などの長い歴史の記念行事がにぎやかである。十月十三日には久留米信愛学園の創立二十五周年、同十四日には熊本市鳥崎教会の設立二十五周年祝賀行事があった。昭和三十三年十二月に建設した教会は、現在信徒会館に転用されている。いまの教会堂は昭和四十六年十一月、ガラハ神父の手で完成した。しかし宣教の歴史からみれば、鳥崎教会には、明治二十九年（一八九六年）にコール神父によって宣教が開始されたという記録が残されている。同じく二十八日には、福岡市茶山教会の創設二十五周年祝いが行われた。昭和三十三年一月創立であるので、ことしは二十六年目に当たるが、小教区の活性化と信徒の一致団結のために効果的な行事であった。いま使用中の教会堂は、昭和五十二年三月、司祭館は昭和五十五年一月にそれぞれ建設された。初代主任棚町正刀師から数えて現主任堤要吉師は六代目になる。十一月四日、西新教会の小教区創立三十周年の記念行事がある。

★恒例の天草殉教祭が、十月二十八日に行われた。殉教公園で神・仏・基の慰霊祭があったが、カトリック側は午前十一時から慰霊のためのミサを捧げた。午後五時半からは、殉教者顕彰のための提灯行列が繁華街を練り歩いた。

★十一月四日午後二時から、福岡市大橋墓地（納骨堂）で、慰霊のためのミサが捧げられる。また、熊本市立田墓地公園のカトリック納骨堂でも、十一月十一日午前十一時から、慰霊ミサが行われる。

★十一月二十三日、聖コロンバン会守護者の祝いが十一時から、手取教会で行われる。

11月命日の司祭

★フレデリック・ボア神父（パリ外国宣教会）一九七七年十一月三日元援助修道会黒崎修道院付

★スヴァノニ・セヴェリーノ神父（ミラノ宣教会）一九六二年十一月二十七日元唐津教会主任

きぼうの電話

—喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣く—

(092)　865－1212

＊相　談：生き方・家庭・学業・仕事・恋愛・宗教
＊時　間：月・水・金曜日　午前11時～午後4時
　　午後8時～午後10時

＊相談時間の外：テレホンサービス

カトリック　福岡黙想の家
814—01 福岡市城南区西片江1—17—63

信者の皆様

「きぼうの電話」は福音宣教のためです。テレホンサービスはキリスト教を知らない人、知りたい人のためのやさしい3分間講話です。

電話相談はキリストの心で相談に応じるものです。

イエズスさまを伝えるため、皆様のご協力をおねがいします。信者でない親戚、友だち、職場の仲間、ご近所の人々にぜひ知らせてください。

カルメル会修道女三位一体のエリザベット

列福記念の祈りの集い

とき　11月26日（月）午後2時
ところ　福岡市城南区神松寺カルメル会修道院
講　話　三位一体のエリザベットの霊性　カルメル会山本神父
沈黙の祈り：聖書朗読：沈黙の祈り：晩の祈り（教会の祈り）
4時頃終了の予定　　どなたでもご自由にご参加ください。

司教座聖堂建設のための分担（協力）金の送り先

小教区の場合、なるべく地区毎に一括してご送金願います

一、普通預金口座一〇六一四〇三
　福岡銀行薬院支店
　宗教法人カトリック福岡司教区
　平田　三郎

注＝送金したことを司教館に通知してください

二、振替口座　福岡六—二〇七二九
　福岡カトリック司教区

注＝通信欄にカテドラル建設資金の分担（協力）金と記入してください

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3—2—9　TEL 531—1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2—0646
〃　駅前5秒店 ☎2—2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641—4321
〃　黒崎駅前名店街店 ☎641—7177
〃　ダイエー城野店3階 ☎922—5637

司祭に求められるものとは？
キリストに心を奪われる人
恒例の教区邦人司祭の黙想会

十月十五日（月）から六日間、浦和教区長島本司教を迎えて、教区邦人司祭の黙想会が福岡黙想の家で開かれた。平田司教以下二十三人の司祭が参加し、キリストの司祭として神の招きに十分に応えているかどうかの反省と自覚を深めていった。

島本司教の説教は福音宣教を意識しながら、みことばの援用と豊富な実例を掲げて在るべき司祭像を力強く訴えた。司祭の祈り、柔和、権能、説教、信徒の信仰の養成者、心の清さ、司祭のアイデンティティ、聖母について、重大な関心と反省をもつべき題目のかずかずを提供してくれた。――

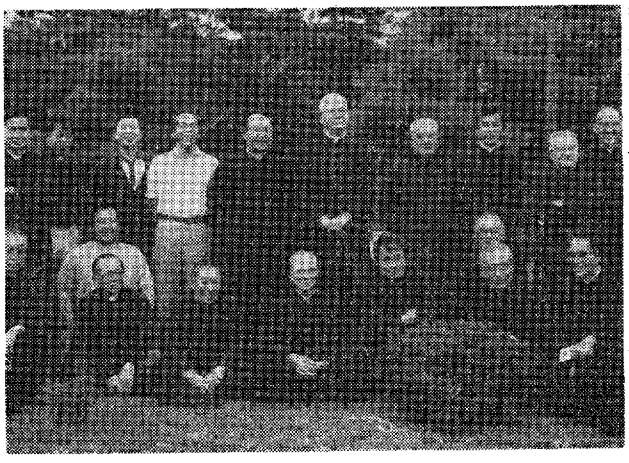
自分の職務を無難に果たしているだけの司祭は、職業病にかかっているような者で福音宣教のために役立たない。み旨に応える司祭は、キリストに心を奪われる人、みことばに感動する人でなければならない。所謂、司祭の霊性の深化こそが現代の司祭に求められるのである。日本社会は心の時代に傾き、心の豊かさを願う人にあふれている。宣教のために熟してきた社会が到来しているといえる。

日本の教会は祈りが不足していないだろうか。とくに、司祭は祈りの専門家、指導者である。東洋は祈りの文化と表現されるが、日本人の宗教観にも祈りの要素が強い。キリスト教の日本文化への受肉のためにも、教会の本来の姿である祈りを重視しなければ……。祈る司祭、ミサを大切にする司祭の姿を人に見せる必要を感ずる。

福音宣教のために派遣された司祭は、入洗者の数を増す福音宣教に力を注ぐべきである。それために、開かれた小教区、地域社会・隣人との友愛などによって、求道者が真に欲しているものを与えることが大事であろう。

福音宣教の最もすぐれた方法には、司祭職のみに与えられる説教がある。司祭は神のみことばの奉仕者と呼ばれる。未信者にも解り易い、心を動かす説教、信者には信仰教育になるようなものが望まれる。具体的な生活環境に対応した神のみことばの説明となる説教は、黙想から生まれることを明記すべきである。

司祭は信徒の信仰の師、信仰において信徒を養成する役目を忘れてはなるまい。信仰の感覚即ち日常出会う大小の出来事に対し神のみ旨とは何かを自ら判断し行動する信徒の養成こそ急務である――



邦人教区司祭の黙想会

会合と催し

☆平田司教
11月3日　大神の召命の集い
4日　西新教会の創立30周年
10日　家庭の召命の集まり
11日　召命学校、湯川教会の堅信、福岡地区信徒協
18日　小郡教会の堅信
20日　大神教授団との懇談会
21日　大神学院祭
25日　新田原教会の堅信

☆福岡黙想の家
11月1～3日　アウグスチノ会の黙想会
3～4日　北九州のレジオ
8日　笹丘カトリック幼稚園
10～11日　佐賀カトリック教会の青年会
17～18日　博多ルーテル教会
22～23日　カテキスター集会
24～25日　防府カトリック教会の婦人会

人々の中のキリストと出会おう

第十回CLC九州大会

気持ちの良い秋晴れの九月二十二日から二十四日まで、熊本の水前寺公園『松屋本館』で、CLC（クリスチャン・ライフ・コミュニティーズ）が開催された。この大会は十年前熊本で開かれたが、再び熊本に戻っての十回目となった。少しでも新しい目標に挑戦するために、積極的に人々の中でキリストを知ってもらおうと言う意味で、テーマは「人々の中のキリストに出会おう」になった。

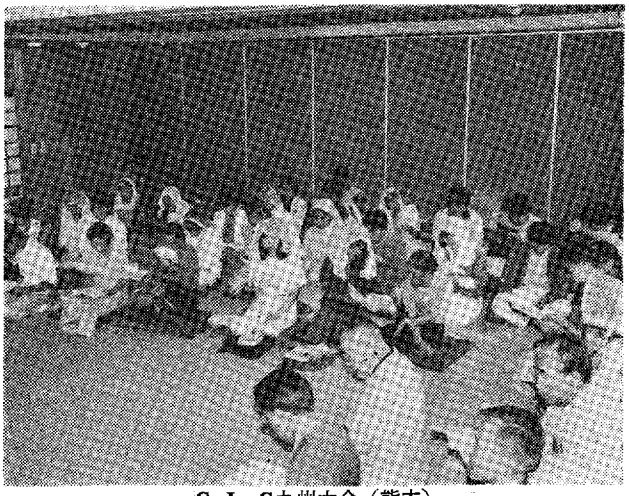
参加者は、九州各地はもとより遠く福山、東京、松戸からも、十代から八十代までの幅広い世代の六十人あまりが集まった。準備したメンバーが二十代なので、やはり二十代の若者が多かった。初めて参加した人は半分くらいで、みんな直ぐに打ちとけあい、家族的な暖かさを感じたようであった。

これまでは、知りあいになり、わたしは神さまから愛されているという喜びを熱いエネルギーのように感じとっていたが、今回は、信者による黙想などで、朝から神秘に包まれたような神さまの呼びかけを大切に、心の奥に留めているような雰囲気であった。

二人の体験発表は、参加者の心に深く感じるものを与え充実した分かち合いとなった。

今度の一番の特徴は、指導司祭が、イエズス会の神父様ではなくて京都司教館の斉木神父様であったが、信徒の自由さを暖かく見守っていた感じがしたことだった。そして準備したメンバーも少なかったが、各地の会員に支えられての三日間、神さまに導びかれて九州のメンバーが一つにまとまったことは喜ばしい限りであった。また、鹿児島の郡山神父さまも二日目にかけつけ、参加者を元気づけてくれた。

「人々の中のキリストに出会おう」というテーマが、参加者にどのように感じとられたであろうか注目したい。これから小教区に帰り、家庭・教会・職場・学校などでキリストを敏感に受けとめることができたら、この大会に参加を得た最高の実りを発見したことになるに違いないと思う。（松山）



C. L. C九州大会（熊本）

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

『主を喜ぶことはあなたがたの力です』

（ネヘミア8・10）

マテオ神父

時々ではあっても、主キリストを信じる私たちの何人が、主のうちにまことの喜びを見いだしているでしょうか。

五年も前から、ここ福岡の黙想の家では、木曜日の夜『聖時間』が行われています。

祭壇にキリストの御体が顕示され、暗いしじまの中に心を開いて過ごす一時間半です。

忙しい一日を終えて馳けつけては、この聖なる一時を過ごす人はこう言います。「どんなに疲れていても、主がおいでになるこの貴重な時に喜びでいっぱいです。ねむ気も覚えません。」

いつもとはいえないけれど、ご聖体拝領でイエズス様をいただく時、多くの人は深い喜びで心が満たされるとよくいいます。

あなたはいかがですか。

イエズス様を、深い絆で結ばれた友、共にいると喜ばしさを感じる人として経験していますか。イエズス様の愛が、自分にとってほんとうの力、喜びの源泉だと感じられますか。

まことに、イエズス様こそ私たち一人ひとりにそのような友、喜びと力の泉となりたいと望んでおられるのです。

このイエズスの愛、喜びと力とを見いだすために必要なこと――それは私たちの側からの協力です。イエズス様の愛の中で成長していくために、大きな助けとなる三つのことを申し上げたいと思います。

(一) イエズス様の愛を喜びと力の源泉にしたいという望みを、あなたの生き方の中で最大の望みとしてください。また、たびたびその望みを新たにするよう努めてください。

(二) イエズス様に対して、親友に対するように自分の心を開き、自分のことばで話しかけるよう努めてください。

(三) 聖霊の導きですが、詩編は次のようにすすめています。

『主のいつくしみを味わい、みつめよ』（詩34・9）頭だけの信仰では足りません。神の愛に対する私たちの信仰が心の底、肚の中にしみわたらなければなりません。そのためだけの時間をつくりましょう。時間をとらない限り、神のいつくしみを味うことはできません。

父である神、御子イエズスと聖霊は、私たちのうちに住まわれたのです（ヨハネ14・17）。また、神は私たちを包み、私たちの中に慈くしみ通られる（使17・27）

『父が私を愛するように、私もあなたがたを愛した。私の愛にとどまりなさい。』（ヨハネ15・9）と私たちに語られる主です。

また、詩編は霊にみたされて呼びかけ、『主はいつくしみのもの、あわれみのもの愛にみたもの。主はすべてをいつくしまれる』（詩145）

私たちの側からは、これらのみ言葉で明らかな神の愛と現存そのものとをゆっくり思めぐらし、味わうことが必要です。

今夜あなたの夜の祈りの結びに数分間だけこのように過ごしてみませんか。そして、イエズス様に、その愛をあなたに注ぐ機会をさしあげてください。

そのための一日五分間は、この世で経験できる大きな喜びのために長すぎると思われるでしょうか。

さらに、皆様におすすめしたいことは、ここ油山の麓の黙想の家で、数日あるいは数時間をとって黙想に専念することです。

どのように祈るかの指導も、個人面接を通して自分の霊的な生き方・態度を反省する機会もあります。なによりも、言葉は交わさずとも、沈黙の中で励ましあう祈る共同体があります。

神の豊かな愛の中で、主ご自身が私たちの喜びとなり、強く生きる力の源となりますように。

（福岡・黙想の家）

待降節黙想会（一般信徒のため）

日時　自　11月30日（金）夜8時
　　至　12月2日（日）夕5時
場所　814-01 城南区西片江1―17―63
　　カトリック　福岡黙想の家
　　（電話）871―7108
費用　7,000円

＋主の平安　秋色深く、年の瀬の準備をする時となりました。核戦争の準備、未開発途上国に見る飢餓を想いながらも、繁栄国に住む安楽さに酔っていた私達の上にも、世界景気陰りのきざし、産業格差のひずみ、不安定な金融機構の導入、福祉の切捨など生活の足許をすくう大波が押し寄せています。私達の神の下へ集まりましょう。聞きましょう。完全な沈黙のうちに祈りましょう。

年末年始4日間の霊操のご案内

主宰指導者　泉　類治神父　イエズス会福岡レジデンス
指導者　援助会と援助マリア会のシスター各1名
期日　12月30日（日）6時夕食～1月3日（木）昼食
場所　玉名市中1925　玉名カトリック教会内
　　聖母の家（玉名黙想の家）冷暖房完備
定員　15名（満員になり次第締切ります）
持参品　新旧約聖書、筆記用具、洗面道具
参加費　16,000円（指導者旅費、食費など一切）
申込所　〒862 熊本市国府2―6―102
　　中野尚夫　TEL 096―371―4156

1. 玉名カトリック教会は国鉄玉名駅より徒歩7分、玉名中央病院の手前隣りです。
2. 夏期は8月上旬に8日間の霊操を行います。
3. 定員は指導者方の御了解があれば18名まで増員できます。又、毎回申込の後で取消しなさる方がありますので、予備番号の受付もします。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう、
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市博多区中洲5―4―12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272―0671

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般)人類一致の秘義である教会
(衍教)諸民族間の和解

赤レンガ旧聖堂の解体進む
復元移転して病院の礼拝堂に
信徒ら関係者がお別れミサ

知る人ぞ知る福岡市大名町の赤レンガ旧聖堂は、市民の最近の話題の一つであった。それは、この建築物の解体について保存を求める市民運動などが、一般紙に何回となく取りあげられたためだ。

しかし、司教座教会の新築を計画推進している福岡教区には、旧聖堂の敷地は絶対的な必要面積。一方、長年にわたり馴染み深いものであった市民にとっては、心情的にも建築学的な希少価値からも手離しがたい気持があったことは否定できない事実であった。

教区当局の姿勢は、一貫した主張で変わらなかった。旧聖堂の無償譲渡と現地外の保存については喜んで協力するが、解体・移転についての必要経費は負担できないことを表明していた。保存については、心当たりの各方面に打診されていた。その結果、好ましい方向にとうとう軍配が上がった。

幸いにも、単なる観光施設ではなく、宗教行事を再現できる礼拝堂に衣替えすることになったのだ。この奇篤な信仰心深い引受人は、久留米市津福本町聖マリア病院の井手一郎院長であった。かれの考えでは、一億三千万円の予算を組んで旧聖堂を原形通りに移築し病院の礼拝堂に使うという。やがて久留米市に、文化財的な新しい名所が誕生することになろう。

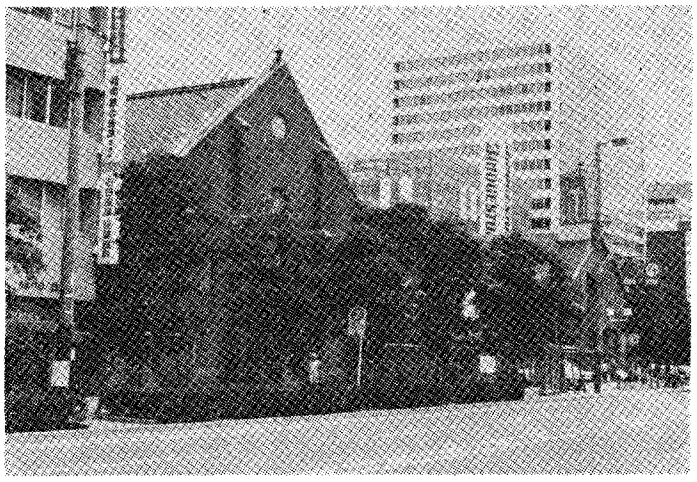
大名町教会では十一月二十二日午後三時半から、平田司教や五十人ほどの信徒ら関係者が参加してお別れミサを行った。その翌日から、早速解体工事の準備作業に入り、着々と解体が進行している。

余談だが、カトリック信者である井手院長夫妻は、かつて結婚式を挙げた思い出深い旧聖堂を日夜眺めることのできる果報者といえるかもしれない。

六八二坪の大名町教会境内地には、六七・七三坪の旧聖堂（明治二十九年建立）と一五一・六五坪の現教会及び六九・九〇坪の司祭館（ともに昭和十三年建設）があるが、老朽化が著しく危険度が増している。今回、この三つをとりこわした後、四階建ての教会・司祭館兼研修センタービルを建てることが確定している。

仏人宣教師によって開拓された大名町教会であるが、先覚者らの涙ぐましい苦闘のあとを記録の上で見ることができる。旧聖堂が建っている西側半分の敷地は、明治二十五年ルッセル師によって購入され、後任のベレル師が聖堂を建設した。また同師は、東側半分即ち現司祭館と教会がある土地を、明治三十一年に購入した。

当時の情景からすれば、狭いわりにはかなり注目されたハイカラ建造物でもあったらしい。金五千円で建立したそうだ。「老兵は死なず、消え行くのみ」福岡市民には寂しいことだが、久留米での再起奉公の機会を得て喜ばしい。



移転する旧聖堂（左）と現大名町教会（右）

十二月の聖体礼拝当番教会

十二月 二日 今村
十二月 九日 本郷
十二月 十六日 小郡
十二月二十三日 伊万里
十二月 三十日 司教館

駐車お断り

昭和五十九年
十二月十五日から新築落成まで
大名町カトリック教会

微光

十二月二日の邦人司祭誕生の日に思う。司祭の不足は世界的現象であるが、わが福岡教区の現状はどうであろうか。昨年十二月末日現在の統計によれば、邦人教区司祭三十二、邦人修道司祭十五、外人宣教師六十一計一〇八人の司祭が在籍している計算になる。でも、司祭の現実は厳しい。引退、病気、休暇帰国などいろいろの理由によって、発表された数字の司祭が常時第一線に、ではない▼神学生の養成状況はどんなものだろうか。教区大神学生は昨年末十人であったが、十二人に微増している。小神学生はこれとは逆に、三十人から十三人に落ち込んだ。誰かを非難するというものではないが、正直な実態・数字である。神学生も時代の子である以上、かれらを取り巻く環境の影響は大きい。過保護は禁物だが、良い雰囲気でかれらを発奮させる必要がありはしないか。そのための知恵と実験を出さなければなるまい▼小神学校は召命の苗床と呼ばれるが、それは第二段階であろう。幼年期・小学生を対象にした第一の召命学校こそ、家庭をおいては考えられない。「三つ子の魂百まで」の諺通り、この時期の親の子に及ぼす影響は計りしれない。少し誇張すれば、その人生の方向を大略決定するほどの結果を作る。将来の司祭誕生のかど取りは、家庭の両親の心にかかっているのでは。神の前に召命を祈り続ける親の態度は、召命育成の最高の教材となり得る。

東洋警備保障株式会社
代表取締役社長 瀬戸福一
福岡市博多区堅粕4丁目1—12 嶋井ビル2F
TEL 福岡 (092) 471—0245(代)
管制センター TEL 福岡 (092) 471—0279(代)

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

連合婦人会の日帰り巡礼の旅
今村教会を経て本郷・秋月へ

船津照子

秋晴れの一日、先人が残してくれたカトリックゆかりの地に、私たちは教会を訪れる恵みを頂く事が出来ました。私共はそれぞれの教会でそれぞれの道を、イエズス様、マリア様のお導きとお恵みのもとでひたすら歩み続ける旅人の一人でございますが、こうして一日をそれぞれの共同体の人々が歩みを共にすることが出来ましたことをスタッフの皆様に感謝いたします。

二日市教会は今村・本郷に一番近い教会ですので個人では度々訪れる事も多いのですが、姉妹の皆様と共に訪れるのはまた一味も二味も違うことなのでした。

バスの窓から眺める筑後平野は秋のとり入れの真最中で、そこここで稲刈りの風景がくりひろげられて、これから晩秋を迎え年末へと凧の様に月日が流れてゆく日々の営みを肌で感じながら、感謝のうちに楽しいバスの旅をいたしました。

最初に訪れました今村教会は、まあこんな田圃の真中にこんなに立派な教会が？とはじめて訪れる人の目を奪う貫録のある姿を、こっ然と目の前に現してくれました。糸永神父様から、この御聖堂の建立に至るまでの先人達のご苦労とエピソードを聞かされ、神の国の建設と恵みが地球の裏側からまで届けられた事を想い、信仰の心を持って事に当たることの大切さをひしひしと思い、天の彼方から私共の巡礼を祝福してくれている天使達のよろこびが伝わってくるようでございました。多勢で訪問した私共を御聖体のイエズス様はいかばかりおよろこびになられた事でございましょうと、私にも親もとに里帰りしたようなやすらぎとよろこびが胸に溢れるのを覚えました。

三台のバスはそうしたよろこびとやすらぎを満載して、筑後平野のただ中を本郷教会へと参りました。大勢で訪れました本郷教会はおとぎの国の小さな教会のように清潔で可愛らしく、そして明るい表情で私共を迎えてくれました。御聖堂の中は信者の方がたのお心づくしと思われる、結婚式をしてもいい程のそれぞれはたくさんの菊の花が活けてあり、私どもを温かく迎えてくれました。本郷教会の皆様、本当にありがとうございました。集会室に準備されたお茶とお漬物は、私共の心の中に泌みとおってお恵みと一緒に身体中をうるおしてくれました。

バスに乗りこんだ私どもの心は秋月にとび、この秋月がカトリックゆかりの地であったことを改めて知り、遠い少女の日に読んだ少女小説に秋月のお姫様とバテレン（神父）との物語りを想い乍ら、こうしてカトリックの信仰のお恵みを頂いて信仰を共にする姉妹とともに秋月を訪れることの不思議さを、〝神のはからいは限りなく生涯私はその中に生きる〟の詩編と共にそのみ摂理をしみじみとかみしめないではおられない私でございました。

秋月は折に触れ事に触れ訪れ、そのひなびた落着きと平和なたたずまいを楽しんでおりましたが、郷土資料館横の川に垂れた白萩は毎年萩の咲く頃になると、私の心を秋月へと誘うすばらしい白萩でございます。橋の上からの川の流れは絶品で、何時訪れてもあきる事のない眺めなのです。日々の営みにつかれ果てた時、いつも私はここへ来たくなるのです。そんな人の心をひきつける何かが秋月にはあることを想う時、ご先祖様の神との交わりを通して、天から平安の雨がこの地にはふりそそがれているのではないでしょうか。こうした恵み二杯の一日の旅を、私共は心をこめて感謝と共に神にお捧げいたします。神に感謝！

（二日市教会信徒）

婦人会巡礼のミサ

十二月命日の司祭

★ジェームス・マグラ神父（聖コロンバン宣教会）一九七六年十二月十八日元荒尾教会主任

★パウロ青木功神父一九七三年十二月十九日元行橋教会主任

★ミシェル・ソーレ神父（パリ外国宣教会）一九一七年十二月二十日元久留米教会主任

ベニエ師の一周忌ミサ

十二月二十三日　飯塚教会で

司教座聖堂の建設資金のための教区立幼稚園長らの話し合い

宗教法人「カトリック福岡司教区」傘下の幼稚園（教区立二十園長の集まりが、十一月六日午前十一時から、司教館で開かれた。席上、司教座聖堂の建設資金作りの一翼としての教区立幼稚園に対する教区本部の要請金額は、五千万円であることが確認された。

そこで、この目標額に達するための援助金拠出について討議が続けられた結果、つぎのとおりの均等割当に参加者の同意を得た。すなわち昭和五十九年五月一日現在の園児数に保育料一ケ月分を掛けたものに、二十園がそれぞれ二十二万五千円づつを加えて負担する計算になる。統計では、二十園の合計園児数三、七七五人に一ケ月の保育料平均一万二千円、これを掛けると四千五百三十万円。二十園の各二十三万五千円負担分は合計四百七十万円で、しめて五千万円の援助金ができる。

いうまでもないが、教区立幼稚園の経済事情は厳しく、格差も大きい。現在・未来において楽観できる園は、そんなに多くないであろう。百人に満たない園や三百人以上の園も活動しているが、教区の大事業となる司教座聖堂の建設のために大きな犠牲が願われた。教区立という点に深い考慮を払いながら、教区当局の期待に答えたいものだ。昭和六十年三月三十一日の納入に関する園会計簿には、主座聖堂建設負担金と記入する。

布教の日献金　（10月21日）

大名町	107,500	新田原	59,126	手取	9,520
浄水通	30,000	行橋	12,500	荒尾	10,500
光ケ丘	61,832	呼子	20,000	人吉	11,125
大箱崎	5,660	佐賀	20,000	本渡	10,000
箱崎	16,000	唐津	9,800	健軍	15,000
笹丘	33,839	伊万里	7,365	帯山	11,000
西新	37,644	鳥栖	12,863	水俣	10,000
美野島	8,000	武雄	5,430	大江	5,500
茶山	15,329	多久	4,800	大崎	25,500
高宮	12,100	松島	7,200	津崎	33,000
老司	21,883	門司	12,830	島崎	11,000
吉塚	19,359	門司港	19,663	玉名	11,000
志免	5,832	小倉	92,396	菊池	6,500
古賀	35,640	湯川	32,629	八代	19,500
二日市	35,000	戸畑	57,209	武蔵ケ丘	44,814
久留米	42,921	若松	7,910	特別養護老人ホーム	
大牟田	10,320	天神町	52,250	ロザリオの園	9,427
今村	191,050	黒崎	37,400	大神学生	43,700
本郷	26,279	八王寺	8,000		
小郡	11,537	水巻	30,793		
馬渡島	16,505	飯塚	21,867		
直方	12,500	田川	10,000	合計	1,624,843

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃 駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641－4321
〃 黒崎駅前名店街店 ☎641－7177
〃 ダイエー城野店3階 ☎922－5637

司教座聖堂建設のための分担（協力）金の送り先

小教区の場合、なるべく地区毎に一括してご送金願います

一、普通預金口座一〇六一四〇三
　福岡銀行薬院支店
　宗教法人カトリック福岡司教区
　平田　三郎
注＝送金したことを司教館に通知してください

二、振替口座　福岡六―二〇七二九
　福岡カトリック司教区
注＝通信欄にカテドラル建設資金の分担（協力）金と記入してください

あなたもわたしも福音宣教者
熊本地区教会信徒の話し合い
証し人の意識と行動を探る

六月の全国司教会議で採択し発表した日本司教団の「日本教会の基本方針と優先課題」は、日本の教会・信徒らにかなり大きな反響をつくっているようだ。当然のことだが、福音宣教が最大の任務であったキリストと運命共同体にある教会・信徒の使命は、宣教を抜きにしては考えられない。

隣人にキリストを見、伝えることは、弱い立場にいる人たちを大切にすることからはじまる。教会・信徒の内だけではなく、外に向けて愛の交わりを深めるためにも必要な機会・行事・催しを活用すべきである。神とわたし、わたしとあなたたちのたて・横のかかわりを強固にすることによって、信徒一人ひとりが小さな宣教者の自覚を持つのではあるまいか。教区・小教区をはじめ修道会、カトリックの諸事業団体との具体的な宣教協力態勢が、今こそ急務であるとの認識を司教団は示した。

熊本地区ではこの司教団の要請に沿って、十一月三日熊本市手取教会の信徒会館で、地区信徒協主催の教会・修道会・信徒による話し合いを行った。熊本県下の十四教会から、司祭を別にした二〇八人の修道者・信徒が出席し、盛会であった。

大集会は午前十時半の始業の祈りからはじまり、地区長デイキン神父の挨拶と地区信徒協指導司祭牧山勝美神父の趣旨説明が加えられた。続いて佐藤幸恵さんの体験発表のあと、十二グループに分かれて分科会を行い、真剣に意見を交換した。

分科会には、三つの議題が与えられた。①求道者になる動機、求道者が教会や信徒にいだくイメージ、教会の受け入れ態勢②福音を理解するにあたっての困難さ（用語、教えの内容など）③社会の中でキリストを伝え、証しすることのむずかしさ、その解決法は何かであった。各グループには司会者と書記をおいて、分かち合いを箇条書きにまとめるように決めた。そして、十一時から九十分間をとって分かちあい、その結果を全体会議で発表することにした。

全体会議では、①私達信者同志の信仰や生活についての日常対話が必要②信じている信仰の理解のため、学習とともに祈り、ミサ・秘跡に与ること③宣教することによって自信も勇気も出る④マスコミやパンフレットの利用などが発表された。その後感謝の祭儀をもって散会、帰途についた。

会合と催し

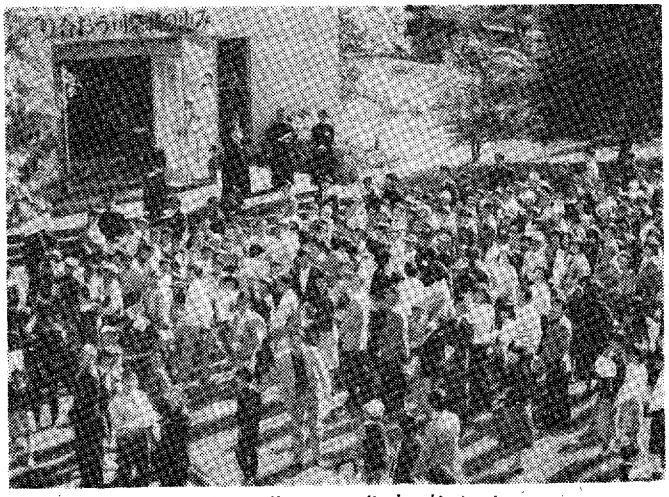
☆平田司教
12月2日　聖パウロ修道会来日50周年記念式典
4日　教区合同祭の集会
9日　帯山教会堅信
13日　教区司祭顧問会
16日　本渡教会堅信
18～21日　全国司教会議
24日　クリスマス・ミサ

☆福岡黙想の家
12月1～2日　待降節黙想会
8～9日　社会人黙想会
15～16日　光丘シスター静修
26～1月3日　西南大の聖書輪読会、日向学院学習
個人指導黙想

召命の灯を消さないために
後輩を育てたい大神学生たち

十一月三日、福岡サン・スルピス大神学生主催の召命の集いが大神学院であった。これは青少年の司祭志望を高めるために行われたもので、九州各地から七百五十人近くが参加した。

午前十時からの平田福岡司教と二十人余りの司祭による共同ミサでは、参加者一同の召命増加への熱い祈りがささげられた。ミサ後親たちには召命についての講演が行われたが、司祭を夢みるわが子への思いを複雑な気持で聴いた親もあったようだ。神学校生活のスライドを見、運動に興じた楽しい一日の少年たちは、何を得たか。


召命の集いの参加者たち

Custom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石理
石影
他の
大御
そ

石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

十主の平安　秋色深く、年の瀬の準備をする時となりました。核戦争の準備、未開発途上国に見る飢餓を想いながらも、繁栄国に住む安楽さに酔っていた私達の上にも、世界景気陰りのきざし、産業格差のひずみ、不安定な金融機構の導入、福祉の切捨など生活の足許をすくう大波が押し寄せています。私達の神の下へ集まりましょう。聞きましょう。完全な沈黙のうちに祈りましょう。

年末年始4日間の霊操のご案内

主宰指導者　泉　類治神父　イエズス会福岡レジデンス
指導者　援助会と援助マリア会のシスター各1名
期日　12月30日（日）6時夕食～1月3日（木）昼食
場所　玉名市中1925　玉名カトリック教会内
　聖母の家（玉名黙想の家）冷暖房完備
定員　15名（満員になり次第締切ります）
持参品　新旧約聖書、筆記用具、洗面道具
参加費　16,000円（指導者旅費、食費など一切）
申込所　〒862 熊本市国府2－6－102
　中野尚夫　TEL 096－371－4156

1. 玉名カトリック教会は国鉄玉名駅より徒歩7分、玉名中央病院の手前隣りです。
2. 夏期は8月上旬に8日間の霊操を行います。
3. 定員は指導者方の御了解があれば18名まで増員できます。又、毎回申込の後で取消しなさる方がありますので、予備番号の受付もします。

第10回 カリスマ刷新全国研修会

テーマ　教会のふところ＝源泉＝めざして
―ローマ国際リーダー会議の恵みの分ち合いと共に―

年頭のカリスマ刷新全国研修会も早や、今年で10回を迎えるにいたりました。5月に開かれたローマでの国際会議には、全世界百十余ケ国から、七百名の代表が参加し、現代が真剣に求めている危機の解決の全てに、深い聖霊の導きと、主からの力を祈る恵みを与えられました。教会が今も生き給う「キリストの御からだ」であることを世に輝かせる、皆様が力強いその証人として、一人でも多く御参加頂きたく、左記の通り御案内申し上げます。

日時　昭和60年1月4日（金）午後5時より1月7日（月）正午まで　△三泊四日▽
会場　熱海市東海岸町12－27　ホテル・暖海荘　電話　〇五五七－八－五一二三
会費　二万七千円　（申込金七千円　当日納入二万円）
申込み　同封郵便振替に住所、氏名、電話、所属教会を明記の上、申込金千円を次記宛お送り下さい。
カリスマ刷新全国委員会、振替・東京九－一八八七八振替到着と同時に参加番号を確定し、年内に資料をご送付申し上げます。
宿泊に制限がありますので早目にお申込み下さい。

右の全国研修会へ皆様をご案内いたします。祈りの集いへの参加の有無に関係なく、どなたでも参加できます。又、日程も都合にあわせて、部分参加が出来ます。神との出会い、信仰の刷新と喜び、主への感謝と賛美、分ち合い等の信仰体験のお恵みを頂き、深める、よい機会となりましょう。
（福岡祈りの集い）

飛脚

★十一月十一日午後一時半から、福岡地区教会の信徒代表者会議が司教館で開かれたが、平田司教はほぼ決定した新司教座聖堂の図面を説明して、建設資金の分担金協力を求めた。出席者は三十五人。また同日司教館で召命学校もあったが、二十六人ほどの神学生父兄らが集まった。

★毎年福岡サン・スルピス大神学院は、卒業司祭を中心に司祭叙階十年組と二十五年組の祝いを行っているが、ことしの大神学院祭には九州の教区長（長崎は松永補佐司教）五人と四十数人の司祭の参加があった。なお、前日には九州の五司教と大神学院教授たちとの懇談会が催され、大神学院のかかえる諸問題が話し合われた。

★新司教座聖堂のステンド・グラスのデザインを担当しているフランスの業者との用談を煮つめるため、十一月二十五日、平田司教はヨーロッパへ向かった。当日には新田原教会の堅信式があったために、あわただしい渡欧となった。パリとローマのバチカン聖省訪問が予定されているようである。

★十一月二十六日からの三日間は司祭研修会の予定であったが、準備の都合上中止となった。そのためにこの日を深堀仙石衛門司教のお見舞に当てたらとの提案が出され、有志司祭十一人が長崎へ出発した。深堀（仙）司教は長崎市三ツ山町の軽費老人ホーム（ときわ荘）で、静かな老後を過ごしているが、九十歳の高齢のために最近はベットに横たわる時間が多いようす。午前十時すぎ、三台の車に分乗して福岡司教館を出発した一行は、途中の風景に心をはずませながら楽しいひとときのドライブを味わった。しかし、何はさておき、恩師への感謝の訪問は非常に喜ばれた。足腰のいく分の衰えを除けば、まだ元気と判断した。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市中央区梅光園3－3－332
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 552－8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1－4－23
TEL 771－3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521－0568